

## 第71回優良公民館表彰について

文部科学省では、公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められるものを優良公民館として表彰しております。この度、第71回優良公民館表彰について決定しましたので、お知らせします。

1. 表彰館 別海町中央公民館 外64館

2. 表彰式

(日時) 平成30年11月2日(金) 13時30分～13時50分

(場所) 日本青年館ホール(東京都新宿区霞ヶ丘町4-1)

3. 選考の経過等

都道府県教育委員会から推薦のあった公民館や公民館と同等の社会教育活動を行う施設について、優良公民館審査委員会で審査の上、表彰館とその中から特に優れた活動を行った5館を「優秀館」として文部科学大臣が決定しました。

さらに、表彰式当日、「優秀館」5館の中から「最優秀館」1館を選定するため、表彰式会場において、5館が活動内容のプレゼンテーションを実施し、上記審査委員会による審査を行った結果、広島市古田公民館が「最優秀館」の栄誉に輝きました。

### 【最優秀館】

広島市古田公民館(広島県)

### 【優秀館】

越前市岡本公民館(福井県)

福井市清水西公民館(福井県)

倉吉市上北条公民館(鳥取県)

廿日市市串戸市民センター(広島県)

第71回優良公民館表彰 表彰館一覧

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	No.	都道府県名	ふりがな 公民館名
1	北海道	べつかいちようちゆうあうこうみんかん 別海町中央公民館	34	岐阜県	みずなみしかまどこうみんかん 瑞浪市釜戸公民館
2	北海道	りりりふじちようりつおにわきこうみんかん 利尻富士町立鬼脇公民館	35	岐阜県	たじみしこいずみこうみんかん 多治見市小泉公民館
3	北海道	うらほろちようかみうらほろこうみんかん 浦幌町上浦幌公民館	36	静岡県	いわたしたはらこうりゅうせんたー 磐田市田原交流センター
4	青森県	さいむらやちちくこうみんかん 佐井村矢越地区公民館	37	愛知県	こうたちちゆうあうこうみんかん 幸田町中央公民館
5	岩手県	しわちようふるだてこうみんかん 紫波町古館公民館	38	愛知県	あいさいしざおりこうみんかん 愛西市佐織公民館
6	岩手県	かねがさきちようせいぶちくこうみんかん 金ケ崎町西部地区公民館	39	滋賀県	おまつりつしまのきたこうみんかん 大津市立真野北公民館
7	岩手県	くじしむらいはましみんせんたー 久慈市侍浜市民センター	40	京都府	あやべしものべこうみんかん 綾部市物部公民館
8	宮城県	けせんぬましりつからくわこうみんかん 気仙沼市立唐桑公民館	41	京都府	きょうたんじくわおみやちいせこうみんかん 京丹後市大宮地域公民館
9	宮城県	かみまちみやざきしやうがいがくしゅうせんたー 加美町宮崎生涯学習センター	42	兵庫県	かがわしりつひらおこうみんかん 加古川市立平岡公民館
10	秋田県	ゆりほんじょういしわきこうみんかん 由利本荘市岩城公民館	43	奈良県	ならしりつけいせいこうみんかん 奈良市立京西公民館
11	秋田県	かつのしとわだしみんせんたー 鹿角市十和田市民センター	44	鳥取県	くらよしあみほうじょうこうみんかん 倉吉市上北条公民館
12	山形県	てんどうしりつやまぐちこうみんかん 天童市立山口公民館	45	鳥取県	とっとりしりつきゅうしやうちくこうみんかん 鳥取市立久松地区公民館
13	福島県	ふくしましずぎのめがくしゅうせんたー 福島市杉妻学習センター	46	島根県	はまだしりつこくふこうみんかん 浜田市立国府公民館
14	福島県	こおりやましりつしばみやちいきこうみんかん 郡山市立柴宮地域公民館	47	島根県	まつえしやつかこうみんかん 松江市八束公民館
15	茨城県	みとしことぶきしみんせんたー 水戸市寿市民センター	48	岡山県	はやしまちようちゆうあうこうみんかん 早島町中央公民館
16	群馬県	みどりしかさけこうみんかん みどり市笠懸公民館	49	岡山県	おかやましりつみつこうみんかん 岡山市立御津公民館
17	群馬県	しょうわむらこうみんかん 昭和村公民館	50	広島県	ひろしましふるたこうみんかん 広島市古田公民館
18	埼玉県	さいたましりつうちこうみんかん さいたま市立内野公民館	51	広島県	おのみちむかひびがしこうみんかん 尾道市向東公民館
19	埼玉県	わらびしりつきたまちこうみんかん 蕨市立北町公民館	52	広島県	はつかいちしきしじみんせんたー 廿日市市串戸市民センター
20	埼玉県	ふかやしわかもとこうみんかん 深谷市川本公民館	53	山口県	はぎしあきざきこうみんかん 萩市明木公民館
21	千葉県	きみつきこいとうみんかん 君津市小糸公民館	54	山口県	やないしおぼたけこうみんかん 柳井市大畠公民館
22	千葉県	いちほらしりつやわたこうみんかん 市原市立八幡公民館	55	山口県	しゅうなんしたかみずしみんせんたー 周南市高水市民センター
23	神奈川県	ひらつかしりつすかこうみんかん 平塚市立須賀公民館	56	徳島県	あなんしりつなかがわこうみんかん 阿南市立那賀川公民館
24	神奈川県	かわさきしなはらしみんかん 川崎市中原市民館	57	愛媛県	やわたはましりつかわかみちこうみんかん 八幡浜市立川上地区公民館
25	新潟県	にいがたしこぼりあおやまこうみんかん 新潟市小針青山公民館	58	愛媛県	にいほましりつふなきこうみんかん 新居浜市立船木公民館
26	新潟県	せきかわむらこうみんかん 関川村公民館	59	福岡県	あさくらしたていしこみゆにていせんたー 朝倉市立石コミュニティセンター
27	富山県	うおづしかづみこうみんかん 魚津市加積公民館	60	佐賀県	さがしりつかいせいこうみんかん 佐賀市立開成公民館
28	富山県	なんとしみなみやまだこうみんかん 南砺市南山田公民館	61	大分県	うさこうみんかん 宇佐公民館
29	石川県	はくさんしりつみなとこうみんかん 白山市立湊公民館	62	宮崎県	みやこのじょうしなごうちくこうみんかん 都城市中郷地区公民館
30	石川県	のとちようりつさんなみこうみんかん 能登町立三波公民館	63	鹿児島県	きりしましはやとまつながちくこうみんかん 霧島市隼人松永地区公民館
31	福井県	えちぜんしあかもとこうみんかん 越前市岡本公民館	64	鹿児島県	あくねしちゆうあうこうみんかん 阿久根市中央公民館
32	福井県	ふくいししみずにしこうみんかん 福井市清水西公民館	65	鹿児島県	かのやしにしはちくがくしゅうせんたー 鹿屋市西原地区学習センター
33	長野県	ながのしりついもいこうみんかん 長野市立芋井公民館			

…公民館
  …公民館と同等の施設
  …最優秀館
  …優秀館

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
1	北海道	べつかいちようちゅうおうこうみんかん 別海町中央公民館	別海町中央公民館は、住民が生涯のあらゆる時期に学ぶことができ、その学習の成果が適切に評価されるような生涯学習社会を築くために、生涯学習の中心施設としての役割を認識し、住民の自主的な学習活動の手助けができるように地域課題に応じた取組を行っている。 とりわけ、別海町生涯学習体系「学びの木」に基づき、乳幼児期から高齢期まで世代別に多岐にわたる事業を実施しており、地域住民が楽しく集い、語り、交流する場と機会の提供に努めている。 また、現在、別海町生涯教育研究所と連携して、別海町中央公民館機能を包含した別海町生涯学習センター設立に向け、更なる積極的な事業展開に努めている。
2	北海道	りしりふじちようりつおにわきこうみんかん 利尻富士町立鬼脇公民館	利尻富士町立鬼脇公民館は、町内最初の社会教育施設として建設され、地域住民が集い様々な学習をし、教養を身に付ける場として、長きにわたり親しまれてきている。 また、社会教育活動を実践する施設として、集会室や和室、図書室、調理室等を備えており、館外の広場はフリースペースとして子供たちの遊び場やお祭り、イベントの場として活用されている。特に、人口減少と高齢化問題を踏まえ、住民との結び付きを大切に、事業やイベントの担い手を見い出しながら地域の活性化と生涯学習の推進に努めている。 近年では、放課後子供教室や南浜獅子神楽の伝承活動等、地域課題に応じた取組が行われており、地域の活性化に寄与している。
3	北海道	うらほろちようかみうらほろこうみんかん 浦幌町上浦幌公民館	浦幌町上浦幌公民館は昭和49年9月、地域住民や公民館設置促進期成会の強い要望を受け、公民館と消防会館を併設した多目的な総合文化防災施設として開館した。開館と同時に、公民館主事の配置や15名の公民館運営審議会委員を委嘱し、地域の教育、学術、文化等に関する各種事業を展開している。62年からは、専任の公民館長を委嘱し、地域の拠点施設として、活動の充実を図っている。 また、実行委員会を組織して昭和51年から開催している「公民館まつり」は42回を数えるほか、高齢者を対象とした「寿大学」や3泊4日で実施している「通楽(学)合宿」、放課後学習を継続して実施している。 特に、平成27年度から導入したコミュニティ・スクールでは、公民館長がアドバイザーとなり地域の教育力向上の役割を担っている。
4	青森県	さいむらやごしちくこうみんかん 佐井村矢越地区公民館	矢越地区公民館では、地区住民の交流及び健康増進を狙いとして平成元年にスタートした「地域交流グランドゴルフ大会」を現在まで継続して実施しており、大会の運営や競技、懇親会などを通して住民同士の交流が進められてきた。その中から、活動を休止していた「矢越青年団」が活動を再開することとなった。また、若者を中心として、「矢越芸能保存会」を立ち上げ、消滅の危機にあった全国的にも珍しい漁村歌舞伎「矢越歌舞伎」を復活させた。公民館では「郷土芸能伝承教室」を開設し、「矢越歌舞伎」および「矢越神楽」、子供たちを対象とした「矢越鮎大謀網囃子」伝承教室、しめ縄づくり教室を実施するなど、公民館が矢越地区の伝統文化の継承・保存に向けた中心的存在となっている。さらに、このような活動を通して、老人クラブ(水蓮クラブ)も活動を再開するなど、世代を超えて地域が一つにまとまる上で、地区公民館が極めて重要な役割を果たしている。人口減少が進む中、佐井村の矢越地区では、公民館活動が地域の活力維持に大きく寄与している。
5	岩手県	しわちようふるだてこうみんかん 紫波町古館公民館	紫波町の北部にある古館地区は、住宅地の周りに田園や果樹園が広がり、高水寺城跡(城山公園)や陣ヶ岡陣営跡等歴史名所が残る自然豊かな地域である。交通の便が大変良いことから、移転者が多く集まってきた地域でもある。現在、古館地区約3,200世帯の中心施設として、各種講座や教室等の生涯学習の場として、また各団体の活動拠点として広く利用されている。近年は、防災や社会福祉、子育て、地域づくり等の課題の解決に向け、ワークショップを取り入れた学習を展開しており、小中高生から高齢者まで、様々な世代の人が参画し、つながりが形成されてきている。地域課題の解決に主体的に取り組もうとする人材が、公民館事業を通じて活躍し育ってきており、地域の教育力の向上に資する古館公民館の実践は「知の循環型社会」の先進事例とも言える取組である。
6	岩手県	かねがさきちようせいぶちくこうみんかん 金ケ崎町西部地区公民館	金ケ崎町は昭和54年に「生涯教育の町宣言」をし、平成29年度に38年を迎えた。「まちづくりは人づくり」の基本理念のもと、各地区公民館がまちづくりの中核を担い、地域の特性を生かしながら、様々な学習機会を提供している。特に西部地区公民館は、地域住民のニーズを的確に把握し、住民自ら学びたいと思う多種多様な事業を企画し、公民館の大切な理念である「つどい・まなぶ・むすぶ」を実践している。地区民運動会と隔年で開催している「西部まつり」には地区人口の約4分の3にあたる850人も参加があった。地元企業や各種関係団体と連携を図りながら地域一体となって開催されるこのまつりは、地域の絆(きずな)をより一層深め、地域活性化に大きく寄与している。
7	岩手県	くじさむらいはましみんせんたー 久慈市侍浜市民センター	久慈市侍浜町は、人口2,400人、世帯数は1,010で、豊かな自然が広がる地域である。侍浜市民センターは、地域住民が学び、交流する貴重な場であるとともに、地域づくり活動の拠点としても大きな役割を果たしている。主催事業として多くの学習や体験機会を提供する一方、地域の関係団体との連携した活動にも取り組んでいる。平成29年度、センターと連携し活動している老人クラブが、全国老人クラブ連合会特別賞を受賞し、また地域団体と連携した地域振興策として「侍(SAMURAI)ブランド」創成プロジェクトに取り組んでおり、地域の資源を最大限に生かし、地域の内外の人が訪れ、侍浜の魅力に触れてもらいながら、子供から高齢者まで一緒に活動する取組とするなど、参加者獲得や交流を広げるための事業運営を活発に展開している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
8	宮城県	けせんぬましりつからくわこうみんかん 気仙沼市立唐桑公民館	本公民館は、平成元年度から約30年間にわたり、地域資源(自然環境、産業、人材等)を教材として、学校教育と社会教育の融合・連携により地域の子供を育む「ふるさと学習会」を継続して行っている。 平成18年には、市町合併による事業の見直しが行われたが、事業の教育的効果が認められ予算化し、23年の東日本大震災後も内容を精選し、改善を図りながら事業を継続している。本事業の「牡蠣養殖」の協働実践校である唐桑小学校が、第7回ESD大賞においてユネスコスクール最優秀賞を受賞している。 現在、上記取組に加え、まちづくり協議会をはじめとする様々な団体や、Iターン移住者等と連携して新たなネットワークを作りながら、地域コミュニティの再構築を目指し、事業を展開している。
9	宮城県	かみまちみやざきしょうがいがくしゅうせんたー 加美町宮崎生涯学習センター	本生涯学習センターは平成21年に旧宮崎公民館から名称を改め、町民の学習意欲を高め、連帯感を育み、健康で文化的な生活の向上と地域社会の発展に資することを目的として活動を行っている。また、生涯学習とまちづくりの拠点として、住民の生活上の課題解決や安心して暮らせるまちづくりを目指すとともに、協働教育の推進にも力を入れており、地域人材を生かした事業や子供から高齢者にかけての異世代間における交流の実践等積極的に取り組んでいる。 特に、加美町宮崎地区における交流人口の拡大と地域活性化に資することを目的として、平成26年度から開催している「加美マルシェ」では、青年層中心の実行委員会を組織し、イベント企画から当日の運営等が行われ、地域商店街への誘客に貢献しているとともに、地域人材の育成や地域力向上が図られている。
10	秋田県	ゆりほんじょうしいわきこうみんかん 由利本荘市岩城公民館	岩城公民館は、旧岩城町時代の昭和41年に中央公民館として建築され、岩城町全町の社会教育・生涯学習振興に努めてきた。平成17年の市町村合併後も、市内の他館との連携を図りながら、岩城地区の拠点施設として多世代が関わることができる事業を展開してきた。 「いわき市中学生交流事業」は、福島県いわき市と旧岩城町とが親子都市の盟約を結び、親子都市調印10周年に当たる平成8年度から実施されている。29年度で21回を数えるまでとなった。地域住民の協力も得ながら、双方の中学生が主体となって交流を深めることを通して、それぞれの地域の将来を担う若い世代の郷土愛の醸成と相互理解、交流促進に大きな効果をもたらしている。
11	秋田県	かづのしとわだしみんせんたー 鹿角市十和田市民センター	十和田市民センターは、平成18年4月、鹿角市から十和田地域づくり協議会に管理運営が委託され、20年4月からは、同協議会による指定管理施設となった。同センターは、地区住民約7,000人の活動拠点として、地域のコミュニティの核となっており、地域づくり及び地域住民の生涯学習を推進している。事業は、地域づくり部、高齢者部、女性部、青少年部、文化部、体育部の六つの専門部で決定している。22年度から行っている「鹿角観光いろはカルタ」は、十和田地区に関連した観光・歴史・伝統芸能・伝説・人物・方言等を題材に地域版のカルタとして作成し、毎年開催している題材地を巡るツアー及びカルタ大会には、子供から高齢者まで多くの住民が参加している。
12	山形県	てんどうしりつやまぐちこうみんかん 天童市立山口公民館	次世代に誇れる「おらだの山口」を目指し、地域住民、地域づくり委員会などが一体となって地域づくりに取り組んでいる。青少年駅伝大会、山口まつり、山口公民館フェスティバルなどを開催し、世代間交流や生涯学習の機会の提供等、活力ある地域づくりを進めている。また、ジュニアリーダー研修会などの子供たちの体験や学びの事業にも積極的に取り組み、仲間意識や生きる力を育み、自然環境への関心を高める事業を展開している。住民の手によって地域課題を解決することを目的として組織された山口地域づくり委員会は、地域の宝を発掘し、その良さを再発見する機会の提供や地元の山岳信仰、修験の山として重要な役割を担ってきた水晶山を生かした事業など、地域を愛する心を醸成し、魅力ある地域づくりを推進する事業を公民館を拠点として積極的に行っている。
13	福島県	ふくしましすぎのめがくしゅうせんたー 福島市杉妻学習センター	福島市杉妻学習センターでは、時代の変化や地域の各年代層のニーズを的確に把握しながら、各ライフステージに応じた講座を開設している。また、地域課題の解決に向けた取組としての出前講座や市民学校を実施している。これらの講座の中でも特に、「いい街“すぎのめ”さんぽ道」は地元の「みなふく笑顔商店街」と連携した取組で、加盟店の店主等が講師を務めている。実績例「子育て応援！お母さんのマッサー講座(講師:接骨院)」。受講者にとって杉妻地区の新たな魅力を生かす機会となっており好評を得ている。また、商店街と地域住民との結びつきが深まり、地元の活性化にもつながっている。また、運営審議会を年6回開催し、事業計画及び事業報告を行う中で寄せられた意見・評価を事業運営に反映させている。
14	福島県	こおりやましりつしばみやちいきこうみんかん 郡山市立柴宮地域公民館	郡山市柴宮地域は、大型団地が立地する地域の特性もあり、住民の高齢化や住民相互の結びつきの希薄化及び子育て世代の就労形態の変化に伴う子供の安全・安心な居場所の確保等が課題となっており、その解決に向けて公民館が地域の拠点として、地域住民や各種団体、学校等と一体となった事業を推進している。公民館事業「ボランティアしてみ隊」は地域の子供は地域一丸となって育てようという意識の高揚を図り、高齢者や団塊の世代が持つ多種多様な知識・技術を貴重な地域資源として捉え、地域間交流や青少年活動支援、世代間交流等の事業を積極的に展開している。また、受講修了者の地域活動を継続して支援するため、地域内のボランティアニーズの把握に努めるなど、地域振興に重要な役割を果たしている。
15	茨城県	みとしことぶきしみんせんたー 水戸市寿市民センター	当施設は、昭和54年12月1日に水戸市寿公民館として開館。平成18年4月1日から市長部局の市民センターを併設後、22年4月1日から市長部局への移管により、水戸市寿市民センターに名称変更となり、現在に至る。所管区域は、市の南部に位置し、新興住宅地と緑豊かな自然に恵まれた住みよい地域である。 当施設では、各種事業を地域の方々と一緒に積極的に取り組んでいる。中でも、春の親子サイクリング、秋のウォークラリーのほか、各種ニュースポーツ大会等を通じた健康増進へのまちづくりや、さらに寿ふれあいのつどい等を開催し、子供から高齢者までのふれあいの輪を広げ、地域の交流を推進し、生涯学習を地域全体で推進している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
16	群馬県	みどりしかさかけこうみんかん みどり市笠懸公民館	公民館の対象人口は約3万人、年間総来館者数は約9万7,000人である。 管内にある10か所の自治公民館に、区長から推薦された館長、主事(2~3人)を非常勤職員として配置し、「地区公民館」として運営している。館長、主事は、30~40代の地域の中心となる年代の人が多く、平日の夜間や休日を中心に勤務している。 「地区公民館」では、館の維持管理以外に、実際の生活に根ざした文化教養等の講座を「自主申請学級 講座」として計画し、笠懸公民館の事業の一環として実施している。一般の地域住民が、「地区公民館」の事業実施に携わることで、自主的に地域づくりを行う取組となっている。 また、公民館報の編集を公募によるボランティア9名が中心となって行っており、全国公民館連合会主催の「全国公民館報コンクール」の奨励賞を平成26年度と28年度に受賞するなど、質・量ともに優れた広報誌を発行している。
17	群馬県	しょうわむらこうみんかん 昭和村公民館	公民館の対象人口は約7,500人、年間総来館者数は約7,200人である。 特色ある事業として「わたしと家族作文発表会」事業を昭和56年から毎年実施している。村内の全児童生徒が家族をテーマに作文を書き、優秀賞受賞者は、家族や多くの村民を前に作文を発表する。義務教育の9年間、毎年家族作文を書くことで、発達段階に応じて家族関係を見つめなおす機会となっているだけでなく、発表会の開催を通して、学校・家庭・地域が一体となって家族について考えることで、村全体で家庭教育を応援する機運が醸成されている。 また、不登校や別室登校の中学生を対象に学習支援等を行う「昭和子ども未来塾」を平成29年度から実施している。地域住民が指導者となって生徒の個別の学習進度に合わせた支援を行うことで大きな成果をあげている。
18	埼玉県	さいたましりつうちのこうみんかん さいたま市立内野公民館	内野公民館は、平成26年4月に設置されたさいたま市の60館目の公民館である。公民館が無い地域であったため、開館時より公民館の基礎づくりとして「公民館の役割」を住民に周知することが必要であった。そこで、音楽室やグランドピアノの活用と、ユニバーサルデザイン対応の施設の特徴を生かしながら、年間45事業を展開し、特色ある事業として音楽をツールとした公募企画委員運営の「うちのロビーコンサート」・多世代でつながる「うちのつながる歌カフェ」「うちのフェスティバル」を「音楽でつなげるコミュニティづくり事業」として進めてきた。また、一連の事業を「うちのつながるプロジェクト」としてスタートさせ、人材の活用や地域の声を生かしながら、多様な住民と地域の活動をつなげ緩やかな地域のつながりづくりに大きく貢献している。
19	埼玉県	わらびりつきたまちこうみんかん 蕨市立北町公民館	市民体育館や児童館等を擁する北町コミュニティ・センター(昭和55年開設)を改修し、地域住民の声を設計段階から取り入れ、ふれあいの場・体力づくりの場として平成10年に設置された。複合施設という特性を生かし、健康運動指導士や児童厚生員等と連携した、「誰でも楽しく気軽に」健康づくりを学べる事業に数多く取り組んでいる。「遊びからスポーツを学ぶ」をキーワードに、青少年の基礎体力の向上や肥満防止、運動習慣の定着を図る事業を展開し、好評を博している。また、市民体育館の指定管理者の協力を得て、最新機器を用いた健康チェックや最先端の健康に関する講演会を実施するなど、市民スポーツの先駆的な事業を展開している。
20	埼玉県	ふかやしかわもとこうみんかん 深谷市川本公民館	川本公民館は、旧川本町に昭和59年に開設された公民館で、深谷市との合併により12公民館の1つとなり、深谷市川本図書館や深谷市川本出土文化財管理センターと隣接している。また、668人収容できるホールも備えられ、大規模な講演会等にも対応可能である。主な活動事業として、ふるさと子どもまつりや七夕まつり等の「世代間交流事業」、体育祭やグラウンドゴルフ大会等の「体育事業」、子育てサロンや家庭教育学等の「学級・講座」、文学歴史散歩や公民館まつり等の「文化教養事業」などがある。中でも、「世代間交流事業」は、子供から大人、高齢者までのあらゆる世代が参加し、郷土食を味わうなど、伝統文化の継承にも役立っている。
21	千葉県	きみつしこいとこうみんかん 君津市小糸公民館	昭和46年の開館以来、君津市小糸地区の社会教育の場として、住民の学びを支え、地域の実態に合わせた様々な活動を展開している。特に、婦人会等地域団体と協働しながら、地域が持つ力を育てることに重点を置いてきた。 平成13年に併設した「小糸プレイルーム」では、開設以来、利用者で組織されたプレイルーム運営委員会による主体的運営が行われている。19年以降「つどいの広場事業(プレイルーム関連事業)」により、さらなる子育て支援拠点としての発展を目指し、子供や保護者が交流する機会をもとより、高校生の育児体験の場を設けたり、福祉部局と連携したりしながら、切れ目の無い子育て支援に取り組んでいる。これらの活動は家庭教育学級等とのつながりを生み、蓄積した関係性の上に、新たな活動団体が発足するなど住民自治の力を高める場となっている。
22	千葉県	いちはらしりつやわたこうみんかん 市原市立八幡公民館	八幡公民館は、昭和23年に千葉県下2番目の公民館として、戦後復興と町づくり、人づくりを旗印に開館した。当時の八幡町を代表するシンボルであり、地域住民の生活改善のための施設としてリーダー的な役割を果たし、24年11月第2回全国優良公民館表彰を受賞した。その後、47年に八幡中学校の跡地である現在の地に新築移転、さらに、61年には体育室等を増築し、平成30年に創立70周年を迎えた。 かつて八幡は、水陸交通の要衝として発達した歴史文化の町である。「八幡史学館」事業の内容は、郷土の歴史資料を掘り起こし、その背景を学ぶことにより、地域への理解と愛着を深めることを目的としており、平成18年度から実施している事業である。歴史ある町の資料等豊富で貴重なものが多く、内容も充実している。毎年参加希望者が多く、受講者の「学びたい」という意識が高く、ニーズに応えられるように企画している。地域の活性化を図るとともに上記事業に代表されるような、様々な講座の充実を図り、よりよい公民館活動を目指している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
23	神奈川県	ひらつかしりつすかこうみんかん 平塚市立須賀公民館	<p>須賀公民館は平塚市第1号の公民館として開館し、平成30年1月15日で開館60年を迎えた。そして、これまでの公民館活動が評価され29年度に神奈川県優良公民館表彰を受けた。</p> <p>須賀公民館の位置する港地区は古くから漁業が盛んな地域であることから、特色ある公民館事業として「親子でさばき教室」を実施し、地元で水揚げされた魚をさばき、口にすることで地産地消を親子で体験した。</p> <p>また、平成30年度は新規事業の「ビーチde地曳網体験と魚さばき体験」として、かつて港地区で行われていた漁法を体験し、平塚の海の魅力を体感するプログラムを実施した。さらに、地域の自然環境の保護を目的として漁港周辺の河口を清掃する「相模川クリーンキャンペーン」を自治会及び地域企業とともに長年実施している。</p> <p>このように、須賀公民館では地域資源と地域人材を活用した公民館事業を展開し、地域を誇りに思う環境づくりと次世代の地域の担い手の育成に力を入れている。</p>
24	神奈川県	かわさきしなかはらしみんかん 川崎市中原市民館	<p>中原市民館は平成21年に現在の場所へ移転(前身の「中原公民館」は昭和28年開館)し、中原区小杉周辺の再開発が進む地域において、民間開発事業による高層マンションの一角を公共施設として区分所有する方法により、「かわさき市民活動センター」と一体的に整備され、平成30年で開館から10年を迎えた。</p> <p>中原市民館は、鉄道3路線が交差し、バスターミナルを有する武蔵小杉駅に近いことから、多くの市民に利用されている。社会教育振興事業については、識字学習者、障がい者社会参加活動の参加者、その他講座への参加者も多く、これらを支援する市民ボランティアの活動も盛んである。</p> <p>本市の市民館は平成22年度から管理運営を区役所に移管し、社会教育振興事業については補助執行により実施している。中原市民館は区役所各課と密接に連携し、中原区内の生涯学習支援拠点として、市民の「学び」を市民活動につなげるための支援について積極的に展開している。</p>
25	新潟県	にいがたしこばりあおやまこうみんかん 新潟市小針青山公民館	<p>新潟市西区の4館ある地区公民館の一つとして、他地域同様、少子高齢化が進んでいるという地域課題を踏まえ、平成28年から高齢者の居場所づくり等を目的として、「西新潟オープンカレッジ」を実施。市民で構成される西新潟オープンカレッジスタッフが主体となって事業を企画・運営しており、住民参加型の事業となっている。</p> <p>また、地域のコミュニティ協議会、人権擁護委員等と連携し、地域行事や地域課題に取り組む講座を継続的に実施している。</p> <p>さらに、平成23年から発達障がい児家庭教育学級「発達障がい児を支える」の実施や、障がい者の参加する講座においては手話奉仕員の配置、家庭教育学級では保育付き事業の実施等、誰もが学習できる環境づくりに努めている。</p>
26	新潟県	せきかわむらこうみんかん 関川村公民館	<p>村唯一の公民館として、あらゆる年代を事業の対象とし、幅広い団体やボランティアと連携して事業を行っている。</p> <p>住民の半数以上が参加したスポーツイベント「関川村チャレンジデー」は村の住民福祉課と連携し、子育て中の保護者向けの「ペアレント・トレーニング講座」はNPO法人と連携して実施した。そのほかにも、小学校と連携した「郷土学習会・観光ボランティアガイド」事業や保・小・中と連携した「せきかわ冒険王」等を実施している。</p> <p>また、村内小学生が4泊5日で100kmを歩き、地域の自然・ひと・ものに触れる機会を提供する「関川村子どもチャレンジ100」では、近隣大学の学生、自衛隊員、山形県小国町の探検ガイド等がボランティアスタッフとして参加している。</p>
27	富山県	うおづしかづみこうみんかん 魚津市加積公民館	<p>加積公民館では地域振興会や学校、PTA等他団体と連携しながら、地域の特産品である「加積りんご」をテーマとした事業を企画し、子供たちに対するふるさと教育を行うとともに、地域住民のニーズに合った異世代交流事業や生涯学習教室等を行い、地域住民の絆(きずな)を深め、地域の活性化を図っている。</p> <p>【土曜日の豊かな教育活動推進事業「りんご体験教室」】</p> <p>りんご栽培の花摘みから収穫まで一連の体験学習や収穫したりんごを使った料理教室を行い、また栽培者や県の果樹研究センターの方から「加積りんご」の歴史や栽培方法について学ぶことにより、ふるさとの歴史と自然の豊かさ、収穫の喜びを子供たちに伝えている。</p>
28	富山県	なんとしみなみやまだこうみんかん 南砺市南山田公民館	<p>南山田公民館の主な事業は、自治振興会、スポーツ振興会、保育園等の関係機関と連携して行っている。地区住民を対象に南山田フェスティバル ウォーキング大会を開催し、ウォーキングを通して健康の保持増進と楽しく取り組むことを目的に多くの方が参加しており、地域づくりに大きく貢献している。また、子供たちを対象に地元の伝統行事である「城端むぎや祭り」に出演することを目的として、他の公民館と連携し練習会を行い、祭り当日は各会場に出演するなど、参加・体験を通して、地域への愛着を深め、伝統行事の継承に努めている。また、「わんぱく塾」を開設し、地域の子供たちを対象にガーデニング・マナー・写生会・おにぎりづくり等の教室や体験会を行うことで、子供たちの学校外での学習活動に大きく貢献している。</p>
29	石川県	はくさんしりつみなとこうみんかん 白山市立湊公民館	<p>湊地区は手取川の河口左岸に位置し、中世から近世にかけては日本海運の要港として栄えた町である。地区内には、保育園や小学校等の教育施設のほか、日本の渚百選にも選ばれた小舞子海水浴場や松尾芭蕉の句碑等、名所・史跡も存在する。</p> <p>このような地区にあって湊公民館は、体験型の行事を通して子供の成長を地域全体で見守る取り組みを実施している。特に「湊ふれあい通学合宿」は、地域の様々な団体の連携・協力を得て実施されている。ボランティアと交流することで子供たちがボランティアに関心を持ち、合宿後に新たに地域でボランティア活動を始める子供が増え、子供の成長とともに事業の成果が地域に還元されている。</p>

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
30	石川県	のとちようりつさんなみこうみんかん 能登町立三波公民館	三波地区は、能登半島の北東部に位置し、世界農業遺産「能登の里山里海」の評価点の1つである「日本の原風景」を有する地区である。山と海が近接する半農半漁の集落であるが、地区内にある3つの集落(藤波・波並・矢波)すべてに漁港が存在しており、古くから定置網漁が盛んに行われている地域である。 三波公民館では、豊かな自然を生かした体験活動を通して郷土愛を育むことを目的として、様々な事業を実施している。特に、年に数回、定置網にクジラがかかることから、クジラに縁の深い地域として学習会や交流会を開催している。海と密接な関係を持つ地域ならではの独自文化を住民が学ぶことで、郷土愛を育むことを目的としている。
31	福井県	えちぜんしおかもこうみんかん 越前市岡本公民館	高齢化が進む地域の中で、どの世代の住民も生き生きと、学び、集い、そして同世代の仲間も異世代の住民同士も、お互いにつながることを目指し、地域コミュニティの拠点として大きく貢献している公民館である。「地域のために自らで何かしたい」という青年の要望に応え、青年グループ「なう すたんど」の立ち上げに大きく携わり、青年らが地域の特別事業の企画・運営を担い、主体的な活動が行えるよう、公民館としての支援に力を注いでいる。「なう すたんど」の地域事業への参画が、様々な世代との交流を生み、地域の一体化、活性化へとつながっている。特に「おかもとイルミフェスタ」は「なう すたんど」を中心に、地域住民みんなで盛り上げる大きなイベントとなった。さらに県連合青年団や他地区の青年グループとの連携活動にも公民館が大きく関わっている。
32	福井県	ふくいししみずにしこうみんかん 福井市清水西公民館	清水西公民館区は、平成18年の市町村合併により誕生して12年目、公民館が建設されてからは9年目の比較的新しい地区で、里山地域に古くからある集落と昭和・平成に造成された団地が混在するため、住民同士のつながりが希薄になりがちな条件を有する地区である。そのような難しい背景にある中、清水西公民館は、住民一人一人が「ともに響きあうまちづくり」をすすめる拠点となることを基本方針とし、事業を実施している。その内容は、地域住民のつながりを深め、地域にある文化を再発見すること、地域課題を見据えた各種の学びを通じて、参加者や住民のつながりの強化を目指すものとなっている。その姿勢・活動内容は、これからの公民館事業の在り方の模範を示し、地域コミュニティの更なる活性化に大きく寄与するものである。
33	長野県	ながのしりついまいこうみんかん 長野市立芋井公民館	芋井公民館は、長野市の中心から北西に位置し、霊山飯縄山と裾花川に抱かれた中山間地の芋井地区にある。世帯数は約970世帯、人口2,200名余りで四季折々の自然豊かな環境の中で公民館活動を行っている。活動は地域との関わりを心掛け、地元の食材や伝統食を取り上げるほか、ホテルの育成環境の勉強会や観賞会等、地域の子供から大人まで多くの人々が学べる環境を整えている。また地区に多く残る史跡や地区の名所を巡りながら歴史や文化の継承にも取り組んでいる。公民館が中心となり地区の神社にある「算額」「俳額」等の復元も積極的に行い、郷土への愛着心と誇りを養うなど、魅力ある地域づくりに取り組んでいる。
34	岐阜県	みずなみしかまどこうみんかん 瑞浪市釜戸公民館	少子高齢化が進む地域の中で、「まちづくりの中の公民館」という位置づけを明確にし、事業を展開しており、「子ども寺子屋教室」や「太鼓グループの活動」では、世代間交流を通して、地域の絆(きずな)を強めることに寄与している。また、高齢者を対象とした「出前健康サロン」では、学びを生かす場を創設し、住民の生きがいづくりに貢献している。住民のニーズと共に地域課題も的確に把握し、学校や自主グループ等と連携を図りながら、それに応える事業を企画・運営していく中で、住民の事業への主体的な参画と、地域を支える人材の育成を実現している。
35	岐阜県	たじみしこいずみこうみんかん 多治見市小泉公民館	旧家や史跡が多く残り、歴史が感じられるまちに、転入者が増加している地域の現状を捉え、全ての住民が地域の魅力と郷土のぬくもりを感じられる住みよいまちを求めて「文化と人の新旧交流事業」を展開しており、地域課題の解決に向けて学習活動を組織する公民館の役割を果たしている。小泉活性化委員会との共催事業や地域団体・諸機関と連携した協働事業を精力的に実施し、中でも「小泉探訪ウォーキング」は、地域の自然・歴史・文化の諸資源をうまく生かした事業となっている。活性化委員会の評価等を活用し、改善しながら事業を継続する中で、地域に定着する事業を生み出している。
36	静岡県	いわたしたはらこうりゅうせんたー 磐田市田原交流センター	磐田市田原交流センターは、里山の自然に囲まれた地域であるとともに、区画整理による新興住宅の住民が多い地域で、自然環境を生かしながら「地域住民の交流による顔の見えるまちづくり」を積極的に展開している。 田原地域づくり協議会という地域の団体を横につなげた組織のもと、近隣の幼稚園、小学校、中学校との強い協力関係を持ちながら、地域づくり、人づくりに取り組んでいる。 水車づくりや竹を利用したベンチ製作等自然環境を生かした取組や新興住宅地に住む核家族世帯を地域の高齢者が支援するサロン活動を実施している。 その他、社会福祉への取組や、よりよいセンターを目指し他県の公民館との交流を実施している。
37	愛知県	こうたちょうちゅうおうこうみんかん 幸田町中央公民館	幸田町中央公民館では、全年齢層の町民に対して、生涯を通じていつでも自由に学習機会を選択して学習できる環境を整えることを念頭に事業を推進している。幸田町文化協会会員や地域で活動する団体等から講師を選定し、講座の受講後も継続して生きがいづくりや仲間づくりができるよう配慮している。「生涯学習ガイドブック」の発行や「広報こうた」等で情報を発信し、より多くの人々が参加できるよう工夫している。また、必要に応じて託児を実施し、小さなお子さんがいるお父さん、お母さんにも安心して講座に参加しやすい環境づくりに努めている。また、公民館エントランスを利用して、おひなさまや端午の節句等の季節展示や各種団体の作品展示等を実施し、講座以外でも多くの人に来館してもらえるよう工夫している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
38	愛知県	あいさいしきさおりこうみんかん 愛西市佐織公民館	愛西市佐織公民館では、市及び館主催の事業(教室・講座)の開催のほか、地域住民の会合や多様なクラブ活動で多くの方に利用されている。毎年実施される「ジュニアコンサート」は、市内3中学校の協力を得て行っており、大変盛況で市の一大イベントとなっている。また、平成29年度は、市内の小学生が調査したレポートをもとに、「愛西市の謎を解き明かせ！地名探偵～時空をこえた迷子～」を実施するなど地域に根差した事業を展開した。このほかにも、観光協会等他機関との連携企画も実施し、親子教室や子どもチャレンジ講座等子供から大人まで学習機会を提供し、地域の文化の拠点としての役割を担っている。
39	滋賀県	おおつりつまのきたこうみんかん 大津市立真野北公民館	真野北学区は大津市の西北部地域に位置し、公民館付近は新興住宅地であるが、歴史遺産でもある「曼荼羅山古墳群」が点在し、比良の山並みや琵琶湖等も望むことができる。歴史と自然に恵まれた地域である。公民館を拠点とした自治会活動やサークル活動が盛んで、住民自らの手で地域課題の解決に取り組んでいる。その中で、「地域の子供は、地域で守りましょう」を合言葉に活動する「真野北学区土日対策実行委員会」の協力の下、子供たちの豊かな人間性や生きる力を育む「まのきたっ子ワクワク広場」を継続して開催している。この事業では、地域の大人が常に子供たちと関わっており、地域人材の活用にとどまらず、地域社会と子供たちの関係を深められる点で、次代のまちづくりの担い手育成についても期待されることから、他の公民館の模範となっている。
40	京都府	あやべしものべこうみんかん 綾部市物部公民館	「誰もが住みたい！住み続けたい！物部」にするため、まず集い、学び合い、そしてつながり合う」を目標に地域住民の絆(きずな)づくりや学校、家庭及び地域の連携した取組を進めている。毎月15日の「一斉声かけの日」をはじめ、地域内の小学校等とは日常的に連携した取組を行い、学校行事や公民館行事においても相互協力体制ができています。また、各種地域団体と連携し、季節ごとに「春・夏・冬まつり」や「音楽祭」を開催し、地域の高齢者から子供までが共に楽しみ世代間交流が図れるよう工夫を行っている。さらに、公民館報のほか、ウェブサイトやfacebookも活用し、地域内外に公民館活動をはじめとする地域の取組を積極的に情報発信している。
41	京都府	きょうたんごしおおみやちいきこうみんかん 京丹後市大宮地域公民館	京丹後市は、高齢化率が高く100歳以上の人口の割合が全国平均より高い地域である。京丹後市高齢者大学「大宮学園」を開講し、公民館で各種講座を開き、高齢者が生きがいを持って生活できるような環境づくりを進めている。また、子育て支援センター等に協力を得ながら、子育て交流会や高校生と赤ちゃんのふれあい交流事業等の家庭教育支援事業を行っている。さらに、外国人観光客や外国人労働者の雇用等国際化が進みつつある中、子ども体験事業として「ハロウィン」や京丹後市青少年健全育成会と共催し「英語で遊ぼう」等国際色のある活動も行っており、学習活動の拠点、人々がまなび、集う公民館本来の活動の拠点としての役割を担い活発な活動を行っている。
42	兵庫県	かこがわりつひらおかこうみんかん 加古川市立平岡公民館	当該館では、子供の学習支援や居場所づくりに重点を置いた「ひらこうジュニアカレッジ」を通年で開講している。これらは、公民館登録団体や、高齢者大学・同OB会等の公民館利用者がボランティアとして参画し、講師となるボランティアが公民館活動等を通して得た知識や技能の学習成果を活用して子供たちに伝える「学びの循環」の場として機能している。また、高齢者大学では、教養を高めるだけでなく、地域貢献活動を実践するために役立つ内容を実施している。年間25回の講座では、地域活動だけではなく、心身が健康で歳を重ねるために必要だと考えられる内容を充実させている。これらの取組を通じ、更に学びを深める生涯学習を推進し、学びと実践の一体化を図っており、地域の社会教育の場として大きく寄与している。
43	奈良県	ならしりつけいせいこうみんかん 奈良市立京西公民館	(公財)奈良市生涯学習財団が指定管理者として管理・運営を行っている施設。同財団は、職員の持つ社会教育・生涯学習に関する専門的な知識・経験(社会教育主事等)を生かし、多彩な事業を実施している。京西公民館は、西の京丘陵上の赤膚山近くにある住宅地に囲まれた地区公民館で、年間約1万4,000人余りの方が学習活動を行っている。利用者の固定化・高齢化が解決すべき課題であり、新規利用者や自主グループを増やしていくために、気軽に参加できる体操講座「リフレッシュサロン」を平成28年度から開催している。講座終了後に茶話会を実施し、そこで出た意見を元に新たな自主グループ(ヨガ・手芸・卓球)が結成されるなど、「リフレッシュサロン」を契機とした動きかけが着実に実を結んでいる。また、参加者が「けいせい公民館まつり」の運営に関わるなど、活動の輪が広がっている。
44	鳥取県	くらししきかみほうじょうこうみんかん 倉吉市上北条公民館	地域の担い手不足解消に向け、地域リーダーの育成という明確な目標を設定し、「青少年の頃から地域の大人との関わりを通して地域に誇りと愛着を持つこと」「自ら考え行動できる力を身に付けること」が重要と捉え、将来の地域リーダーの育成を狙って「上北条ゲームリーダー」制度を考案した。公民館の主な活動として、上北条ゲームリーダーの認定(小学校4, 5, 6年生の児童)・養成と上北条まつりでアナログゲームブースを企画運営、主催事業としてダンボール迷路、地区外へ出張し小学生にアナログゲームの提供及び交流、地域PR動画の製作等、地域資源を生かし、地域の大人や高校生等様々な人と関わりながら、地域を担うリーダーを育成している。地域住民にもこのゲームリーダー活動が周知され、地域行事への参画も定着しており、この取組を通じて、子ども会や学校でもリーダーシップを発揮できるようになるなどリーダーとしての人材育成が図られ、地域行事に参加したいという意欲へとつなげている。



No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
45	鳥取県	とっとりしりつきゅうしょうちくこうみんかん 鳥取市立久松地区公民館	地区全体で人口減少、中でも、若い世代の人口減少が進んでおり、その課題解決に向けた事業を展開している。地域や保護者の方とのふれあいや地域の良さを生かした体験を重視し、子どもたちにとって印象深く、久松地区の良さを感ずることができるよう事業内容を工夫している。主な活動として、県国際交流員のロシア人講師による「マトリョーシカの絵付け」やさびアストロパーク・天文協会から講師を招いて「星を見る会」等公民館単独で実施している事業が年間7事業ある。また、「地引綱」や昔ながらの杵と臼を使っての「もちつき大会」等、地域の様々な団体等と連携して実施する共催事業も年間10事業行っており、子どもたちが地域の大人と関わりながら意欲的に学んでいる。地区の小中学生の人数は減少傾向であるにもかかわらず、事業への参加者は少しずつ増え、中でも保護者の参加が増えており、地域が一つになって地域社会全体で子どもを育てていく体制が整っている。
46	島根県	はまだしりつこくふこうみんかん 浜田市立国府公民館	今まで公民館活動に参加するだけであった地域住民が、公民館の学びをきっかけにして、地域にある豊富な資源を活用した地域ブランドづくり、国府の海や川の水質等の環境整備、観光客の増加につながる取組を行った。地域のよさや地域課題について考える機会を提供し、公民館活動に参画する地域住民を増やしており、今後も地域づくりの拠点としての期待が高まっている。 地域の小学校・中学校・県立学校との連携を図り、学習の狙いを学校と共有しながら、地域人材の活躍できる場を設定している。活動の様子を公民館便りで積極的に情報発信するなど、地域と学校が一体となって地域に愛着をもつ児童生徒を育てていこうとする気運の醸成を図っている。
47	島根県	まつえしやつかこうみんかん 松江市八束公民館	公民館が設立した地域の伝統芸能「島芝翫節(しましかんぶし)」保存会を中心にして、小学生から大人まで多くの住民が伝統芸能の継承を行っている。保存会の活動を通して、地域住民が地元への愛着を深めるとともに、多世代の交流が生まれ地域の連帯意識の向上につながっている。 地域住民が気軽に集い、語ることができる憩いの場として図書スペースの整備に力を入れている。住民の意見や要望を聞き、学習要求を高めるよう図書の種類や配置に気を配っている。 高齢者や自家用車がない方も気軽に公民館を利用できるように町内を循環する地域コミュニティバスの時刻やルートを検討し、公民館で行われる会議や事業をバス時刻に合わせ、地域の方が公共機関で出かけやすい工夫を行った。
48	岡山県	はやしまちょうちゅうおうこうみんかん 早島町中央公民館	早島町は、政令指定都市の岡山市と中核市の倉敷市に隣接し、いわゆるベッドタウンの役割を任う自治体である。早島町中央公民館は、計画的・継続的に、様々な大人向けの講座を実施しており、総称して「はやしま学『まなびの舎』講座」と呼んでいる。 「まなびの舎」講座は、住民のニーズの高い「健康」「歴史」「ESD(ふるさと)」の3領域・全31講座から構成している。講座にはそれぞれ単位が設けられており、取得単位数により認定証が授与され、講師育成の一助となっている。また、そのほかにも、約1か月間開催される「生涯学習まつり」や、ボルダリング、スラックライン等のスポーツ、小・中学生対象の英会話塾やロゲイニング講座等、多くの講座・イベントの実績がある。
49	岡山県	おかやましりつみつこうみんかん 岡山市立御津公民館	岡山市御津地区には県営・市営工業団地があり、多くの外国人労働者が雇用されている。外国人を雇用している企業への聞き取り調査を行ったところ、コミュニケーションの取り方に苦慮している実態がみられ、外国人が日本語を学べる「日本語教室」を開講し、平成30年で9年目を迎える。この講座を公民館で行うことにより、外国人と地域住民との交流が少しずつ増え、日本語だけでなく、御津町音頭の手ほどきや浴衣の着付け等、日本文化にも触れる機会が生まれてきた。 一方で、地域住民が外国の衣服や食について、日本語教室に参加している外国人から学ぶ機会も生まれ、この双方向の刺激により、特色ある事業「多文化カフェ」へと発展している。
50	広島県	ひろしましふるたこうみんかん 広島市古田公民館	本公民館は、昭和63年に開設。高齢化率19.0%、年少人口15.3%と、広島市では比較的世代間の均衡がとれたエリア特性がある(広島市全体ではそれぞれ24.6%、13.9%。平成30年3月末現在)。地域から愛され、地域と共に成長する公民館を目指し、住民が集い、学びあい、結びあう場となるよう、年間400回を超える活動・事業を展開している。 このまちに誇りたいプロジェクトは、古田中学校の生徒と古田地区住民が一緒になって、30年後の地域の暮らしを考え、行動するため、平成25年度に立ち上げた事業として行っている。中学生の発案で「みんなが幸せに使える公園」をテーマにワークショップをしたり体験イベントを実施したりするなど、公民館が多世代の居場所づくりの拠点となり地域住民の絆(きずな)が深まっている。
51	広島県	おのみちしむかいひがしこうみんかん 尾道市向東公民館	本公民館は、旧公民館の老朽化に伴い、平成2年1月に尾道勤労者総合福祉センター(サンボル尾道)として建設された建物に移転した。高齢化率37%と高い地域であるが、家庭教育支援団体「親ごから」や、NPO「おのみち寺子屋」等活発に活動している社会教育関係団体があり、公民館のコーディネートで様々な事業を実施している。 防災フェアin向東!は、「地域を繋ぐ」をコンセプトに、消防団、民生委員会、公衆衛生協議会、保健推進委員会、体育協会等、16団体の協力を得て「防災フェア」を実施。全5回の打ち合せを通して地域団体のつながりを深め、郷土愛の育成や地域への愛着心の醸成を図っている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
52	広島県	はつかいちしくしどしみんせんたー 廿日市市串戸市民センター	本市民センターは、昭和57年4月に公民館として開館。平成20年4月に市民センターに名称を変更し、生涯学習及びまちづくりの拠点となった。若い世代の移住者が多い地域で、幼年人口は増加しているが、29年度の町内会加入率が59.9%（廿日市市全体の加入率は74.7%）と低く、地域交流が弱いという課題がある。そこで、地域住民の交流を促進し、地域の課題解決に貢献するために、「ぼくのまちわたしのまちプロジェクト」を実施している。 「ぼくのまちわたしのまちプロジェクト」は、地域の資源(伝統、施設や団体、商店街を含む)を活用し、若い世代の利用を増やすことを目的とした事業である。「串戸のピースを発見しよう」「けん玉の広場」等、子供と地域住民が関わり、気づきや学びを深めるイベントをすることで、市民センターを拠点とした地域住民の交流が促進され、地域への愛着が育まれている。
53	山口県	はぎしあきらぎこうみんかん 萩市明木公民館	地域の大人、子供たちが夏季休業中にみんなで昼ご飯を食べる「みんなで食べよう！昼ごはん」という事業を展開し、地域でのふれあいを深めるとともに、子供たちの安心安全の確保にも努めている。また、地域ニーズに基づいた講座を数多く開けるように講師を地域人材から探すことで、継続的な講座の開設につながり、住民のスキルアップにもつながっている。季節感を演出する展示や住民参加型の展示コーナーを設けることで、来館者が当事者意識をもって施設を活用するとともに、様々な行事に積極的に関わることで、地域の社会教育推進の中心的な施設としての役割を果たしている。
54	山口県	やないしおおばたけこうみんかん 柳井市大畠公民館	地域の偉人を題材にした講座を地域の団体と協働して実施することで、地域の歴史等を見直す気運が高まり、その流れは大畠地区だけでなく、柳井市全体にも波及している。各種講座では、学習を終えた受講生が次回以降の講座の準備等に積極的に関わるとともに、新規受講生の参加促進や支援を継続的に行うことで、学びの循環につながっている。また、様々な地域団体と連携することで、学びのネットワークを広げている。さらに、各種講座についての意見を聞いたり、公民館職員が一参加者となり、教室や講座に参加したりすることで、常に新しい視点を加えた活動を展開している。地域の全ての人が活用できる公民館として積極的に事業を展開している。
55	山口県	しゅうなんしたかみずしみんせんたー 周南市高水市民センター	地域行事では、地域の諸団体と連携を図りながら協議を重ね、行事が前年踏襲型にならないように努めている。公民館だよりやウェブサイトで、活動団体紹介や行事予定、事業報告を掲載し、地域住民が公民館活動に関心をもてるように工夫している。小学校4年生を対象にし、4泊5日の共同生活を行う通学合宿を、地域全体の協力で開催している。この通学合宿で、子供たちの成長だけでなく、保護者が地域とのつながりや家庭教育について考えるようになり、地域の絆(きずな)が深まり、ボランティア活動への参加意識が高まるなど、教育に対する関心・意欲の地域全体での高まりにつながっている。
56	徳島県	あなんしりつなかがわこうみんかん 阿南市立那賀川公民館	阿南市立那賀川公民館は、地域における社会教育の拠点として、また、地域住民の交流の場として、住民や各種団体と協力しながら、地域の活性化に取り組んでいる。 特に、高齢者ふれあい会食事業に力を注いでおり、会食を通じて、高齢者の健康づくりと仲間づくりが活発に行われている。高齢者同士が、互いに会話や食事を楽しみ、交流することによって、それぞれの日常生活における悩み事等を共有し、孤独感の解消や健康増進につなげることを目的としており、地域のつながりや地域力の向上に大きな成果を挙げている。
57	愛媛県	やわたはましりつかわかみちこうみんかん 八幡浜市立川上地区公民館	人口、世帯数共に年々減少し、少子高齢化が進んでいる地区であるが、隣接の保育園や小学校との連携及び2つの自治館との協働による活動が盛んで、地域住民の集う場としての機能を十分に発揮している。また、地域コミュニティを持続するために、地域における公民館の担うべき役割について住民とともに審議し、事業に反映する仕組みを整えている。 特長ある活動としては、地域の自然環境や産物等の特長を生かし、多くの住民が一堂に会するイベントを年に3回実施しており、住民同士の交流や地域外の住民とのふれあいによる「にぎわい創出」「地域活性化」の拠点としての役割を果たしている。さらに、農繁期に公民館の一部を開放して、小学生等を対象とした昔の遊び教室等を実施し、安全な居場所づくりと高齢者の生きがいづくりに一役買っている。
58	愛媛県	にいほましりつふなきこうみんかん 新居浜市立船木公民館	船木校区地域教育力向上プロジェクト推進事業では、人権問題や地域防災・減災、環境保全についての学習と実践を繰り返し、地域課題の解決や住民の自治意識の向上に成果を上げているほか、伝統文化の継承活動や健康づくり活動、夏祭り等の活動を行い、世代間交流を通じて、地域内の多世代の連帯意識高揚を図っている。また、子ども教室やクッキング教室、地域づくり講座等を実施し、地域住民の学習の成果、知識、技能をボランティアや地域づくりに生かすことのできる仕組みを整え、支援している。 地域学校協働活動の取組として、地域の小中学校の学校運営協議会の一員として、小中学生の長期休業中の学習会の開催やボランティアスタッフ募集に尽力しているほか、地域の花づくり運動を小中学生と一緒にするなど、学校との連携・協働を推進している。
59	福岡県	あさくらしたていしこみゆにていせんたー 朝倉市立石コミュニティセンター	立石コミュニティセンターでは、事業の企画立案時点から参加者が主体的に関わることでできる仕組みを作っているため、様々な事業を実施する際に、参加者同士の連携が生まれ、新たな活動へと発展している。 特に、子育て支援を地域課題として捉え、子供の生活技能の向上や学習習慣の定着が「親と子の自立」につながるのと考えから、7泊8日の通学合宿を実施している。毎年活動内容を精査・改善し、地域の支援者から指導を受ける部分と自力でやり抜く部分とを明確にしたプログラムの工夫により、社会性や自立心の向上に役立っている。このように、コミュニティセンターを核とした住民主体の活動や狙いを明確にした取組、住民の声を生かした事業の推進等により、持続可能な取組が実施されている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
60	佐賀県	さがしりつかいせいこうみんかん 佐賀市立開成公民館	開成地区は、佐賀市の中では新しい町であるため、公民館では地域住民の子供達が愛着を持てる故郷となる地域にしたいという思いを共有しながら、大人から子供までが一体となって活動し交流できる機会を作っている。例えば、「さが学講座」で受講者が郷土自慢をテーマに製作したオブジェを「開成ライトファンタジー」の会場で展示している。また、ライトファンタジー期間中に開催される小学生主体のクリスマスイベントでは、「中学星サタ」のプレゼント配布と「男の料理教室」受講生の料理の振舞いがある。このように講座や行事が一過性のもので終わらないよう相互に結び付け、参加者同士の交流が生まれるよう意識して取り組み、新たな地域交流の創出や人材発掘に生かしている。また、それらをきっかけに公民館に注目してくれる地域団体も出てきているので、対話を重ねながら共催を呼びかけ、さらなる連携につなげている。
61	大分県	うさこうみんかん 宇佐公民館	宇佐公民館は、「生きがいのあるくらしやすい地域、生涯学習の創造」を運営基本方針に掲げて自主的、自発的な意思に基づいた活動を展開している。地域の課題解決に向けた主な活動として、婦人学級や高齢者学級を実施するとともに、学校や地域団体(地区青少年健全育成協議会等)との連携を図るなど、地域住民の学習拠点としての機能を果たしている。特徴的な取り組みとして、地域の伝統文化の継承と地域への愛着の希薄化が課題となる中、公民館が主催する婦人学級の受講生が「宇佐小唄を踊る会」と連携して、地域の伝統文化の盆踊りである「宇佐小唄」を継承し、次世代へとつなぐ活動を進めている。また、食育改善推進団体「北馬城地区ヘルスマイト」とタイアップして、市内小中学校等へ赴き、子供たちと一緒に調理をして、郷土料理を含めた食文化を伝承するなど、公民館活動の成果を地域へ還元している。
62	宮崎県	みやこのじょうしなごうちくこうみんかん 都城市中郷地区公民館	中郷地区公民館は地域の自治公民館連絡協議会、民生委員・児童委員連絡協議会、地区社会福祉協議会、地区高齢者クラブ連絡協議会、壮青年連絡協議会等多くの組織・団体と連携を図りながら、地域住民の学習活動支援や地域の課題解決に資する活動を工夫しながら継続して行い、自己評価に基づき世代や性別に合った学習及び事業を実施している。また、地区内の高齢化率が高いことから、「中郷地区高齢者いきいき学級」を開級し、足腰を鍛える「こけないからだづくり講座」や、食生活改善推進員による「料理教室」等、高齢者が知りたい、学びたい情報を楽しみながら得ることができる講座を実施するなど、高齢期にふさわしい社会的な力を培うとともに、孤立化防止にも努めている。
63	鹿児島県	きりしましはやとまつながちくこうみんかん 霧島市隼人松永地区公民館	隼人松永地区公民館は、平成17年11月霧島市誕生以前から、旧隼人町の公民館分館として生涯学習の場、情報発信の拠点等の役割を果たしてきた。市町合併後もその役割を維持しながら、生涯学習推進の場であるとともに地域住民集いの場として多くの人々に親しまれ、多様な活動に活用されている。 少子高齢化、核家族化が進み、地域内の連携が徐々に薄れていく昨今、本公民館では、地域ぐるみで青少年の健全育成を目指すとともに、高齢者が地域でいきいきと活動しながら暮らしていくために、公民館教室を開設している。具体的には、子供や保護者を対象とした「わらべうた教室」、成人を対象とした「ふれあいグラウンドゴルフ大会」、地区住民全員を対象とした「ふるさと松永夏祭り」等、様々な世代の住民が参加できる教室や行事を開催している。
64	鹿児島県	あくねしちゅうおうこうみんかん 阿久根市中央公民館	阿久根市中央公民館では、「阿久根市民憲章」に定める心豊かで住みよいまちづくりを進めるために、各種の青少年教育事業、高齢者や女性の学習機会の確保、公民館講座等の学習機会を通じた生涯学習を推進している。 本館では、多様な利用者の参加促進を図るため、地区公民館や市内類似施設等を利用して、地域に根ざした学習や、生活向上の諸事業を展開している。 学習講座の運営方針については、事業終了後のアンケート結果を分析し、見直しを図り、講座運営についての工夫改善に努めている。同様に青少年の体験活動や「生涯学習フェア」等の工夫改善を図っている。 永年多くの市民に愛されてきた阿久根市中央公民館は、平成30年度、建て替えにより市民交流センターとしてリニューアルし、新たな生涯学習の拠点となる計画である。
65	鹿児島県	かのやしにしはらちくがくしゅうせんたー 鹿屋市西原地区学習センター	開館以来、生涯学習講座や同好会の支援、生涯スポーツの普及活動を推進し、地域住民の生きがいづくりや仲間づくり、健康づくりの機会を提供するとともに、潤いと活力ある地域づくりに寄与している。 地域コミュニティーの活性化などに重点を置いた講座「ふるさと探訪」では、郷土の魅力を再発見するとともに地域住民の絆(きずな)を深め、子供の健全育成等に重点を置いた講座「子ども絵画教室、やさしい科学教室」なども開設している。また、地域ぐるみで学校を支援する学校応援団や生涯学習推進協議会の事務局も兼ねており、学校と地域をつなぐ役割も担っている。 「出会ううれしさ 学ぶ楽しさ できた喜び 広げよう学びの輪」をキャッチフレーズに掲げ、市民に親しみやすい施設運営を目指し、平成29年度の利用者は3万人を超えている。

## 第70回優良公民館表彰について

文部科学省では、公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められるものを優良公民館として表彰しております。この度、第70回優良公民館表彰について決定しましたので、お知らせします。

1. 表彰館 鹿部中央公民館 外75館

2. 表彰式

(日時) 平成30年3月8日(木) 10時00分～15時00分

(場所) 文部科学省第2講堂(東京千代田区霞が関3-2-2)

3. 選考の経過等

都道府県教育委員会から推薦のあった公民館や公民館と同等の社会教育活動を行う施設について、優良公民館審査委員会で審査の上、表彰館とそこから特に優れた活動を行った5館を「優秀館」として文部科学大臣が決定しました。

さらに、表彰式当日、「優秀館」5館の中から「最優秀館」1館を選定するために、会場でインターネットによる中継を行いながら5館が活動内容のプレゼンテーションを行い、インターネット視聴者・会場からの投票結果を踏まえた審査の上で、**那覇市若狭公民館**が「最優秀館」の栄誉に輝きました。

### 【最優秀館】

那覇市若狭公民館(沖縄県)

### 【優秀館】

鹿部中央公民館(北海道)

奥州市真城地区センター(岩手県)

鯖江市北中山公民館(福井県)

綾町公民館公民館(宮崎県)

第70回優良公民館表彰 表彰館一覧

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	No.	都道府県名	ふりがな 公民館名
1	北海道	しかべちゅうおうこうみんかん 鹿部中央公民館	39	静岡県	ふくろいしりつかさばらこうみんかん 袋井市立笠原公民館
2	北海道	くしろちようこうみんかん 釧路町公民館	40	静岡県	はままつちしゅうぶきょうどうせんたー 浜松市中部協働センター
3	北海道	しらおいちしゅうおうこうみんかん 白老町中央公民館	41	愛知県	がまごおりしかたはらこうみんかん 蒲都市形原公民館
4	青森県	はちのへしりつねじょうこうみんかん 八戸市立根城公民館	42	愛知県	おわりあさひしずいほうこうみんかん 尾張旭市瑞鳳公民館
5	青森県	あおもりしおきだてしみんせんたー 青森市沖館市民センター	43	三重県	いせししょうがいがくしゅうせんたー 伊勢市生涯学習センター
6	岩手県	ひらいずみちようこうみんかん 平泉町公民館	44	滋賀県	おおつりつせたひがしこうみんかん 大津市立瀬田東公民館
7	岩手県	おうしゅうしんじょうち(せんたー) 奥州市真城地区センター	45	京都府	うじしあくらこうみんかん 宇治市小倉公民館
8	岩手県	くじこくじしみんせんたー 久慈市小久慈市民センター	46	京都府	よさのちよりつかやちいきこうみんかん 与謝野町立加悦地域公民館
9	宮城県	ひがしまつしまあかいしみんせんたー 東松島市赤井市民センター	47	大阪府	かわちながのしりつあまみこうみんかん 河内長野市立天見公民館
10	秋田県	せんぼくしたざわこうみんかん 仙北市田沢湖公民館	48	大阪府	おおさかしりつそうごうしょうがいがくしゅうせんたー 大阪市立総合生涯学習センター
11	秋田県	かみこあにむらこうみんかん 上小阿仁村公民館	49	兵庫県	かさいしなんぶこうみんかん 加西市南部公民館
12	山形県	たかはたまち にいじゅくちくこうみんかん 高島町二井宿地区公民館	50	奈良県	ならししょうがいがくしゅうせんたー 奈良市生涯学習センター
13	山形県	むらやまし にしごうちいきしみんせんたー 村山市西郷地域市民センター	51	鳥取県	とっとりしりつひおきちくこうみんかん 鳥取市立日置地区公民館
14	福島県	こおりやましりつなかつたこうみんかん 郡山市立中田公民館	52	鳥取県	いわみちようりつうらどめちくこうみんかん 岩美町立浦富地区公民館
15	福島県	きたかたしまつやまこうみんかん 喜多方市松山公民館	53	鳥根県	まつえしんじこうみんかん 松江市宍道公民館
16	福島県	ふくしましみかわだいがくしゅうせんたー 福島市三河台学習センター	54	鳥根県	おおなんちようふせこうみんかん 邑南町布施公民館
17	茨城県	かしましりつみかさこうみんかん 鹿嶋市立三笠公民館	55	岡山県	つやましんのしょうこうみんかん 津山市院庄公民館
18	栃木県	あしががしやばがわこうみんかん 足利市矢場川公民館	56	岡山県	あかいわしりつちゅうおうこうみんかん 赤磐市立中央公民館
19	群馬県	しぶかわしこもちこうみんかん 渋川市子持公民館	57	広島県	ふちゅうりつふくこうみんかん 府中市栗生公民館
20	群馬県	たかさきしひがしこうみんかん 高崎市東公民館	58	広島県	かいたこうみんかん 海田公民館
21	埼玉県	ぎょうだいちいきぶんかせんたー 行田市地域文化センター	59	広島県	ひがしひろしましわしょうがいがくしゅうせんたー 東広島市志和生涯学習センター
22	埼玉県	ちちぶしあらかわこうみんかん 秩父市荒川公民館	60	山口県	ほうぶしかほうこうみんかん 防府市華浦公民館
23	千葉県	ちようせいむらちゅうおうこうみんかん 長生村中央公民館	61	山口県	たぶせちようまりふこうみんかん 田布施町麻里府公民館
24	千葉県	いちばらしりつあねさきこうみんかん 市原市立姉崎公民館	62	山口県	やまくちしやまちいきこうりゅうせんたー 山口市佐山地域交流センター
25	千葉県	ながれやまししょうがいがくしゅうせんたー(ながれやまえず) 流山市生涯学習センター(流山エルズ)	63	徳島県	あなんしりつぼきこうみんかん 阿南市立椿公民館
26	神奈川県	ひらつかしりつちやこうみんかん 平塚市立土屋公民館	64	徳島県	なるとしばんどうこうみんかん 鳴門市板東公民館
27	神奈川県	あつぎしりつむつあいなみこうみんかん 厚木市立睦合南公民館	65	香川県	みとよしよなちやうこうみんかん 三豊市豊中町公民館
28	新潟県	たがみまちこうみんかん 田上町公民館	66	愛媛県	やわたはましりつおおしまちくこうみんかん 八幡浜市立大島地区公民館
29	富山県	くろべしりつおりたてこうみんかん 黒部市立下立公民館	67	愛媛県	にいほしりつちやあときねんこうみんかん 新居浜市立口屋跡記念公民館
30	富山県	となみしりつせんだんやまこうみんかん 砺波市立梅檀山公民館	68	福岡県	おかがみまちちゅうおうこうみんかん 岡垣町中央公民館
31	石川県	つばたまちかりやすこうみんかん 津幡町刈安公民館	69	福岡県	おおむたしよのちくこうみんかん 大牟田市吉野地区公民館
32	石川県	すずしりつわかやまこうみんかん 珠洲市立若山公民館	70	長崎県	まつうらしりつかみさこうみんかん 松浦市立上志佐公民館
33	福井県	さばえきたなやまこうみんかん 鯖江市北中山公民館	71	長崎県	しまばらしりつはくさんこうみんかん 島原市立白山公民館
34	福井県	ふいしきだこうみんかん 福井市木田公民館	72	宮崎県	あやちようこうみんかん 綾町公民館
35	長野県	いなしかとあまちこうみんかん 伊那市高遠町公民館	73	鹿児島県	かごしましよのこうみんかん 鹿児島市吉野公民館
36	長野県	しおじりしよだこうみんかん 塩尻市吉田公民館	74	鹿児島県	よるんちようちゅうおうこうみんかん 与論町中央公民館
37	岐阜県	くじょうしめいほうちくこうみんかん 郡上市明宝地区公民館	75	鹿児島県	ひおきしたかやまちくこうみんかん 日置市高山地区公民館
38	静岡県	ふくろいしりつこうなんこうみんかん 袋井市立高南公民館	76	沖縄県	なはしわかさこうみんかん 那覇市若狭公民館

…公民館
  …公民館と同等の施設
  …最優秀館
  …優秀館

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
1	北海道	しかべちゅうおうこうみんかん 鹿部中央公民館	本館は昭和52年1月にオープンし、町内唯一の社会教育施設として、図書館、博物館、生涯学習センター等の機能を併せ持ち、公民館事業以外にも図書館事業、文化・芸術事業、子育て支援事業等、幅広い内容の取組を展開している公民館である。 公民館事業としては、乳幼児から少年、成人、高齢者まで、各世代別に通年の学級・講座を開設し、町民の学習・交流の場として定着。公民館の対象人数が4,052人と人口減少の影響を受けながらも、町の基幹産業が漁業という特色を生かし、海産物を活用した特産品の開発をサポートするなど、学校や各企業・団体等と連携した多様な事業を展開し、年間総来館者数は2万人を超えている。また、平成28年度には、全国公民館研究集会北海道大会兼北海道公民館大会を開催し、地域の活性化に関する実績を広く道内外に発信するなど、北海道の公民館活動の充実に向け貢献し、大きな成果を上げた。
2	北海道	くしろちょうこうみんかん 釧路町公民館	公民館の建物がなくなった昭和62年以降、「青空公民館」「移動公民館」としての活動にとどまっていたが、住民側から「学びの場の中核である公民館」が必要であるとの多くの声が上がリ、平成24年度に地域コミュニティセンターを公民館に転換し、地域の交流や主体的な学びへの支援を図る社会教育拠点として再スタートした。 現在では、多様化・高度化する学習ニーズに対応する学習機会の確保や、情報の積極的な提供等、町民の学習の場として機能している。特に、地域で陶芸を学ぶ文化団体の学習成果を、学校における子供たちの学習活動につなぐコーディネート活動として「学校陶芸教室」を実施し、子供たちに地域の大人と関わりながら、より専門的な知識や技術を学ぶことができる機会を提供するなど、地域の活性化に寄与している。
3	北海道	しらおいちょうちゅうおうこうみんかん 白老町中央公民館	白老町には、北の防人として蝦夷地を防備した仙台藩白老陣屋跡や、アイヌ民族が伝承している古式舞踊(国指定重要無形民俗文化財)など、誇るべき歴史や文化が残されている。町においては、昭和55年9月に開館した白老町中央公民館が拠点施設となり、それらの文化的な資源を活用した住民の学習機会の充実に努めてきた。 2020年の民族共生象徴空間の開設に向けて実施している「地域学講座開講事業」は、郷土を学び、郷土に親しむ人材を育成する上で大きな成果を残す取組である。今後予想される多くの来訪者に対して、町の良さを伝えるガイドの養成を見据え、学習資料の整備や関係団体のネットワーク化を進める取組を進めている。
4	青森県	はちのへしりつねじょうこうみんかん 八戸市立根城公民館	根城公民館は「公民館活動教室」「女性学級」「高齢者教室」等、地域住民のニーズに応じた講座を開設している。中でも40歳未満の未婚男女を対象とする「青年学級」は昭和52年度の開設以来、平成28年度で40年目を数え、受講生数は延べ1,800名を数える特色ある講座である。平成25年度からは、受講生が話し合って内容を決める自主講座も開始し、受講生自らが企画会議、講師との交渉等、経験を積みながら運営をしている。こうした中で育まれた実践力が、青年層の地域活動貢献へとつながることが大いに期待される。 その他にも、小学生親子対象の家庭教育講座や地元高校と連携した事業等、小中高校と連携することで、地域の教育力の向上と地域づくり支援にも大きく貢献している公民館である。
5	青森県	あおもりしおきだてしみんせんたー 青森市沖館市民センター	沖館市民センターは、市民センター条例によって設置されている公民館と同等の施設である。指定管理者制度を導入しているが、公民館と変わらぬ社会教育事業を展開している。 事業内容は、趣味や教養だけでなく、地域課題や多様な市民ニーズにバランス良く対応した講座を実施している。また、全講座でアンケートの実施と分析を行い、常に成果と課題を把握している。 特に地域防災については、平成27年度はワークショップを、平成28年度は当センターが防災拠点となることを想定した「沖館地域合同防災訓練」を実施するなど、地域住民の防災意識高揚と知識の習得に大きく貢献した。これらの取組は、生涯学習の拠点として地域住民の学びに大きく貢献している。
6	岩手県	ひらいずみちょうこうみんかん 平泉町公民館	平泉町は、町内に世界遺産の構成資産を数多く持ち、歴史と文化を大切に「やすらぎと文化のおりなす千年のまちづくり」を町の将来像として掲げ、その実現に向けてまちづくりを推進している。平泉町公民館においても歴史と文化の豊かさを生かしながら、町民が生涯にわたって自主的・自発的に学習活動を継続していけることを目指して、各種講座や教室の開設に取り組んでいる。町の中央公民館として、学校や地域住民との連携を密にして、世代や地域を越えて多くの人交流できる活動を企画し、地域住民の輪が広がるよう取り組みを進めている。世界遺産の町平泉の魅力と地域のすばらしさを全世代に感じ取れるような「歴史教室」や平泉の文化遺産を巡る「ウォーキング教室」等の事業を企画し、町民の郷土に対する誇りと愛着を高めている。
7	岩手県	おうしゅうしんじょうちくせんたー 奥州市真城地区センター	奥州市の真城地区振興会は、平成16年3月に策定した「真城地区コミュニティ計画」を見直し、第二次計画の策定に取り組んだ。人口が減少し、高齢化が進む中、若い世代をいかに参画させ、育成していくかが今後の真城地区を左右する大きなポイントであると考え、若い世代が自由な発想で活動できるように予算を確保し、支援している。若い世代による「ちーむやなぎ」が発足し、地域の方々の意識高揚に向けて、横断幕やロゴマーク作成の提案をし、その具現化に向け地区センターが支援した。横断幕は地区センター外壁に設置され、ロゴマークは地区のシンボルとなっている。また、地区民参加のビアガーデン、なべフェスティバル、映画上映会を開催するなど地域住民の協力を得ながら、精力的に活動を展開している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
8	岩手県	くじこくじみんせんたー 久慈市小久慈市民センター	久慈市小久慈町は、人口3,900人、世帯数1,747、豊かな自然が広がり、近年、住宅地として開発が進む地域である。小久慈市民センターは、地域住民が学び、交流する貴重な場であるとともに、地域づくり活動の拠点としても大きな役割を果たしている。市民センター主催事業として多くの学習機会を提供する一方、地域の関係団体との連携した活動も多く、参加者獲得や交流を広げるための事業運営の工夫を行っている。小久慈地区まちづくり協議会との共催による、小久慈地区敬老会、小久慈町民運動会、小久慈町民文化祭は、市民センターの三大事業に位置付けられ、地域住民の交流や学習活動の成果を披露する場となっている。小久慈まちづくり協議会、久慈市地域づくり振興課との共催により、住民が主体となって地域づくりを行う「小久慈地区ふるさと未来づくり事業」も活発に展開されている。
9	宮城県	ひがしまつしましあかいしみんせんたー 東松島市赤井市民センター	本市民センターは、赤井地区自治協議会が管理運営を担う市民センターである。 東日本大震災で当地区は大きな被害を受けたが、被災後すぐに、人口流出や地域コミュニティの再構築といった課題解決に向け、当市民センターを拠点に、地元の小学生から中学生までの子供たちが「ぼくとわたしの復興計画」を立案した。そしてその計画を基に「あかいつこカンパニー」を設立し、子供からお年寄りまでが一緒に笑顔で過ごせる場を作りたいという思いを持って、地域住民・大学・NPOと連携して「子ども朝市「赤井の野菜をたべてけらいん市」という活動を展開した。これらの活動によって、地域住民にとって未来に向かうかけがえのない希望が生まれた。 現在は高校生・大学生も加わって活動を継続しており、更なる地域の活性化を目指し、協働教育やコミュニティスクールの推進等、新たな取組にも挑戦中である。
10	秋田県	せんぼくしたざわここうみんかん 仙北市田沢湖公民館	自主学習グループの活動支援を中心に、伝統芸能の後継者育成、県内有数の観光地を生かしたインバウンド対策としての外国語教室等、地域の学習ニーズに応じた多様な公民館事業を展開している。夏には盆踊り大会、秋には地区文化祭、冬には公民館まつりを開催し、地区内の学校・園、社会教育団体から作品展示や実演発表等の協力を得て、世代を超えた老若男女の交流を図りながら地域活性化に取り組んでいる。 仙北市は、産業発展を主体とした地方創生にマルチ・コプターを利用する「ドローン特区」に指定され、近年注目を集めている。田沢湖公民館は、その実演の場を提供しての周知・広報活動や、イベントの様子をドローンで撮影して発信する活動に協力している。
11	秋田県	かみこあにむらここうみんかん 上小阿仁村公民館	少子高齢化、人口減少という村としての地域課題を抱えている中で、持続可能な地域の在り方を考えた学習活動を展開している。特に、高齢者が多いことをプラスに捉え、「かみこあに大学」を開催し、高齢者が、村内の保育園児や小・中学生と交流することで世代間の交流を促進している。また、地域の伝統芸能の継承のために、異なる地域の住民が交流したり、世代間の交流を促進したりすることに力点を置いている。村唯一の公民館が核となって、同じく村唯一の保育所、小・中学校を強く結び付け、知の循環を図りながら生涯学習を推進することに寄与するとともに、子供たちが地域の将来を担う人材であることを意識できるような事業展開に努めている。
12	山形県	たかはたまちにいじゅくちくここうみんかん 高島町二井宿地区公民館	二井宿地区は、宮城県境に隣接する山々に囲まれ、希少な動植物に恵まれた自然豊かな地域である。また、観音岩をはじめとした多くの史跡等が存在している。公民館では、「二井宿地区 地区づくり計画」に基づき、これらの里山環境や地域資源等を体験事業により語り継ぎ、整備・保全していくこと、そして後世に豊かな地域資源をつないでいく活動に数多く取り組んでいる。さらに、当地区は少子・高齢化が著しく進む中で、小学生から高齢者まで関わる多世代交流事業を積極的に展開している。特に、公民館を中心とした各種団体等に協力いただいて諸活動への参加を促し、地区民総参加によるスポーツ振興事業や地区民講師による様々な活動の展開によって、人と人をつなぐ場を創出している。
13	山形県	むらやましにしごうちいきしみんせんたー 村山市西郷地域市民センター	西郷地域市民センターは、平成21年度に、地域初の「西郷地域づくり計画」を策定し、「人を育て笑顔あふれる郷づくり」を地域の目標に掲げ地域づくりを行ってきた。平成15年度に、地域住民組織である「西郷地域元気な街づくり協議会」が組織され、地域計画に基づく数々の講座やイベント等を企画・実践している。中でも特筆すべきは、約半世紀にわたり継続して実施されてきている「スポーツ・レクリエーション行事による地域活性化」であり、これは地域づくりにも生かされている。地域づくりにおいて基本である「団結力」や「協調性」も、これらスポーツ行事等を通して培われてきたといえる。この取組は、平成25年4月に公民館から市民センターに移行した後も、脈々と受け継がれている。
14	福島県	こおりやましりつなかたここうみんかん 郡山市立中田公民館	中田公民館は基本理念を「郷土愛を育む心豊かな人づくり・まちづくり」とし、過疎化や伝統文化の衰退、地域の活力低下等の地域課題を解決すべく様々な取組を推進している。伝統芸能・工芸の復活と継承を目的とした「柳橋歌舞伎伝承講座」及び「海老根手漉き和紙伝承講座」を計画的に実施することで、人材の育成と技術の継承に努めた結果、「海老根手漉き和紙」は、地域内で子どもから大人までの体験製作の機会が増え、和紙の灯籠を田んぼや農道に設置し、幻想的な空間を提供するイベント事業「秋蛸」として発展した。また、「柳橋歌舞伎」は講座受講生が保存会を立ち上げ定期的な講演を実施するなど、地域住民の自主的な取組として発展した。地域住民と連携しながら「地域振興」に取組む姿勢とその成果は、他の公民館の模範となっている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
15	福島県	きたかたしまつやまこうみんかん 喜多方市松山公民館	地域の公民館として、人づくり、まちづくりを課題に活動を展開している。独自に公民館運営推進協議会を設置し、公民館の運営ビジョンと行動目標を明確にして、PDCAサイクルによる事業評価、事業改善を行いながら、各種講座、教室を実施している。特に、「おらがまちの生涯学習推進特別事業」では、6年間にわたり「ふるさと再発見！わがまち探検まちなかてくてくウォーク」と称して、行政区ごとに歴史・文化その特色を調査し、小冊子にまとめた。平成28年度には集大成として、それらの再調査を行い「小史 わがまち松山」を発刊し、好評を得た。また、地区の小学校と連携し、学校の要請に応じて地域の人材を活用して講師を派遣するなど学校支援のコーディネーター役を担っている。
16	福島県	ふくしましみかわだいがくしゅうせんたー 福島市三河台学習センター	時代の変化や地域の各年代層のニーズを的確に把握しながら、各ライフステージに応じた講座を開設している。また、地域課題の解決に向けた取組としての市民公開講座や市民学校を実施している。これらの講座の中でも特に、「みんなで歩こうみかわだいい」は地区体育協会、三河台歴史愛好会と連携した取組で、地域の歴史、文化を知り、理解を深め、地域への愛着を育てている。また、地域における人のつながりや連帯感、支え合いの意識づくりを進めようと、学習センターが協働の拠点となり、地域をつなげていくコーディネーターとしての役割を果たしている。学習センターの運営に当たっては、運営審議会を年6回開催し、活動内容にPDCAサイクルを機能させるなど、適切な運営を行っている。
17	茨城県	かしましりつみかさこうみんかん 鹿嶋市立三笠公民館	当該公民館の活動は、昭和52年4月同市立三笠小学校開校に伴い、地域住民からの要望を受け、旧中央公民館を地域活動の拠点として開始する。平成16年同市立三笠公民館が設置され、平成19年に同小学校内へ移転し、現在に至る。地域住民による三笠地区まちづくり委員会が企画・運営し、住民主体の公民館運営を展開している。その特色として、子供、親、高齢者との交流を図る「たまり場事業」において成果をあげている。学校内に設置されているため、子供たちの遊びの見守り、下校指導パトロール、昔の遊びや戦争体験講師派遣等、学校との連携が活発である。災害発生時の防災体制を整え、安全なまちづくりの推進を図っている。など、学校と地域が連携した公民館として優れた活動を実践している。
18	栃木県	あしかがしやばがわこうみんかん 足利市矢場川公民館	栃木県南西部に位置する矢場川公民館は、緑豊かな田園地域にあり、公民館、小学校、地域住民とが一体となった特色ある事業が行われている。その一つである「やばっこ学びの巣」は、周辺環境を活用した様々な趣向をこらした体験活動をととして、子供たちが楽しいと感じるだけでなく、指導する大人たちも学び合える機会となっている。また、公民館職員と地域住民が、自主的に企画・運営に携わり、子供たちに体験の場を提供することで、地域の活性化、地域の絆(きずな)を深める役割を果たしている。この「やばっこ学びの巣」で学んだ子供たちが成長した後も、新たにスタッフとして参加し、活動を支える原動力となっている。このように、公民館を中心とした活動によって郷土愛にあふれ、子供の教育や見守りに熱意あふれる地域となっている。
19	群馬県	しぶかわしこもちこうみんかん 渋川市子持公民館	子持公民館は、市民が生涯学習活動で培った知識や技術等を地域に還元するとともに、住民相互の親睦を図りながら元気で心豊かな地域を目指すため、わくわく学び塾を実施している。本事業は、公民館のコーディネートのもと、講師と受講生が協力し自主的に運営を行っている。また、「学校週5日制子ども受け入れ事業」では、子育て支援のため、週末に子供対象の体験講座を毎年テーマを変えて実施している。今年度は、将棋・折り紙・和箏等の講座を58回開催した。講師は、地元の住民が務め、「学び」を生かす場ともなっている。また、講座を通して世代間交流を深めている。子持公民館では、市民の生涯学習活動が「地域づくり」を支える「人づくり」に発展することを願い、市民と行政とが一体となった「地域の教育力を高める生涯学習活動」を推進している。
20	群馬県	たかさきしひがしこうみんかん 高崎市東公民館	高崎市東公民館は、平成23年頃から再開発により高層マンションが建設され、比較的若い世代の核家族が多く、児童数が増加している地域にあり、子供の放課後や長期休暇中の活動場所の確保が課題となっている。そこで、子供の居場所づくりを目的として、夏休み期間に小学生を対象として、宿題補助の講座のみでなく、職業見学や運動教室等の講座を実施したり、放課後や週末にも様々な子供を対象とした事業を実施したりしている。平成28年度には地区の約半数の児童が夏休み期間中の講座に参加し、成果を上げている。また、それらの事業に学生や地元企業、地域住民が講師やボランティアとして積極的に関わる事で、地域住民同士が世代を超えて交流を図る拠点となり、さらに、地域の祭りや育成会等の活動が再開するなど地域の活性化も進んでいる。
21	埼玉県	ぎょうだしちいきぶんかせんたー 行田市地域文化センター	地域文化センターは、太田東小学校区の地域住民を主な利用対象として、平成3年4月に開館した。この地域は行田市の最東部に位置し、豊かな田園地帯を形成している。事業の推進については、公民館を通して、明るく豊かな人づくり、まちづくりを館の活動目標として取り組んでおり、地域コミュニティの形成、地域活力の向上、健康的な地域の構築、魅力を感じる住みよい地域の創造、の4つを活動方針として掲げている。特色のある事業として、伝統文化を継承し将来を担う人材の育成を目的に、真名板地区にある古刹「薬師様」に伝わる薬師太鼓を通して、ふるさと講座等を展開している。これにより、子供たちの郷土愛を育むための実践を行っている。また、学校、家庭、地域による循環型の人づくり公民館活動として、親同士、子供同士、親と子といった様々なふれあいの場を提供したり、じゃがいも掘り等の体験活動をしたりして、地域との連携を図っている。



No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
22	埼玉県	ちちぶしあらかわこうみんかん 秩父市荒川公民館	荒川公民館は、住民の自主的な活動を促すための「生涯学習室」等を有する施設として、平成15年2月に新築された。秩父市でもそば処として有名な荒川地区にある公民館である。その地域特性を生かし、定期的に「そば打ち教室」や「ふるさとの味伝承料理教室」を開催し、秩父の伝統文化を象徴する荒川地域の食文化を公民館講座で継承していく取組を行っている。また、公民館活動に普段あまり参加しない住民を対象として、広報のみならず、住民同士の誘い合いを促し、多くの仲間とともに「仲間と健康づくり講座」を行うことで、地域の活動拠点である公民館を通じてコミュニティーの輪を広げている。
23	千葉県	ちようせいむらちゅうおうこうみんかん 長生村中央公民館	昭和47年の開館以来、長生村の「地域交流」「人材育成」の拠点として活動してきた。現在、約1万5千人の住民を対象に、多様な学習機会を提供している。また、トイレを洋式に改修したり、講堂の床を体への負担が軽減するコルクフロアにしたりするなど、多様な利用者の参加促進のための学習環境の整備にも積極的に取り組んでいる。長生村は高齢化率が30%を超え、また、一人暮らしの高齢者も増加していることから、在宅の高齢者同士の交流、地域住民との定期的なふれあいが喫緊の課題となっている。そこで、高齢者の社会的孤立感の解消(引きこもりの防止)と健康保持を図ることを目的とした「シルバースクール」を年5回開催している。講座の形態は、講義1回、移動教室4回で、参加者が当番制で次の学習内容の企画検討を行っているため、自分たちの興味のある内容となるため、毎回の参加者は多数となっている。
24	千葉県	いちはらしりつあねさきこうみんかん 市原市立姉崎公民館	姉崎公民館は、漁師町として栄えていた姉崎地区に、昭和28年に開館した。その後、昭和30年代に始まった京葉臨海工業地帯の造成に伴う我が国を代表する企業の進出により、多くの人口が流入するなど、開館当初とは大きな変革を遂げており、このような当地区の発展とともに歩んできた公民館である。近年、利用者の要望に沿って夜間土日祝日に講座を開設したり、託児サービスを実施したりするなど、約3万人の市民を対象に、より身近な公民館として存在感が増している。「はつらつかレッジ」は団塊の世代の定年退職が進む中、第二の生きがいとして協働を意識し、地域においてともに学び助け合うことを目標とした講座である。講座内容は、歴史散策、筋力トレーニング、ボランティア関連、人権、医療、防災等多岐にわたり、毎年、本講座の中からサークルが立ち上げられている。受講者が館外の活動に積極的に参加したことを契機とし、次年度に独立した講座が開催されるなど、年度を踏いだ成果を上げている。
25	千葉県	ながれやまししょうがいがくしゅうせんたー (ながれやまえるず) 流山市生涯学習センター (流山エルズ)	平成17年に千葉県流山青年の家が流山市に移譲され、平成18年4月に指定管理者制度の導入により「流山市生涯学習センター」として開館した。学級・講座数が161、登録団体・サークル数が6,300を数え、市民の誰もが自主的に学びたいときに学ぶことができる、地域の社会教育・生涯学習の拠点であり、青少年指導センター、教育研究企画室、市民活動推進センターやNPO法人が入る複合施設でもある。「夏休み子どもワークショップ「ながれやまミュージアム2016」」は、様々な分野の内容をワークショップ形式で気軽に体験してもらうことで、子供たちの興味関心を知識や教養につなげることを目的としている。「芸術・アート・創作アート」、「科学教室」、「文化・歴史」、「料理・趣味」、「音楽・運動」の多様な分野のワークショップが設定され、子供が気軽に参加しやすくなっている。また、音楽の合同発表会を行うことで交流を図ったり、自分の作品がそのまま展示されるだけでなく、展示後にも手を加えることができるようにするなど、継続的な学びの機会となっている。
26	神奈川県	ひらつかしりつつちやこうみんかん 平塚市立土屋公民館	土屋公民館は、昭和43年、旧土沢村にあった出張所に併置されていた土沢公民館から独立して設置され、平成15年に現在の場所に移転された。土屋地区は、平塚市の中でも自然に恵まれた地域であり、地域の団体、小・中学校や地区内の大学とのつながりが強い。この特徴を生かした公民館事業として、「小・中学生の一日大学生」や「わくわく生き物観察会」等を開催している。 平成27年度に地区内に新たな名所を作るため、土屋ざる菊愛好会と小学校、公民館が連携し、「土屋ざる菊園整備事業」を実施したところ、市内外から予想を超えた訪問があった。また、多くの地域団体から参加・協力の声が上がったことから、平成28年度以降も公民館を拠点に当事業を継続、発展させ、地域のつながりを強化したことで、地域内コミュニケーションの向上と次世代を担う子供たちを育てる場づくりに成功している。
27	神奈川県	あつぎしりつむつあいみなみこうみんかん 厚木市立睦合南公民館	睦合南公民館は、昭和32年に睦合村役場跡地に設置された睦合公民館が、昭和56年に分割され、現在の地に建設された。公民館を拠点とした住民の地域活動への参加意識が高く、「子ども魚つかみどり大会」や歴史講座、睦合南地区大運動会などを通して、住民間の交流や知識、体力の向上が図られている。 また、現代的課題や住民ニーズを踏まえながら、併せて地域の歴史や伝統を次世代に継承するための取組も行っている。特に「妻田の遺跡発掘もやま話」や「妻田の昭和の生活」の講座や「妻田薬師・及川山ノ上古墳」の現地見学等を行い、全ての世代の人に、睦合南地区について知ってもらうことで、自分たちの住んでいる地域に愛着を持ち、将来にわたり活気と元気があふれる地区づくりに取り組んでいる。
28	新潟県	たがみまちこうみんかん 田上町公民館	人口12,000人の田上町は、若者を中心として東京圏への人口流出が続き、町の児童生徒数も減少しており、固定化した人間関係が課題となっている。このような中、地域の特性を生かした社会、文化、自然等体験教育や豊かな人間関係づくり、地域活動への参加促進を実現するため、公民館が中心となって各種事業に取り組んでいる。 特に、小中学生を対象とした教室・講座内容を充実させている。中でも、「夏休み妙高青少年研修」では、小中学生の体験活動の充実だけでなく、高校生や大学生がスタッフとして主体的に参画できる環境をつくっている。継続して取り組むことで、次代のリーダー育成を目指した事業となっている。 また、役場各課、高校、大学・短大、隣接市等との連携・協働体制を整え、子供から高齢者までを対象とした、質の高い学習機会・内容を充実させている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
29	富山県	くろべしりつおりたてこうみんかん 黒部市立下立公民館	下立公民館が位置する下立地区は、民俗信迎をはじめ、種々の民俗文化がいきづく一つの文化圏をもっているという識者が評価している。住民が伝統的な民俗行事を大切に継承している生活心情は、現代社会では貴重であり、これを基盤として地域活動が行われている。地域を見直し、新しい発見がないか、公民館活動を通して精力的に各世代へ地域文化を伝えていく。また、事業を進める際には、小学校やPTA、青少年育成黒部市民会議下立支部と連携をしながら行っている。 公民館活動を通して地域の絆(きずな)を強めていくとともに、地域の良さを伝える活動は、地域住民へ大きな影響を与えており、地域になくてはならない公民館となっている。
30	富山県	となみしりつせんだんやまこうみんかん 砺波市立梅檀山公民館	梅檀山地区は砺波市内でも最も人口が少なく、高齢化率も約48.6%ととても高い。しかし、公民館活動を見ると、少子化社会とは思えない程の子供たちの参加があり、かつ行事にも毎年工夫が加えられて活発に活動している。 特に、昨年度から試験的にはじめた行事の一本化(複数の行事の同日開催)は、参加する住民の負担軽減を考へつつも歴史のある行事を消滅させないようにしている。このことは活動の一層の盛り上がりや賑わい創出に大きく寄与しており、現代社会に合った新しい公民館活動の一つであると思われる。中山間地にあるという、人口減少や利便性の低さといったハンデを感じさせない、逆にまとまりやつながりの強さが際立つ実践を行っている。
31	石川県	つばたまちかりやすこうみんかん 津幡町刈安公民館	公民館のある刈安地区は高齢化率41.42%の地域であり、隣接する刈安小学校は全校生徒20人という小規模校である。若い世代が減少したことで、地域コミュニティの衰退、住民同士の交流の減少、地域の伝統が絶えてしまうことへの危機を感じていた。 そうした中で、倶利伽羅古戦場の史跡が地区内にあるという特性を生かし、「源平の郷」として様々な事業を実施している。地域最大の夏のイベントである寺尾夏祭りでは、源平合戦を再現した騎馬戦を行い、また、源氏方の勝利を祝って打ち鳴らしたといわれる源氏太鼓を子供たちが披露するなど、多数の住民が参加して世代を超えた交流が行われている。
32	石川県	すずしりつわかやまこうみんかん 珠洲市立若山公民館	若山地区は高齢化が進んでいる地区ではあるが、小学校が隣接している公民館であるということもあり、子供から高齢者まで幅広い世代が交流できる事業を活発に行っている。 代表的な事業である「若山庭まつり」では、長らく途絶えていた「庭おどり」(田植えが一段落した頃に慰労と豊作を願って踊る)を復活させただけでなく、地域に歌い継がれてきた民謡や踊りを次世代に伝えるために、小学校や公民館において子供たちにも熱心に指導している。こうした事業は、伝統文化の継承というだけでなく住民同士の交流を促進する重要な機会となっている。また、地区外からも多くの参加があり、交流人口の拡大につながっている。
33	福井県	さばえしきたななやまこうみんかん 鯖江市北中山公民館	北中山公民館は、生涯学習を通じた地域活動がとても盛んな公民館である。地域で活動している老人会や婦人会、青年グループ等の各団体を、公民館がコーディネートして結びつける手法を用いて活動を活性化しており、これからの公民館の在り方のモデル的な取組と評価している。特にまちづくり運動は秀逸で、自治の精神を基本とし、「みんなでつくるう、みんなの北中山」を合言葉に「美しい北中山」「安全安心の北中山」「健康福祉の北中山」「歴史文化の北中山」の4本柱を掲げて公民館が運動を牽引し、地域住民が何度も公民館を利用できるよう、工夫しながら活動している。公民館とまちづくり委員会と各団体が一体となり地域と密着した公民館活動は、地域の活性化につながる活動である。
34	福井県	ふくいしきだこうみんかん 福井市木田公民館	木田公民館は、「ふくいの伝統野菜」に認定されている「木田ちそ」「木田青かぶ」「板垣大根」の栽培を通して、地域コミュニティを育てている。子供から高齢者に至るまで、世代を超えた地域住民同士が種まきから収穫までの体験を通して学習することで、地域食文化への理解と地域に対する愛着心が着実に醸成されている。どの活動も、誰もが利用しやすい学びの場・交流の場として、幅広い世代の地域住民と積極的に連携・協働して事業を運営している。核家族化が進行する中で、郷土学習をはじめとする当館の教育事業は、学校や地域団体で活動するもの同士の“つながり”を強化するとともに、地域の若い担い手の発掘と育成にも結びついており、これからも地域コミュニティの更なる活性化に大いに寄与するものである。
35	長野県	いなしたかとおまちこうみんかん 伊那市高遠町公民館	伊那市高遠町公民館は、従来から特定の公民館(建物)を持たず公民館職員は高遠町総合支所教育委員会事務局と共にあり、その利点を生かして各種団体・機関と密接な連携を図り、地域活性化に向けて明確な課題意識を持って活動している。合併後10年が経ち、高遠の歴史・文化の継承・発展と新市への一体感の醸成が課題であるが、蓄積された豊かな高遠の学習資源を積極的に活用した講座や教室を開き全市から参加者が集うようになってきている。 平成21年に開いた子供たちを対象にした旧高遠藩校での「進徳館夏の学校」は参加者が年々増えて、夏の学校の論語の素読は夏の風物詩と語られるようになり、伝統のある「高遠そば・そば打ち講座」からはそば店開業者が輩出され地域を活性化させている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
36	長野県	しおじりしよだこうみんかん 塩尻市吉田公民館	吉田公民館は塩尻市北部、松本市境に位置し、人口約9,000人で新旧住民が混在する地区である。住民の健康づくり、親子のふれあい、学びを通じた地域づくりを重点に取り組んでいる。特徴的な活動として、「よしだ学びのカフェ」と称し、地域のタイムリーな題材を講座に取り上げ、事業のマンネリ化、参加者の固定化を防ぐように工夫している取組や、地域の他団体との連携に力を入れ、管内にある田川高校との連携により高校生が小学生に教える取組など、新しい事業展開を行ってきた。最近では、ウェブサイトの充実やフェイスブックの開設等、若い世代の参加に向けての情報発信をはじめ、地域の課題解決につながる事業に積極的に取り組んでいる。
37	岐阜県	くじょうしめいほうちくこうみんかん 郡上市明宝地区公民館	「生涯学習活動を通じた人材育成と住民の連帯意識の向上」を目標に掲げ、公民館を単なる学びの場、集いの場とせず、行政、NPO法人、地域づくり団体、学校等と積極的に協働したネットワーク型社会教育事業を企画・運営している。特に「明宝サマーぼうさいキャンプ」は、地域防災の拠点として公民館の在り方を示すとともに、参加者の防災意識の変化、住民同士のつながり強化をもたらす事業として、高く評価できる。少子高齢化に伴う困難な課題を抱えている地区であるが、公民館活動を通して課題解決に取り組む様子が他の模範となっている。
38	静岡県	ふくろいしりつこうなんこうみんかん 袋井市立高南公民館	袋井市立高南公民館が所在する高南地区は、昭和40～50年に新興住宅地として開発された地域であるが、平成28年度の地区の高齢化率は34%を超え、地区内の児童数は減少傾向にある。 高南公民館では、このような地区の状況を踏まえ、高齢化が進む中でも地域の活力が低下しないように高齢者の防災講座、健康講座、脳トレ、健康体操教室を開き、高齢者の健康増進、要介護前の総合的予防対策を行うことで、高齢者を強みとした地域へ転換を図っている。また同時にマイナンバー制度勉強会等の時代に合ったタイムリーな講座を実施している。 これらの取組が浸透し、住宅地として開発された比較的新しい地域であるにもかかわらず、地域コミュニティが形成され、公民館が高齢化という弱みを強みに変えていく地域の核としてその役割を担っている。
39	静岡県	ふくろいしりつかさはらこうみんかん 袋井市立笠原公民館	袋井市立笠原公民館が所在する笠原地区は、茶園と田圃、農家集落地域であり、人口の減少や高齢化の進展が進んでおり、若い世代の定住を促進するような対策が望まれている。 笠原公民館では、同地区の特産品である緑茶を使い、若い世代からお年寄りまで幅広く楽しめ、交流を図る事業として「ザ・お茶 健康運動教室」が取り組まれている。この取組は、緑茶を急須を使って飲むことで、作法から礼儀、緑茶の効用等を学び、併せて健康運動教室を取り入れることで世代を超えて交流を図るきっかけとなっている。 また、当該事業の交流を機に自主的な事業が展開されるなど広がりを見せており、「ザ・お茶 健康運動教室」に見られるような人づくり、地域づくりを効果的に進めている。
40	静岡県	はままつしちゅうぶきょうどうせんたー 浜松市中部協働センター	浜松市中部協働センターは、生涯学習の拠点施設として、昭和63年、浜松市の中心部に立地するクリエート浜松内に開設され、以来、地域活動団体や大学生等との連携について実績を積み重ねている。また、NPO法人や民間団体とも積極的に連携し、専門性や費用対効果の高い事業も実施している。なかでも、NPO法人が企画する東三河・遠州・南信州地域の広域交流事業「三遠南信文化交流講座」（年8回の連続講座）は、毎回各地域に居住している方を講師として招聘し実施している。講座の運営に当たっては、実施内容の評価と改善を繰り返して常に新しい内容を盛り込み、10年以上継続している講座にもかかわらず、受講者の関心や満足度が高い。持続可能な生涯学習・社会教育の実現を目指し、各種事業の充実に努めている。
41	愛知県	がまごおりしかたはらこうみんかん 蒲郡市形原公民館	形原公民館では、高齢者は地区の知恵袋。私たちが育ててくれた大事な先輩を大切にす。子供は地域の未来であり、宝物。地元で守り、育てていく。「(家庭の)和・(地域の)輪・(地域の)話」を大切に街づくりの三つを重点目標に掲げ、文化活動・スポーツ活動を通して、「個人の生きがいづくり」・「明るく住みよい街づくり」を目指して、ふれあい交流の機会を増やすことにより、高齢者から児童・幼児まで、地区の人々の絆(きずな)づくりを図っている。 各種機関・団体と連携しながら、高齢者の「生きがいづくり」を目指した学習の拡充、子供たちの健全育成、家庭教育力向上を目指した「親子教室活動」の拡充、地域住民相互の親睦を深め、連帯感を高めるための「スポーツ交歓会」、「町民体育祭」、「町民文化祭」等の親睦事業の拡充に取り組んでいる。
42	愛知県	おわりあさひしずいほうこうみんかん 尾張旭市瑞鳳公民館	瑞鳳公民館では、利用団体の発表会に合わせ、「我が街芸術サロン」と銘打った作品展示会を開催している。小中学生や地元の有志の作品発表等、地域の幅広い方々とともに会を盛り上げている。当日は、来館者同士の親睦が図れるようにティーサロンを開設し、子供たち向けにはブランづくりコーナーを設けるなど、毎年工夫を凝らしている。 地区では市民活動も盛んで、「我が街芸術サロン」の日には、隣接する小学校でコミュニティ運動会が開催されることから、公民館がくつろぎの場にもなっている。また、初夏の田植え、秋の稲刈りを地域で行う「どろんこ広場」では、事業を締めくくるカレーライスや秋刀魚ご飯の炊き出しが、公民館を中心に行われている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
43	三重県	いせししょうがいがくしゅうせんたー 伊勢市生涯学習センター	伊勢市生涯学習センターは平成9年4月に開館し、今年度で20周年を迎えた。「いせトピア」の愛称で親しまれ、伊勢市における生涯学習の拠点として、多くの市民に学びの場を提供している。平成18年度に指定管理者制度を導入してからは、直営時代に実施してきた事業に加え、市内各機関とのネットワークづくりを推進して市民のニーズにあった学びの場の構築に努めている。 生涯学習センターが実施する各種主催行事は、市民の学びに対するニーズに応えらるとともに、多くのボランティアや関係団体の協力を得ることで地域の子供たちを見守り育てる場にもなっており、今後も更なる充実が期待できる。
44	滋賀県	おおつしりつせたひがしこうみんかん 大津市立瀬田東公民館	当公民館が所在する瀬田東学区は、南北に弓のように長い大津市の最南東部に位置し、近くに名神高速道路が通り、月輪、南大萱等の旧村と新興住宅が混在する地域である。 瀬田東公民館では、公民館職員のコーディネートにより、利用者団体が構成する文化振興会が中心となり定期的な学習会を自主的に開催し、公民館と連携しながら生活課題・地域課題の解決に向けて、地域を挙げたまちづくりに取り組んでいる。その研修成果を生かした事業として、「夏休み子ども体験教室」や「長沢川探索」等があり、いずれも地域の子供を中心とする世代間交流や地域の環境(琵琶湖)、暮らしを意識する取組であり、他の公民館の模範となっている。また、地域にキャンパスを有する龍谷大学との連携による「スーパーサイエンス講座」等地域ぐるみでまちづくりを担う人材の活用、育成に力を注いでいる。
45	京都府	うじしおぐらこうみんかん 宇治市小倉公民館	宇治市小倉公民館は、子供から高齢者まで様々な世代を対象とした事業を実施し、地域に根ざした学習と交流の場となっている。 親子の体験活動を中心とした「子どもの居場所づくり支援事業」は、公民館サークル連絡協議会が講師として参画するなど、公民館での学びを社会に還元するとともに、地域の子供と交流する場ともなっている。また、「小倉蓮の実教室」では、高齢者を対象とした講座を実施し、地域の高齢者が教養を身につけ、自主的に学び合う場になっている。老人会や茶業青年団等とも連携した事業を展開し、様々な年代の大人が子供に関わりながら、「地域の子どもたちを地域で育てる」という視点で活動の充実を図っている。
46	京都府	よさのちょうりつかやちいきこうみんかん 与謝野町立加悦地域公民館	与謝野町立加悦地域公民館は、町内にある23の公民館の中の中核施設の一つとして、地域住民のニーズを踏まえた公民館活動を展開している。地域の人的・物的な資源を生かし、学校・行政・関係団体と連携を図りながら事業を組み立て、実施している。 特に、平成27年度から、夏・冬休み等の長期休業中に、小学生児童の居場所となる「学習・体験教室」を終日開催している。内容としては、学習と体験・製作活動を組み合わせ、午前中は宿題を中心とした自主学習、午後は体験・製作活動としている。午後からの取組の例としては、町の防災安全課や消防署と連携した防災体験学習、地域の方々を講師に招いた夏休み作品づくり等を行っている。また、このような取組を他の公民館と連動させるなど、町内の公民館活動の推進にも大きな役割を果たしている。
47	大阪府	かわちながのしりつあまみこうみんかん 河内長野市立天見公民館	河内長野市立天見公民館は、里山の自然の中に位置し、主に近隣地域の住民と、市南部に開発された住宅団地の住民が利用している。 高齢者の公民館利用者が多くなっている中、子供たちの参加者を増やすため、豊かな自然を生かし、自然体験活動を中心とした、「天見子ども自然とあそびの教室」の事業に取り組んでいる。取組に参加した子供たちは、自然の中で学び遊ぶことで、仲間意識を強め、生きる力を育み、自然環境への関心を高めている。 また、子供たちの活動を支えるため、NPO法人が中心となり、周辺の自治会、地区福祉委員会、民生児童委員、地元企業、市教育委員会及び天見公民館が実行委員会を組織して企画し、教室実施時は、さらに大学生や社会人ボランティアの協力も得ての運営しており、多世代かつ幅広い人達のつながりを大切にしたい取組になっている。
48	大阪府	おおさかしりつそうごうしょうがいがくしゅうせんたー 大阪市立総合生涯学習センター	大阪市立総合生涯学習センターはJR北新地駅直結の大阪駅前第2ビル内に、平成14年11月に開設された生涯学習施設である。市民が気軽に立ち寄り、学び、集う場であるとともに、大阪市の生涯学習施策推進の拠点施設として、行政課題や地域課題の解決に向けて、多様な学びの機会を提供している。 市民一人一人が身近な問題に気づき、考え、学んだことを生かし、共に活動するという「学びと行動が循環する生涯学習社会づくり」を目標に、人材育成や活動・交流機会の創出等に注力した取組を行っている。とりわけ市民ボランティア、生涯学習推進員、生涯学習インストラクター、識字・日本語ボランティア等の人材育成事業を推進している。
49	兵庫県	かさいしなんぶこうみんかん 加西市南部公民館	加西市には四つの公民館があり、南部公民館は市の南部地域を担当している。地域住民の利用が多く、農業が盛んな地域でもあることから、「健康」や「退職後の男性の居場所づくり」等、時事課題と「食」をからめた講座を多く開催している。 また、地域の南部に所在する「あびき湿原」の環境保全課題に取り組むため、地域の保存会、市役所環境課と南部公民館が連携し、平成27年度から「あびき湿原レンジャー養成講座」を開催している。プログラムも、大学教授による環境学習から現地見学、現地保全作業体験と多岐にわたり、講座参加者を保全活動に誘導する人材育成の構成になっている。 このように、公民館が地域と連携し地域的課題の解決に向け大きく寄与している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
50	奈良県	ならししょうがいぐしゅうせんたー 奈良市生涯学習センター	公益財団法人奈良市生涯学習財団が指定管理者として管理・運営を行っている本施設は、パソコン学習室、アトリエ、託児室等、専門的な部屋を備え、施設の特徴を生かした数々の事業を展開している。作品展示等のギャラリー、コンサートの開催が可能なサロンも有し、年間45,000人余りの方が学習活動を行っている。「パソコン学習サポーター養成講座及び学習会」を平成17年度から、「託児ボランティアスタッフ学習会」を平成20年度から実施し、当施設だけでなく、地区公民館においても活躍できる人材育成に力を入れている。パソコン学習サポーター学習会は自身のスキルアップだけではなく、仲間づくりや生きがいづくりの場ともなっている。託児ボランティアスタッフも学習会を通して、最新の子育て事情や様々な対応を学び、多くの講座に託児を設けることが可能となり、子育て中の親の学習機会の拡大につながっている。
51	鳥取県	とっとりしりつひおきちくこうみんかん 鳥取市立日置地区公民館	日置地区の地場産業である和紙の生産や農林業が盛んであることを生かし、公民館で子供たちを地域みんなで育てる「子どもと大人のふれあい(わしの子)育成事業」を展開しており、各集落の自治会、老人クラブ、ボランティア等と連携した、地域全体で子供たちを育成するための様々な事業を展開している。主な事業内容としては、年間を通した「わしの子楽団」や習字教室、「子ども教室」(「子ども川柳教室」、芋掘り等)、季節の事業として、夏の科学実験室や秋の世代間交流ランブシェードづくり等の活動があり、子供が地域の大人に学ぶシステムを構築している。この取組の成果として、地区住民に子供たちを皆で見守り育てていこうという機運が醸成されつつあること、子供たちが公民館活動で学んだ成果を各集落や敬老会等で披露し住民から喜ばれることで、子供たちが地域を好きになるきっかけや関わった大人の生きがいにつながっている。
52	鳥取県	いわみちょうりつうらどめちくこうみんかん 岩美町立浦富地区公民館	地域の花いっぱい運動に取り組み、平成10年に鳥取県景観賞(県知事表彰)を受賞したことをきっかけに、地域内を流れる吉田川管理道(コスモスロード)の美化活動を全地区民を対象とする「コスモスロード事業」として始めた。主な活動としては、コスモスロードを4地区自治会ごとに区割りし、耕うん・施肥の実施をしている。また、岩美北小学校の児童や住民による種まきや草取り、子供会による看板づくり、各自治会や婦人会による案山子や休憩用ベンチづくり等、様々な団体と連携しながら活動している。平成12年から開始した本事業も17年目となり、成果として、浦富地区民が一体となって取り組めたこと、地元小学校と連携したことにより世代間交流が図られていること、各自治会の取組が活発になったこと等、地区の活性化に大いに寄与している。最近では、テレビや新聞等にも度々取り上げられ、地区民が誇りを感じる活動となっている。
53	島根県	まつえししんじこうみんかん 松江市宍道公民館	今まで公民館活動に参加していなかった地域住民に対して、宍道コマーシャル投稿コンテストや、地域総合戦略プレゼン大会といった手法を使うことで、住民の地域再発見やふるさとへの愛情を育むとともに、地域住民が地域や地域課題について主体的に考える機会を与え、公民館活動や地域づくりに主体的に参加する個人や団体を増やしてきており、今後、行政と一緒に進めていく地域づくりの拠点として期待が高まっている。 中学生を対象にしたリーダー研修会は、これから地域を担う次世代の育成を、公民館が中心となり地域が総がかりで行う活動になっている。 市役所支所と子育て支援センターとの複合施設となっていることを生かし、行政の機関とも連携・協働しながら様々な活動を行っている。
54	島根県	おおなんちょうふせこうみんかん 邑南町布施公民館	過疎化、少子高齢化といった課題を抱える地域であるが、地域の課題をしっかりと捉えたうえで、年間を通して公民館が意図的に住民の学びの場を提供することで、その学びから自分たちで主体的に課題を解決しようとする住民が育っている。 また、学校以外の時間で地域の大人が先生となり、大人が持っている知識や技術を、子供たちに体験活動として提供する、「地域学校」という取組を公民館が中心となって続けており、地域が総がかりで地域の子供たちを育てていこうとする気運を高めているとともに、様々なことに対しても地域の誰もが主体者となって向かっていく地域力の高まりがみられる。 多世代の住民が参加しやすい交流活動を年間を通じて実施することによって、地域の連帯感を高めることに貢献している。
55	岡山県	つやましいのしょうこうみんかん 津山市院庄公民館	地域ぐるみで子どもたちを支援する体制づくりを中心となって行っており、子供たちの心や生活の安定が図られ、地域の子供たちの健全育成に大いに貢献している。 「幼稚園昔遊び交流会」「小学生茶華道教室」「中学生と話す会」等、学校や家庭、地域が連携した多様な事業を公民館がコーディネートし、子供を支援する事業の充実や支援体制の強化を図っている。 さらに、地域ボランティアが小学生に学習支援やものづくり体験等を行う「夏休みわくわく教室」を実施し、地域を挙げて子供たちを育てる雰囲気づくりを進めるとともに、子供たちと地域住民が交流を深め、世代間をつなぐ場を創出する役割も果たしている。
56	岡山県	あかいわしりつちゅうおうこうみんかん 赤磐市立中央公民館	地域住民がつながり合う拠点として、世代間の交流や若者と地域がつながる様々な事業を実施し、持続的な地域づくりや人づくりに積極的に取り組んでおり、この取組は市内の他の公民館に普及している。 中学生ボランティアが、「公民館まつり」等を企画・運営・事業化させる事業に取り組み、若者が地域で活躍できる場を創出し、住民と連携して地域を支える若者の育成を推進している。 また、孫育世代も参加している「子育て講座」や、大学生が小学生の学習支援を行う「宿題応援隊」等、世代を超えた相互交流や学習の機会を提供し、学びを通じて幅広い年齢層が交流し、絆を深めており、地域のつながりや地域力の向上に大きく貢献している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
57	広島県	ふちゅうしりぶこうみんかん 府中市栗生公民館	府中市栗生公民館は、隣接する栗生小学校(コミュニティ・スクール)と緊密に連携した事業を展開するほか、読書ボランティアによる読み聞かせや高齢者と園児との交流等、保育所との連携にも力を入れている。公民館が蓄積する地域のボランティア人材を学校とつないだり、学校の様子を地域住民に知らせるために児童が定期的に情報更新する掲示板を設置したりするなど、本公民館は地域と学校や保育所をつなぎ、地域と子供が共に育つ地域の拠点施設としての役割を果たしている。「親と子の地域で過ごすサマーバケーション」は、高齢化が進む地域を活性化させるため、地域の子供たちの学習や活動の成果発表の場として、多くの関係者が一体となって作り上げる事業である。子供やその保護者をはじめ、地域の高齢者等、幅広い年齢層が集い交流する場となるとともに、進学等で地元を離れた若者にも参加を呼びかけ、ふるさとでの豊かな人間関係や絆(きずな)を深め合う機会となっている。
58	広島県	かいたこうみんかん 海田公民館	安芸郡海田町に所在する海田公民館は、社会教育法施行前の昭和10年に設置された海田市公会堂に始まり、昭和24年の同法の施行以降は公民館として活動している。地域の多様な主体のネットワークの要となつて、人づくり・地域づくりに積極的に取り組んでおり、年少から高校生までを対象とした青少年健全育成講座や成人を対象とした講座が、地域住民により主体的に運営されている。「未来のまちのおせっかいさん養成講座」は、次世代の地域リーダーの養成を趣旨として、子育て当事者世代を対象にして実施する人材育成事業である。「おせっかいさん」の活動は、子育ての支援にとどまらず、防災減災への対応など、様々な地域課題解決への取組に発展しており、「自らの地域は自らの力で変えていく」という住民の主体的な学びや活動を通じて、地域・家庭の教育力が向上し、地域の活性化につながっている。
59	広島県	ひがしひろしましわしょうがいがくしゅうせんだー 東広島市志和生涯学習センター	東広島市志和生涯学習センターは、志和公民館として昭和55年に開館、平成23年に生涯学習センターに名称等変更し現在に至る。志和周辺地域における生涯学習の中核拠点として、学びを通して人が集い活気あふれる施設運営に取り組むなかで地域の連帯感が醸成されている。「地域リーダー“たまご育て”事業」は、少子・高齢化を背景とした地域のつながりや支え合いの希薄化等の地域課題解決を図るため、子供から大人まで気軽に「集い」「学び」「結ぶ、きっかけをつくり、多様な学習活動を通じて各世代が交流して学び合う場を創造し、地域や家庭の教育力向上を総合的に推進する事業である。地域の様々な主体と連携した課題解決型の学習を通じて、地域づくりに主体的に参画しようとする次世代の地域人材(地域リーダーのたまご)の育成が図られている。
60	山口県	ほうふしかほこうみんかん 防府市華浦公民館	キャリア教育を積極的に推進しており、幅広い年齢層を対象に体験活動を実施している。社会の中で自分らしい生き方を実現していけるよう「大人のキャリアアップ教室」を企画し、地域住民のキャリア発達を図っている。また、「子どものキャリアアップ推進事業」では、講師を学校に派遣するなどして、出前講座や体験活動を実施している。 職員が地域協働ネットのコーディネーター、学校運営協議会の委員として活動したり、小学校との連携事業を毎年開催したりするなど、学校との交流も活発である。また、中学生、高校生のボランティアを積極的に活用するなど、公民館が、地域と学校をつなぐ核として、十分な役割を果たしている。
61	山口県	たぶせちやうまりふこうみんかん 田布施町麻里府公民館	高齢化が進む地域の活性化のために多様なニーズに応じた事業を展開し、住民自ら運営に関わるなど、一丸となって取り組んでいる。「伝統文化の継承」「次世代を担う子どもの育成」「ふるさと麻里府の環境保全・環境美化」等、地域の課題に応じた事業を住民とともに積極的に実施している。嵯峨音頭保存事業や麻里府文化展では、参加者自らが事業の企画・準備段階から主体的に関わることで住民のボランティア活動の促進、学習意欲や地域の文化の高揚にもつながった。 また、海岸一斉清掃を毎年開催することで、環境保全・環境美化の意識の高まりはもとより、様々な活動への主体的な活動を促すとともに、地域住民の連帯感、ふるさとを愛する心の醸成に役立っている。自治会、婦人会等地域の団体との連携・協働した事業も積極的に展開している。
62	山口県	やまぐちしさやまちいきこうりゅうせんだー 山口市佐山地域交流センター	次世代を担う人材育成のために地域活性化事業の充実に努め、体験活動を通して住民と児童とのつながりを深めている。「佐山里山たんけん隊」事業では、ボランティア団体と連携し、ハイキング、貝掘り等多様な自然体験講座を開催している。また、「さやまっ子のびーるマーケット」事業では、青少年健全育成連絡協議会や地域づくり協議会と連携して職業体験学習を行い、社会や職業で必要な資質や能力を育成するとともに、子供が主体的に取り組むよい学びの場になっている。 また、交流センター利用団体と連携し、小学生を対象とした「夏休み子ども講座」を開催し、団体が日頃取り組んでいる学習を地域づくりや人づくりに生かす仕組みを構築している。
63	徳島県	あなんしりつつぶきこうみんかん 阿南市立椿公民館	阿南市立椿公民館は、地域における社会教育の拠点として、住民、保育所、小学校、中学校、各種団体と協力しながら、世代間交流を行い、地域の活性化に取り組んでいる。 特に、子供の数の減少に伴い衰退していた恒例行事であるクリスマス会を、子供たちに生まれ育った地域での学習機会をより多く提供したいという地元の強い思いを受け、広報や各種団体との連携等の工夫をつうじて復興させた。そして、子供たちに異世代との交流や故郷の良さを体感する機会を提供している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
64	徳島県	なるとしばんどうこうみんかん 鳴門市板東公民館	鳴門市板東公民館のある地域には、四国八十八箇所1番札所やドイツ兵捕虜がアジアで初めてベートーヴェンの交響曲第9番を全曲演奏した板東俘虜収容所等があり、お接待の心を基礎に歴史と文化の薫り高い地域である。 このような地の利を生かし、公民館では「地域に根ざした公民館運営事業」として、地域の歴史や文化を様々な視点から学ぶ「ばんどう塾」や「公民館歴史講座」の開設や、子供と地域の人たちとの交流を通して「つながり」を深める「遊びと学びの広場」公民館カフェを開催している。これらの事業を通して、遍路文化、門前文化等の普及・啓発により地域づくりに取り組んでいる。
65	香川県	みとよしとよなかちょうこうみんかん 三豊市豊中町公民館	地域住民が、集い・学び・つながる場として、住民への幅広い学習機会の提供、ふれあいの場としての公民館活動を行っており、各講座において参加者と反省会を開催し、問題点等を整理して講座の内容の充実に努めている。開催する講座は3年を別途に自主活動へとつなげ、地域のニーズに応えるために常に新しい講座を開催するよう努めている。 また、ボランティア講座「グーグースマイル」は、少子高齢化が急速に進行する中、市内のデイケア施設と連携し、利用している方々との交流の場を持ち、個人の尊厳の維持や社会とのつながりを考慮し利用者にも学びの場となるよう努めている。
66	愛媛県	やわたはましりつおおしまちこうみんかん 八幡浜市立大島地区公民館	八幡浜市立大島地区公民館は、八幡浜市沖合の、高齢化が進む人口245人の離島にあり、地域コミュニティ、文化交流の拠点として、島民にとってはなくてはならない存在となっている。「地域住民のニーズに応じた公民館活動」を目標に、盆踊り大会や地区文化祭、島内一斉消毒など、地域が一体となった活動が行われ、明るく元気な地域づくりに取り組んでいる。 地区文化祭では、地域住民の趣味の作品展示やサークル活動の発表の場、パザーや地元の特産品販売、餅まき等、参加者が一日楽しめる企画を行い、島内はもちろん島外の方々も参加し、人々の交流の場としての役割の一端を担う事業となっている。
67	愛媛県	にいほましりつちやあときねんこうみんかん 新居浜市立口屋跡記念公民館	新居浜市立口屋跡記念公民館は、校区地域教育力向上プロジェクト推進事業として、「学ぶ・活かす・創る」という三つの視点から、多種多様な学習講座、三世代交流活動、先進地への研修、病院から公民館へのサロン化を目指す取組等、それぞれ各種の活動が展開されているほか、学校や家庭とも連携した学校支援活動も実施されている。 口屋あかがねプロジェクト事業では、公民館が建つ場所に、昔、別子銅山の重要拠点施設であった口屋があったという歴史や文化等を、後世に語り継いでいくための取組として、子供たちに地元への愛着心を育てるとともに、地域の継続、発展を目的に実施している。
68	福岡県	おかがきまちちゅうおうこうみんかん 岡垣町中央公民館	生涯学習によるまちづくりという視点に立った事業を展開し、学習の成果を生かして、ボランティア活動や地域コミュニティづくりの推進に積極的に地域住民が参画していくことを目指し、公民館講座「若潮学級」や受講生のステップアップ専門コース「成人講座ゆうま」等を開講して、地域住民の学びの場を提供している。これらの講座は地域活動のリーダーとなる人材育成を目指し、講座の準備や進行を参加者の自主運営で行うなど、主体的な学びの場となるよう工夫されている。 また、学校支援ボランティアや夏休みの子供の講座のスタッフ、町民文化祭実行委員会に参画できる機会をつくるなど、学習成果を生かしたり、地域の行事運営に積極的に関わったりできる仕組みづくりを工夫している。
69	福岡県	おおむたしよしのちくこうみんかん 大牟田市吉野地区公民館	地域のコミュニティの再生とまちづくりに関わる人材の発掘・育成という課題解決や管内小学校のESDの取組が推進されるためには地域の協力が不可欠であった。そこで、公民館が中心となり、学校と地域が一体となって地域づくりを進めることができるよう、桜を介して「～さくらで繋ぐ～吉野小と地域の絆プロジェクト」を立ち上げ、校区内の多世代や多様な団体が協働して本プロジェクトに関わることができるよう学びや実践の場が構成されている。 また、事業開始初年度は専門のコーディネーターの指導・助言のもと、講座を実施し、次年度からは公民館主事がコーディネートしながら参加者自ら企画・立案・実践できるよう、意図的・計画的なプログラムが組まれた結果、29年度には校区内に任意団体が発足し、住民主導の事業実施へと発展している。
70	長崎県	まつうらしりつかみしきさこうみんかん 松浦市立上志佐公民館	当該地域に存在しなかった公民館活動を創出し、平成21年開館以降、住民と公民館職員との信頼関係を築きながら、高齢化と少子化が著しい当該地域の課題解決に向けて、家庭教育支援等各種講座等を積極的に実施している。また、子供を核として、保護者、地域の大人を各種講座に取り込み、地域の大人同士のつながりをつくり、地域活性化につなげている。そして、学習ニーズを捉えて講座を組み立て、成人講座受講者が子供講座の講師をするなど、講座受講者の学んだ成果を生かす場を提供し、学んだことを生かせる喜びや地域の方との交流を通じた学びができています。さらに、公民館区周辺の山や川など自然に恵まれた環境を生かし、川釣り体験活動等の自然体験活動の充実に積極的に取り組んでいる。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
71	長崎県	しまばらしりつはくさんこうみんかん 島原市立白山公民館	公民館が、青少年健全育成協議会をはじめ、町内会(自治会)、老人会、婦人会、青年団、PTA、学校と連携を図りながら事業を展開し、青少年の健全育成に力を注いでいる。また、郷土の伝統行事である「精霊船づくり」及び「精霊流し」を主催講座である家庭教育学級に位置付け、地域の高齢者から親世代へ、さらには、子供たちへの郷土の伝統継承に重要な役割を果たしている。町内会(自治会)や老人会の指導で、主に小中学生の男子と、昔ながらの手作りで組み上げた精霊船は、精霊流し当日まで公民館で展示され、地域に披露されている。年末には、子供たちへ、しめ縄・ミニ門松づくりも体験させ、伝統の継承と地域を担う後継者の人材育成に積極的に取り組んでいる。
72	宮崎県	あやちょうこうみんかん 綾町公民館	本公民館は、公民館の拠点のみならず、町の生涯学習・社会教育の拠点として位置づけられ、生涯学習推進会議において、公民館の運営・事業や生涯学習行事等の実績や計画について報告・協議し、評価を行っている。また、よりよい公民館講座を開設するために毎年、開講状況等を踏まえ、翌年度の講座の選定を行い、綾ならではの地域の自然文化について学ぶ講座も開講している。さらに、社会教育団体の支援を行うとともに、生涯学習発表の場として「総合文化祭」、「生涯学習発表会」を開催したり、分館の自治公民館が実施する「手づくり文化祭」の支援したりするなど、町内の生涯学習を推進している。そのほか、町づくり、地域づくりをテーマとした「生涯学習推進 綾町公民館大会・青少年健全育成町民大会」を開催し、住民の自治意識を高めるなど、町づくりの拠点としての役割も果たしている。
73	鹿児島県	かごしましよのこうみんかん 鹿児島市吉野公民館	吉野公民館は、毎年約10万人の市民の利用があり、学習や集いの場として地域の中核をなしている。平成28年にはリニューアルし、エレベーターや多目的トイレ等が新設されて、さらに利用しやすくなり、利用者数を伸ばしているところである。 また、地域内には「旧集成館」、「寺山炭窯跡」、「関吉の疎水溝」をはじめとする世界文化遺産等の歴史・文化や自然等の教育資源が豊富であることから、学習のニーズも高く、「吉野歴史を訪ねて」や「ファミリー農園」等特色ある講座も開設されている。 さらに、少子高齢化や子育て・人権問題等の現代的・地域的課題解決に向けた学習会や、校区公民館や吉野兵六会、吉野大おやじ連合等と連携し、青少年健全育成や地域づくりを推進し、吉野地域のみならず、鹿児島市の社会教育の充実や生涯学習の振興に大きく貢献している。
74	鹿児島県	よろんちょうちゅうおうこうみんかん 与論町中央公民館	与論町中央公民館は、平成25年度に指定管理移行後、利用者の実態に即して、夜間の開館時間を延長したり、職員の配置を工夫したりして、利用者の利便性を向上させている。また、各種事業においては、町内の関係機関と連携を図りながら推進している。 例えば、優れた技術を有する公民館講座の講師を中学校の郷土教育(三線、ゆんぬ太鼓)の講師として派遣している。また、旧美術室を子育て支援室として開放し、いつでも、誰でも気軽に相談できる場を提供している。この支援室には、町民福祉課の職員が常駐し、相談がない場合でも子育て世代のコミュニケーションの場として活用されている。さらに、町おこし・地域の活性化を目指して、起業希望者の準備期間に定額で部屋を利用してもらい、商工観光課と共に支援している。
75	鹿児島県	ひおきたかやまちこうみんかん 日置市高山地区公民館	高山地区は、鹿児島県日置市最北部の山間部に位置し、高齢化率67%を超える地域である。住居の点在化が進み、一人暮らし世帯も増加傾向にある中、地域における自治活動の維持存続が大きなテーマとなっている。 同地区公民館では、「高齢者が高齢者を支える」ことをテーマに、生涯学習による生きがいづくりをはじめ、見守り活動や都市住民との交流等、課題解決に取り組むとともに、日置市やNPO法人と連携・協働し、持続性のある地域の仕組みづくりを積極的に展開している。 平成22年度には地区公民館を構成していた六つの自治会組織を統合し、また、平成25年度には同地区民全員が加入するNPO法人を設立。地区、自治会、NPO法人の連動による事業の展開を図るなど、過疎化が進む自治公民館のモデルとも言える活動を展開している。
76	沖縄県	なはしわかさこうみんかん 那覇市若狭公民館	公民館運営への助言や事業の連携・協力を目的に、周辺自治会長・役員、近隣の学校長・PTA会長、図書館・児童館等の施設長による外部委員会を、平成17年に独自設置。平成19年、同委員会をNPO法人化し、市の社会教育委員会だけでなく、同法人理事会の意見等を運営に反映させている。また、公民館講座や事業について、PDCAサイクルをより能動的に活動内容へ機能させるため、「企画づくりのじゃばら手帳」を開発し、職員研修を行っている。さらに、生活圏内に公民館のない那覇市曙地区において、機能面に着目した移動公民館「パーラー公民館」を開き、その中で「あけぼののうた おひろめ会」、「アルバム持ち寄りお茶会」、「移動図書館・読み聞かせ」等、幅広い年齢層の参加・活動が展開されているほか、学校との連携にも寄与している。



## 第 6 9 回優良公民館表彰について

文部科学省では、公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められるものを優良公民館として表彰しております。この度、第 6 9 回優良公民館表彰について決定しましたので、お知らせします。

1 . 表 彰 館            浦幌町中央公民館 外 7 2 館

2 . 表 彰 式

(日 時) 平成 2 9 年 3 月 1 日 (水) 1 0 時 0 0 分 ~ 1 5 時 0 0 分

(場 所) 文部科学省第 2 講堂

千代田区霞が関 3 - 2 - 2

3 . 選考の経過等

都道府県教育委員会から推薦のあった公民館や公民館と同等の社会教育活動を行う施設について、優良公民館審査委員会で審査の上、表彰館とそこから特に優れた活動を行った 5 館を「優秀館」として文部科学大臣が決定しました。

さらに、表彰式当日、「優秀館」5 館の中から「最優秀館」1 館を選定するために、会場でインターネットによる中継を行いながら 5 館が活動内容のプレゼンテーションを行い、インターネット視聴者・会場からの投票結果を踏まえた審査の上で、西予市遊子川公民館 が「最優秀館」の栄誉に輝きました。

### 【最優秀館】

西予市遊子川公民館 (愛媛県)

### 【優秀館】

郡山市立大島地域公民館 (福島県)

白山市立林中公民館 (石川県)

福井市和田公民館 (福井県)

鳥取市立成器地区公民館 (鳥取県)

第69回優良公民館表彰 表彰館一覧

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	No.	都道府県名	ふりがな 公民館名
1	北海道	うらほるちようちゆうおうこうみんかん 浦幌町中央公民館	38	静岡県	ふじのみやしりつにしこうみんかん 富士宮市立西公民館
2	北海道	くんねつぶらうこうみんかん 訓子府町公民館	39	静岡県	はままつてんりゆうきょうどうせんたー 浜松市天竜協働センター
3	北海道	そうべつちようちいきりゆうせんとー 壮瞥町地域交流センター	40	愛知県	おおくちちようちゆうおうこうみんかん 大口町中央公民館
4	青森県	ごしょがわらしちゆうおうこうみんかん 五所川原市中央公民館	41	愛知県	へきなんしりつちゆうぶこうみんかん 碧南市立中部公民館
5	青森県	ろくのへまちちゆうおうこうみんかん 六戸町中央公民館	42	滋賀県	ひのちよりつみなみひづさこうみんかん 日野町立南比都佐公民館
6	岩手県	かねがさきちようみかじりちくこうみんかん 金ヶ崎町三ヶ尻地区公民館	43	京都府	きょうたんごしあみのちいきこうみんかん 京丹後市網野地域公民館
7	岩手県	くじりつおあわかめこうみんかん 久慈市立大川目公民館	44	兵庫県	かこがわしりつひがしかごわこうみんかん 加古川市立東加古川公民館
8	岩手県	みやこしにいさとしやうがいがくしゅうせんたー 宮古市新里生涯学習センター	45	奈良県	ならしりつとみおこうみんかん 奈良市立富雄公民館
9	秋田県	だいせんしりつせんぼくこうみんかん 大仙市立仙北公民館	46	鳥取県	とっとりしりつせいいきちくこうみんかん 鳥取市立成器地区公民館
10	秋田県	ごじょうめまちちゆうおうこうみんかん 五城目町中央公民館	47	鳥取県	よなごしがすがこうみんかん 米子市春日公民館
11	山形県	ひがしねしながとろこうみんかん 東根市長瀬公民館	48	島根県	まつえししなほこうみんかん 松江市島根公民館
12	福島県	こおりやましりつおしまいちいきこうみんかん 郡山市立大島地域公民館	49	岡山県	やかけちようなかがわこうみんかん 矢掛町中川公民館
13	福島県	ふくしましほうらいがくしゅうせんたー 福島市蓬萊学習センター	50	岡山県	おかやましりつさいだいじこうみんかん 岡山市立西大寺公民館
14	茨城県	みとしさんのまるしみんせんたー 水戸市三の丸市民センター	51	広島県	ひろしましうしたこうみんかん 広島市牛田公民館
15	群馬県	まえばしあずまこうみんかん 前橋市東公民館	52	広島県	たけはらしりつただのうみひがしこうみんかん 竹原市立忠海東公民館
16	群馬県	たかさしなかがわこうみんかん 高崎市巾川公民館	53	広島県	しょうばらしさいじょうじしんこうせんたー 庄原市西城自治振興センター
17	埼玉県	ふかやしふかやこうみんかん 深谷市深谷公民館	54	山口県	いわくにしちゆうおうこうみんかんつづぶんかん 岩国市中央公民館通津分館
18	埼玉県	かすかべしたけさとちくこうみんかん 春日部市武里地区公民館	55	山口県	さんようおのだしこうようこうみんかん 山陽小野田市厚陽公民館
19	埼玉県	つるがしましむがししみんせんたー 鶴ヶ島市東市民センター	56	山口県	うべしかみうべふれあいせんたー 宇部市上宇部ふれあいセンター
20	千葉県	たてやましちゆうおうこうみんかん 館山市中央公民館	57	徳島県	あなんしりつとみおかこうみんかん 阿南市立富岡公民館
21	千葉県	ふなばししとうぶこうみんかん 船橋市東部公民館	58	愛媛県	せいよしゆすかわこうみんかん 西予市遊子川公民館
22	千葉県	たこまちこみゆにていびらざ 多古町コミュニティプラザ	59	高知県	なんこくりつこぶこうみんかん 南国市立国府公民館
23	神奈川県	あつぎしりつあいかわこうみんかん 厚木市立相川公民館	60	福岡県	おおむたしみいけちくこうみんかん 大牟田市三池地区公民館
24	神奈川県	あつぎしりつおぎのこうみんかん 厚木市立荻野公民館	61	福岡県	かんだちりつきたこうみんかん 荻田町立北公民館
25	新潟県	いずもざきまちちゆうおうこうみんかん 出雲崎町中央公民館	62	福岡県	むなかたしのうそんじよせいのおえ 宗像市農村女性の家
26	富山県	かみいちちりつたかざわこうみんかん 上市町立柿沢公民館	63	佐賀県	さがしりつたかざせこうみんかん 佐賀市立高木瀬公民館
27	富山県	となみしりつあおしまこうみんかん 砺波市立青島公民館	64	長崎県	ごとうしきやまちくこうみんかん 五島市崎山地区公民館
28	石川県	はくさんしりつはやしなごうみんかん 白山市立林中公民館	65	長崎県	しまばらしりつすぎたにこうみんかん 島原市立杉谷公民館
29	石川県	はくいしりつ ちりはまこうみんかん 羽咋市立千里浜公民館	66	熊本県	なごみまちみかわこうみんかん 和水町三加和公民館
30	福井県	ふくいしりつわだこうみんかん 福井市和田公民館	67	大分県	おおいたしおいたなんぶこうみんかん 大分市大分南部公民館
31	福井県	えちぜんしおおむしこうみんかん 越前市大虫公民館	68	大分県	ひたしひがしありたこうみんかん 日田市東有田公民館
32	福井県	みはまちしやうがいがくしゅうせんたーなびあす 美浜町生涯学習センターなびあす	69	宮崎県	しんとみちちゆうおうこうみんかん 新富町中央公民館
33	長野県	うさだしうえのがおかくみんかん 上田市上野が丘公民館	70	鹿児島県	とくのしまちようしやうがいがくしゅうせんたー 徳之島町生涯学習センター
34	長野県	いなしみすくこうみんかん 伊那市美篁公民館	71	鹿児島県	かごしましちゆうおうこうみんかん 鹿児島市中央公民館
35	岐阜県	くじょうししとちりちいきこうみんかん 郡上市白鳥地域公民館	72	鹿児島県	かのやしたかすちくがくしゅうせんたー 鹿屋市高須地区学習センター
36	岐阜県	えなしなかのほうこみゆにていせんたー 恵那市中野方コミュニティセンター	73	沖縄県	なはしおろくみなみこうみんかん 那覇市小祿南公民館
37	静岡県	しまだしりつろくこうみんかん 島田市立六合公民館			

…公民館
  …公民館と同等の施設
  …最優秀館
  …優秀館

第69回(平成28年度)優良公民館表彰一覧

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
1	北海道	うらほろちようちゆうおうこうみんかん 浦幌町中央公民館	本館は昭和28年12月に設置した浦幌町で最初の公民館である。その当時から公民館を中心として活発な社会教育事業が進められ、現在では町内4箇所に公民館を配置し、「地域に即した社会活動を行う場」として、地域課題の解決や町民ニーズにより活用されている。市街地区に位置する中央公民館は、博物館や大学、学校、子育て支援センター等の関係機関と連携した多様な事業を展開し、平成26年度から導入した「高齢者等の公共施設免除利用」の制度等を活用しながら、地域コミュニティの再活性化に取り組み、年間来館者数は18,000人を超えている。 さらには、平成22年度には「浦幌町教育の日」を制定し、地域総ぐるみの教育を展開し、中央公民館を会場に年2回の教育実践交流会を開催するなど、小中一貫コミュニティ・スクールの取組を通して、家庭・学校・地域社会がそれぞれの教育力を高めるための中核となる役割を占める施設である。
2	北海道	くんねっぶちようこうみんかん 訓子府町公民館	学びを通じて人と人・人と地域・団体と団体・地域と地域がつながり、絆を深め、よりよい訓子府町のまちづくりを進めている。「学びで創る、人と地域の絆」を将来像に掲げ、人がつながる地域を創るため、文部科学省委託事業の「防災キャンプ」を実施し、「地域」を基礎として、家庭、学校、関係団体、企業等をネットワーク化した「地域プラットフォーム」を形成し、実践を学び合う「くんねっぶの未来づくり大会」や「わくわく地域づくり活動支援事業」等の取組を推進している。 また、学校支援地域本部事業や放課後子供教室、子育て支援事業「はぐくみ講座」、高齢者教育推進事業を実施し、広く幼児から高齢者に対応した取組を通じて、町民のニーズに答え、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる社会教育の拠点となっている。 各事業については、活動状況の点検・評価を実施し、議会に報告するとともに、公民館利用者懇談会を行い、安全で効率的な運営を進めるとともに、今後の課題解決や事業展開等に活かしている。
3	北海道	そうべつちようちいきこうりゅうせんたー 壮瞥町地域交流センター	壮瞥町は、道南の人口2700人弱の小さな町であるが、洞爺湖周辺、オロフレ峠一帯は支笏洞爺国立公園に指定され、また有珠山、昭和新山の雄大かつ美しい自然を有している地域である。この美しい自然環境を生かすために、第4次壮瞥町づくり総合計画で「自然、ひと、まち」が響き輝くそうべつ～火山のもたらした、めぐみの郷～」を掲げ、各ライフステージに応じた学習活動を進めている。 中でも昭和58年から現在まで継続されている小学3年生から6年生の児童を対象に「子ども郷土史講座」では、世界ジオパークに認定されている有珠山や昭和新山、洞爺湖など豊かな自然に恵まれた環境を舞台に、郷土の歴史や、自然環境、火山防災などを学習し、子どもたちが生まれ育っている町を知ることにより、郷土理解や郷土愛を育み、興味・関心を深め健全な育成に努めている。
4	青森県	ごしよがわらしちゆうおうこうみんかん 五所川原市中央公民館	五所川原市は人口56,893人(平成28年3月現在)、五所川原市中央公民館は市町村合併前から設置され、現在も旧五所川原市を中心に事業が行われており、社会教育を推進する拠点施設として重要な役割を果たしている。当公民館では住民の生涯学習推進のために様々な事業を実施しているが、趣味・教養に関する講座にとどまらず、地域課題の解決に資する学習機会の提供にも努めている。 その中の「ハートネットを作ろう! “ちょっと気になる子”への支援事業」は健康推進課、地域の子育てに関わる団体、民生委員・主任児童委員などと連携・協働した家庭教育支援事業である。 この事業により、公民館に子育て世代の住民がたくさん集まるようになり、「発達障害」が心配される子どもを持つ親が孤立しないような親どうしのネットワークづくりにもつながっている。
5	青森県	ろくのへまちちゆうおうこうみんかん 六戸町中央公民館	六戸町は人口10,937人(平成28年1月現在)、六戸町中央公民館は町住民の学習活動に大きく貢献し、社会教育の拠点となっている。 学習プログラムが空白だった青年層向けに、地域の特色を生かした内容にして開設した「青年講座」、企画段階から受講者に参加させる「夢生(ゆめおい)学習塾」等、地域の実態に即した学習プログラムの開発や学習意欲の喚起を意識した取組を行っている。 また、IT講習会としてSNS入門講座、タブレットPC体験講座を実施する等、時代の流れに即応した学習プログラムの改善も図られている。
6	岩手県	かねがさきちようみかじりちくこうみんかん 金ケ崎町三ヶ尻地区公民館	金ケ崎町は「生涯教育の町宣言」から37年を数える。「まちづくりは人づくり」の基本理念のもと、各地区公民館がまちづくりの中核となり、地域資源を活かした様々な学習機会や学習情報を提供している。特に、三ヶ尻地区公民館は、学校や自治会等との連携を密にし、世代間の交流促進と地域の連帯感を高める事業を実施し、住みよい地域づくりに努めている。地域住民が一体となった活動を積極的に展開することで、地域の輪を広げるとともに郷土愛を育成している。「“天まで届け復興の祈り”風揚げ大会 & B級グルメ大会」は子供から大人まで幅広い参加のもと行われ、コミュニティ形成、絆づくりに大きく貢献している。
7	岩手県	くじりつおおかわめこうみんかん 久慈市立大川目公民館	当公民館の対象地域(久慈市大川目町)の人口は2,600人、世帯数は1,130戸、高齢者率が36.2%の地域である。これまでの公民館の取組があり、地域住民の自治力が高いことが特徴的である。台風10号被災の際は、住民が自主的に炊き出し活動を行った。事業では、地域団体(まちづくり協議会、学校等)と連携・協働する事業が多く、地域のつながりの強さを活かした取組が展開され、イベント型事業では住民のほとんどが参加するなど、貴重な交流の場となっている。特色ある事業として、「むかし語り部教室」が挙げられる。地域について学んだ小学3年生全員が、地域の講師と共に地域の昔話の語り部の練習に取り組み、その成果を住民の前で披露する。練習には5か月ほどの期間を費やす。子供、学校、PTA、地域が一体となる事業である。
8	岩手県	みやこしにいさとしょうがいがくしゅうせんたー 宮古市新里生涯学習センター	当該センターは、宮古市新里地区を中心とした生涯学習・社会教育の「学びの場」として、多くの地域住民に親しまれている。また、事業の企画・運営に際しては、地域住民や各種団体等と連携したり外部の声を事業改善に取り入れられたりするなど、開かれた施設運営に努めている。平成28年度からは、宮古市立新里小学校と地域が連携・協働して取り組む新里小学校支援地域本部の活動拠点としての役割も引き受け、「学校を核とした地域づくり」の牽引役を果たしている。今後の展望として、教育振興運動と学校支援地域本部事業との連動を図った、地域住民が学んだことを活かせる学習循環の場づくりや、学びを通じた地域の課題解決の場づくりを目指している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
9	秋田県	だいせんしりつせんぼくこうみんかん 大仙市立仙北公民館	昭和40年に公民館が設置され、平成6年に仙北ふれあい文化センター内に移転して以来、文化の拠点、地域に根差した生涯学習の場として、地域の団体や住民が多数利用している。地域での取組を生涯学習情報誌「かけはし」や大仙市生涯学習情報誌「こすもす」で全市的に発信することが、利用者の拡大につながっている。 子どもを対象とした「おらだの体験学校『サタデーキッズパーク』」は、地域の子どもたちに安全安心な居場所を提供することを目的として、季節に合わせた活動を実施している。作ることの喜びはもちろん、友達と協力するからこそ成し遂げられる体験活動の場を提供している。また、子どもの参加者の増加に伴い、同伴する保護者も増え、子どもと親、そして地域住民との交流の拠り所になっている。
10	秋田県	ごじょうめまちちゅうおうこうみんかん 五城目町中央公民館	子どもから高齢者まで全ての年代を対象とした学級・講座が開催され、地域住民にとっては交流の場として利用されている。また、高校生を含む若い世代の利用を図るため、地元の高校や地域の団体との連携を図りながら指導者サポーターを養成している。 町の伝統芸能である番楽において、5地域のうち1地域のみが活動している状況であったことから、活動を継続している山内番楽を町の番楽として位置付け、後継者となりうる小・中学生を対象に「子供番楽教室」を実施している。伝統芸能の保存と継承や伝統芸能をととした地域と子どもたちの交流などにより、学校・家庭・地域の連携や協働が一層深まり、町民や子どもたちの地域や伝統芸能に対する意識も高まった。
11	山形県	ひがしねしながとろうこうみんかん 東根市長瀬公民館	地域住民の自発的な学習意欲を尊重しながら、学校や各種団体と連携し、参加者のニーズに合った学習機会を提供していることから、講座や教室の人气が高く参加者からの評価も高い。また、地区事業や環境整備事業においては、地域住民が自主的に参加できるような環境づくりに積極的に取り組んでいることから、参加人数も多く住民の意識変革にも大きく寄与している。 特に地域の伝統芸能である「長瀬猪子踊り」を小学生に伝承する「猪子踊りクラブ」は地域全体でその活動をサポートし、市内外で猪子踊りを披露することにより、長瀬地区の知名度の向上を図るとともに、小学生の愛郷心の育成、担い手意識の向上が図られている。
12	福島県	こおりやましりつおほしまちいきこうみんかん 郡山市立大島地域公民館 【優秀館】	当公民館は、基本理念を「地域連携による支えあう地域づくり」とし、地域住民、地縁組織が一体となった地域づくりに取り組んでいる。 特に、地域振興を目的とした地域住民参画型の「ともに支えあう地域づくり事業～大島クリスマスふれあいコンサート～」では、音楽をとした相互交流と音楽文化の研鑽に地域ぐるみで取り組んできた。その結果、コンサート事業は地域の新たな名物事業となり、地域振興に貢献するとともに、出演した小中学校は、合唱の部においてNHK全国音楽コンクール等の県・東北・全国大会において連続上位入賞を果たすなど着実な音楽技術の向上と成果をあげ、音楽都市こおりやまの普及・啓発に貢献した。現代的な課題の解決のため、公民館のコーディネート力を活かした事業を精力的に行う姿勢と事業成果は、他の公民館の模範となっている。
13	福島県	ふくしましほうらいがくしゅうせんたー 福島市蓬萊学習センター	当学習センターでは、時代の変化や地域の各年代層のニーズを的確に把握しながら、各ライフステージに応じた講座を開講している。また、地域課題の解決に向けた取組としての市民公開講座や市民学校を実施している。これらの講座の中でも特に、ほうらい科学クラブは福島大学と連携した取組で、子どもが興味を持って取り組める青色ダイオードや再生可能エネルギーなどを取り上げ、工作や実験をとしたこれらの理解を深めている。また、他校児童との交流や異年齢活動をとおして社会性を育てている。 当学習センターの運営にあたっては、運営審議会を年6回開催し、活動内容にPDCAサイクルを機能させるなど、適切な運営を行っている。
14	茨城県	みとしさんのまるしみんせんたー 水戸市三の丸市民センター	当施設は、昭和62年4月1日に三の丸公民館として開館、平成6年12月20日に現在地に移転した。平成18年4月1日より教育委員会所管の公民館と市長部局の市民センターを併設し、平成22年4月1日より市長部局に移管により、三の丸市民センターに名称変更となり現在に至っている。所管区域は水戸駅周辺の市街地であり、歴史的景観が多数保存されている地域である。 平成16年の文部科学省「地域子ども教室推進事業」により、地域の住民が指導者となり、体験・交流活動を通して、子どもたちを地域社会の中で育てる「わくわくミステリーサタデー」を継続的に実施している。平成14年より、各種の学習活動の成果を毎週土曜日に無料開放して地域のまちづくりにつなげる「三の丸オープンスクール」を実施している。
15	群馬県	まえばししあずまこうみんかん 前橋市東公民館	前橋市東公民館は、地域課題への対応という公民館としての立場や役割を明確にし、課題解決のための講座等を積極的に開催している。特に、子育て世代の増加に対応した「家庭教育事業」は親子のふれあい遊び、こどもの病気やけが、調理実習などさまざまな角度から家庭教育を学ぶ機会を地域住民に提供している。さらに未就学児を持つ母親を対象とした「家庭教育学級」の他、父親対象の「お父さん講座」や地域での子育て支援を推進するための「子育て支援講座」も実施しており、幅広い家庭教育支援を行うことにより、地域課題の解決に寄与している。また、市内の大学や病院、専門学校等さまざまな外部機関と連携した事業を展開し、地域住民の学習活動を支援している。
16	群馬県	たかさきしながわこうみんかん 高崎市中川公民館	高崎市中川公民館が位置する中川地区では、多くの地域が直面している少子高齢化や近隣住民同士の助け合い機能の低下という地域課題を抱えている。そのような課題の解決に向けて、地域住民や来館者への積極的な声かけや公民館だよりを用いた地域情報の発信、講座開催などを通して、地域との信頼関係づくりや多様な関係機関とのネットワークづくりに精力的に取り組んでいる。地域が誇る伝統芸能の継承や地域の防災活動のきっかけづくりなど、地域におけるコーディネーターとしての功績をあげている。
17	埼玉県	ふかやしふかやこうみんかん 深谷市深谷公民館	深谷市深谷公民館は、市民館協会事務局や県公民館連絡協議会と緊密に連携を図るなど、市内12公民館相互の連絡等、中心的な役割をもつ公民館として位置付けられている。また、旧中山道深谷宿における公民館として、地域住民の生涯学習とコミュニティーづくりの中心施設となっている。 平成13年度より実施しているサケ放流事業は、市内中心部の川までサケの遡上が確認され、地域に定着した事業となり、参加者が自然との関わりに興味をもち、命の大切さを実感するなど事業効果が高い。 当公民館は、地域住民のニーズや地域の特色を生かした事業に継続的に取り組み、また新たな事業にも積極的に取り組む姿勢を見せており、市内の公民館の模範となり、地域住民の学習活動に大きく貢献している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
18	埼玉県	かすかべしたけさとちくこうみんかん 春日部市武里地区公民館	春日部市武里地区公民館は、高齢者福祉センターとの複合施設であり、高齢者の利用が多いという実情を生かしながら、年間35事業を展開している。特色ある事業として「防災対策事業」を行っている。平成25・26年度文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」により事業が開始され、その後も発展的に事業が展開されている。 また、当該公民館は宿泊避難訓練や定期的に開催する「ぼうさいカフェ」など多彩なプログラムを、地域住民の声を取り入れながら実施し、防災をきっかけにした地域づくりを進めており、公民館近隣の4自治会との連携をさらに深め、地域づくりに大きく貢献している。
19	埼玉県	つるがしましひがししみんせんたー 鶴ヶ島市東市民センター	鶴ヶ島市東市民センターは、平成27年、東公民館より改編となったが、利用者の会等の活動は継承され、地域づくりの拠点として、住民相互の理解を深めるための活動が多くなされている。市民の森が隣接しているという特徴を生かし、「キャンドルナイト」をはじめ、年間を通じて、地域に密着した行事が定着している。当センターはNPO法人と連携して、「たけのこ掘り」等の様々な取組を実施している。 また、身近な森を活用して、地域の住民を巻き込み、子供たちの自然を愛する心を育成するとともに、世代間交流を図ることに熱心に取り組んでいる。
20	千葉県	たてやましちゅうおうこうみんかん 館山市中央公民館	昭和58年に開館以来、館山市の「まちづくり」「人づくり」の拠点として活動してきた。現在、約4万8千人の市民を対象に、多様な学習機会を提供している。館山市は千葉県最南端の市であり、近年都市部からの転入も増えている。恵まれた自然環境をもとめて都市部の大学等の施設も点在しており、それらの大学と連携して専門性の高い講座を展開したり、地域の高等学校や企業と連携したりして、事業を行っている。 ふるさと講座は、地域で育まれてきた歴史、豊かな自然、語り継がれてきた人の暮らしをテーマに、地域のことを学ぶ導入的役割を持つ講座として、年8回程度開催している。講義のみではなく、現地学習を取り入れながら、分かり易く地域のことを学ぶことができるようしている。一例として、近隣市で4年に一度行われる大祭を見学し、座学で得られた知識を現地学習で更に深めることができた。
21	千葉県	ふなばししとうぶこうみんかん 船橋市東部公民館	昭和28年に船橋市公民館前原分館として設立し、昭和35年に東部公民館として開館した。昭和52年に現在の場所に新築開館し、前原東、前原西、中野木をエリアとして活動し、周辺の5公民館の中心館となり、地域の社会教育・生涯学習の拠点として活動している。現在登録されているサークルは491団体、活動回数6,621回、延べ参加者数は113,450人となっており地域の実態に合わせた様々な活動を展開している。 東部公民館では家庭教育のより一層の充実を図るため、「地域で子育て、親・子・孫の三世代共育ち」を目標に、家庭教育支援ボランティアの育成に取り組んでいる。東部公民館で活動する子育てに関連する団体で構成された「子育て連絡会」と協働で学習会やイベントを実施している。家庭教育セミナー「地域でつながる子育て講演会」も「子育て連絡会」の中心団体が実行委員となって講座が実施された。
22	千葉県	たこまちこみゆにいていぶらざ 多古町コミュニティプラザ	多古町には現在公民館がなく、平成4年の開館以来、町民に社会教育・生涯学習の拠点として、活動してきた。文化ホールが併設しておりコンサート等も行われている。また、ホールを使った主催事業等も行っており、文化の拠点にもなっている。 「多古っ子カレッジ」は、学校週5日制となり地域社会で子どもたちを育てる事業の一環として、平成12年から始まった。自分たちの郷土を深く知り、郷土に誇りと愛情を持てるようにしたい、という願いのもと、そこに関わる地域の大人たちのネットワーク作りを目指している。「心の教育」の推進、「地域・町づくり」に参画するための環境整備、関係機関・団体との連携による「多彩な体験活動」の実現という3つの視点にたち、子どもたちの「生きる力」を育むことを目的としており、自然や産業・文化に関わる活動や、奉仕活動やふれあい活動といった、体験活動を中心に地域の人材と特色を生かしている。
23	神奈川県	あつぎしりつあいかわこうみんかん 厚木市立相川公民館	相川公民館は、昭和30年に町村合併により相川村役場跡地に設置され、平成2年に現地に新築移転した。地域の各種団体や近隣の小学校・中学校等、ジュニアリーダーなどと連携し、子どもたちの積極的な地域参画を図りながら、地域に根差した特色のある公民館活動を行い、地域コミュニティの活性化に取り組んでいる。また、古くから郷土に伝わる民俗芸能や芸術鑑賞を実施し、地域住民の芸術に対する理解とふるさとへの愛着を深める活動を行っている。 平成27年度は「第16回こどもまつり」を市制60周年記念事業として実施し、タイムカプセル事業、なつかしの写真展、地域内の小学校・中学校・保育所による環境エコ活動の事例発表等を行い地域に対する愛着形成に大きな貢献をしている。
24	神奈川県	あつぎしりつおぎのこうみんかん 厚木市立荻野公民館	荻野公民館は、昭和31年に荻野村役場跡地に設置され、平成22年に現地に新築移転した。地域の方々と一体となって協働での公民館運営を実施し、地域の絆を育んでおり、小学校・中学校、大学等とも連携、地域の教育力を活かした取り組みを展開している。また、地域の歴史を研究し、その良さを再発見する機会の提供を通じて、ふるさとを愛する心を醸成し、魅力ある地域づくりを推進する事業を実施している。 平成27年度は「荻野の歌」制作を市制60周年記念事業として実施し、1年をかけて実行委員会で歌詞の募集・決定を行い、地域の作曲家に依頼し完成した。その後、歌にあわせた振付をして、発表会を行い、小学校の下校放送での使用、公民館まつり等で活用するなど、新旧の住民が荻野のよさを再発見することに役立った。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
25	新潟県	いずもざきまちちゅうおうこうみんかん 出雲崎町中央公民館	出雲崎町は、人口約4,700人の、日本海に面した海岸部と山あいの農村部をもつ町である。人口減少と少子高齢化が急速に進み、ライフスタイルの変化にともない、地域の伝統文化が失われ、地域のつながりも希薄化してきている。この現状を踏まえ、伝統文化が地域の宝として地域住民に大切に継承されるよう事業に取り組んでいる。 事業の中核として、当町が「良寛」生誕の地であることから、「良寛学習」を実施している。町として、「出雲崎町立小・中学校良寛学習実施要領」を作成し、小中学校の9年間にわたり、良寛に関する事柄を体系的に学習できるよう、当該公民館が中心となって運営している。また、一般向けに、「良寛講座」も実施し、良寛の文化的価値について町民の理解が深まる工夫もしている。地域に根ざした文化振興や地域の活性化を図るために、青少年教育関連の事業が充実している点も当該公民館の特色である。
26	富山県	かみいちちょうりつかきざわこうみんかん 上市町立柿沢公民館	あたたかい人間関係や潤い、生きがいのある充実した生活を築くために地域住民の「ふれあい・集い」の場として、地域住民自らの興味や関心にしたがって、あるいは社会の要請に応えるために知識及び技術を「学びあう」場として、地域の様々な機関・団体間のネットワークを「結ぶ」場として、地域住民の最も身近な社会教育施設の拠点づくりに取り組んでいる。特に、地域住民同士の親睦を深めるとともに、地域の子供たちを守り育てる意識の醸成に寄与しており、地域住民の協働による地域づくりの取組みの促進にもつながっている。
27	富山県	となみしりつあおしまこうみんかん 砺波市立青島公民館	青島公民館は、市街地にある地域性をうまく利用して学校との緊密な連携を図り、ひいては当公民館を土曜学習の場にも活用して子供たちを公民館活動の中心においた事業を展開している。三世代が交流する米作りによって、子供たちに学習の機会を与えとともに高齢者には教え手になってもらう生きがいの場も作り、そこに親世代も巻き込んだ本市の推進する三世代交流の良いお手本となっている。 ライフスタイルの変化や少子化の現代において、新たな人材を発掘して子供たちが地元を好きになるような事業の実践は、将来的にも重要である。
28	石川県	はくさんしりつはやしなかこうみんかん 白山市立林中公民館 【優秀館】	昭和21年の開設以来、70年に渡って地域の歴史や伝統の学びを通じた住民の絆づくりを進めてきた。宅地化や大型ショッピングセンターの開設などで周辺環境が大きく変わる中、新旧住民の融和の要となっている。 代表的な活動の一つが、地区の歴史や人、文化について住民の手で調べまとめた小冊子『林中の人と文化』の発行である。昭和59年から昨年までに22集を刊行。資料・文献の収集、インタビュー調査には住民を挙げて協力しており、制作の過程が学び合いの機会となっている。発行後は、全世帯に配布して学びを還元し、郷土への愛着と誇りを育んでいる。 また、地区の伝統的な踊り「林中じょんがら」の伝承を願う地域住民の声を受け、平成23年に「林中じょんがら踊るまい会」を立ち上げた。公民館の呼びかけで現在、会員数は園児から大人まで約140名に増えた
29	石川県	はくいしりつ ちりはまこうみんかん 羽咋市立千里浜公民館	日本で唯一、車で走れる砂浜を守り、次世代に繋げていくため、千里浜を活用した様々な事業を実施している。毎年春には、黒松を植樹し、夏のあかつき遠足では、三世代で千里浜の植生等を学びながら散策し、砂浜づくりや地引き網を体験した。その後、神子原米などの地元食材を利用した朝食会も併せて実施され、祖父母世代が他世代に昔の千里浜の姿を語るなど、世代間交流が密に行われている。 また、秋の文化祭では、毎年千里浜に関する展示等を実施している。公民館が作成した千里浜検定や、伊能忠敬滞滞在時の食事の再現展示、産卵に来るウミガメを題材にした寸劇を披露するなど、様々な場面で千里浜について学ぶ機会を設けている。
30	福井県	ふくいしりつわだこうみんかん 福井市和田公民館 【優秀館】	和田公民館は、地区の合言葉である「和田発展不已(わだはってんやまず)」のもと、子どもから大人まで幅広い世代の地域住民が積極的に連携・協力して各種事業を展開し、持続可能な地域づくりを推進している。 特に地域に存続する歴史を探究し、和田の歴史を寸劇で次世代に伝承するために地区民手作りの「くちバク和いわい劇団」を平成23年11月から立ち上げた。65年目を迎える「敬老会・ふれあいまつり」や和田小学校等で発表をしている。 この事業を通して、和田の「和」である「団結・つながり・絆」を大切に、地区民の「地域力」を高めると共に相互間の交流が生まれ、地域のさらなる活性化に結びついている。
31	福井県	えちぜんしおおむしこうみんかん 越前市大虫公民館	「地域の大人が地域の子ども達を育てること」を重点目標とし、全ての学級(成人学級、女性学級、青年学級、高齢者学級)で子ども達との関わりを大切にした事業を展開している。「放課後子ども教室」では、地域の人材を指導者として活用しながら、さまざまな分野について子ども達が学べる教室を開催(全7教室)している。 また主体的に活動できる子ども達の育成を目指した自主活動グループ「HAPPINESSクローバー」を結成し、子ども達が企画運営したり、地域のいろいろな世代の人々と関わったりできる機会を設けている。そして「放課後子ども教室」で学んだ子どもたちが、中高生団体「HAPPINESSクローバーOGOB」の活動に参加して、次世代のリーダー育成を目指した事業に発展している。
32	福井県	みはまちょうしょうがいぐしゅうせんたーなびあす 美浜町生涯学習センターなびあす	生涯学習の拠点施設として公民館機能と図書館機能、文化ホール(劇場)が一体化した施設。美浜町生涯学習センターなびあすを拠点に、合唱を核にして、歌に集い、歌でつなぎ、歌声がこだまする、明るく元気な「美し郷(うましと)づくり」を目指し、「なびあすコーラスライン」と称す約70名の合唱団員が自主運営組織を立ち上げ活発な活動をしている。 文化芸術を創造し、発信する施設として、住民・演奏者・スタッフ等が施設機能を活かし、より良い鑑賞環境と心地よいコミュニティの場を提供するスタッフ確保のため、平成27年度より、町内在住の方に募集をし、登録制度を設け、催事等に大いに活躍している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
33	長野県	うえだしうえのがおかこうみんかん 上田市上野が丘公民館	本公民館では、平成24年度から「上野が丘 夏休み わいわい塾」を開催している。この事業は「公民館として夏休み中に、学校の枠を超えて集まり昔の寺子屋のような活動ができれば、」という素朴な気持ちから始まった「地域ぐるみの子育て」活動である。夏休みの4日間、午前9時から午後4時まで上野が丘公民館を中心に地域全体をフィールドとして児童生徒約100名、ボランティア約90名等が参加し、学習、座禅体験、地域探訪、野外活動等、様々な体験活動の場づくりを行っている。公民館管内地域のボランティアの協力を得て小学校も連携して行う本活動は、夏休みの子どもたちの居場所づくりのみならず異なる学校・学年・地域の大人と交流の場となっているとともに、大人にとっては地域の教育力向上の場となり、お互いのコミュニケーションの場ともなっている。さらに、こうした活動がベースとなり、地域ボランティアによる「学校支援」へと発展してきている。
34	長野県	いなしみすずこうみんかん 伊那市美篁公民館	本公民館で取り組んでいる「親子青空教室」は、農業体験活動を中心とした親子参加型の講座である。地域ぐるみで子育てを行うことをねらい、公民館が中心となり、「A、地区育成会、美篁小学校の4者の共催で行っている。農作物の栽培や収穫などを中心に様々な体験活動を行い、自然に触れ合う中で子ども達の生きる力を伸ばしている。また講座に参加する若い保護者にとっては、栽培から郷土料理作りまでを子どもとともに行うことで食育の大切さや地域の伝統食を学ぶ場ともなっている。本講座は平成14年から始まり今年で15回目となり、1年間の延べ参加者数が750名を越えており、活発な活動が続いている。
35	岐阜県	くじょうししるとりちいきこうみんかん 郡上市白鳥地域公民館	郡上市白鳥地域には、小学校6校、中学校1校、県立高校1校があり、それぞれの小学校区ごとに地区公民館を置き、各地区の6公民館で地域公民館を構成している。地区相互の交流を活発にし、公民館活動の充実につなげ、地域を元気にしたいという願いのもと中高生が活躍できる場としての「中高生公民館応援隊」が事業化された。 この「中高生公民館応援隊」による公民館活動の活性化という発想は今日「学校と地域の連携・協働」や「地域と共にある学校」が求められる状況のなか、中高生が自らの意志で参加することで、活動の楽しさや人とのつながり、やりがいを実感できる事業となっている。若者の思いが活き、若い力が結集することで、世代を超えた交流が実現し深まっていくと考えている。
36	岐阜県	えなしなかのほうこみゆにていせんたー 恵那市中野方コミュニティセンター	中野方コミュニティセンターは地域住民の生涯学習の拠点として活動テーマを「ふれあいとささえあい」として各種団体をはじめ、地域住民とのつながりを大切にコミュニティセンター運営を行っている。 住民の郷土愛、連帯感を深めるために郷土の魅力を形に残すという発想から「中野方かるた」づくりを開始し、実行委員会を立ち上げ、多面的に検討していくことで、地域の名所、旧跡、歴史、文化などを知ることができるかるたを完成させた。 地域・郷土に愛着を持った人材、とりわけ若い人材を育成するという観点よりかるたを制作し、具体的に活用する企画の実施や、実施後に聞き取り調査や会議等において振り返りを行うことで次の企画に反映できるように取り組んでいる。
37	静岡県	しまだしりつろくごうこうみんかん 島田市立六合公民館	六合公民館は、島田市六合地区にあり、行政サービスセンター・包括支援センター・放課後児童クラブの機能を併せ持つ複合施設として、子どもからお年寄りまでが集う生涯学習の拠点施設である。六合コミュニティ委員会の事務局も公民館事務所に併設されており、コミュニティ委員会と連携・協力により地域に根ざした事業を展開している。 平成5年に学校週5日制が導入されて以来、土曜日の子どもたちの有意義な過ごし方や居場所作りとして、公民館を活動拠点とした「六合子どもチャレンジクラブ」（一部六合コミュニティ委員会と共催事業）を開設し、地域の住民や学校と連携した自然とのふれあい、地域文化の伝承などの諸活動を通して、感受性を豊かに育むとともに、地域住民とのつながりも生み出している。
38	静岡県	ふじのみやしりつにしこうみんかん 富士宮市立西公民館	西公民館は、大宮西地区の公民館として平成9年に開館された。市街地にあり、サークルの活動も活発で、年間3万人を超える利用者があり、市民の学習の場としての役割を果たしている。 「少子高齢化で人と関わる力が育ちにくい現代社会において、これまで家族や地域がつながることを目指した親子講座「西の音楽会」を実施してきたが、地区の社会福祉協議会でも西公民館を会場に「子ども遊び広場」や一人暮らしの高齢者を対象とした「ふれあい食事会」を同様の目的で実施していることに着目し、これらを共催して「人と人、人と地域をつなぐ」事業として取り組み、人とつながる良さを体感する機会を提供している。公民館が地域団体とともに事業を推進することで、地域住民との関わりが更に深まり、公民館事業の充実や地域の活性化につながっている。
39	静岡県	はままつしてんりゅうきょうどうせんたー 浜松市天竜協働センター	浜松市天竜協働センターは、浜松市東区の和田・中ノ町地区に「浜松市立天竜公民館」として開館した。施設は100人収容のホール、料理教室、和室、講座室等を有するほか、体育館も併設されている。平成25年4月に施設名を「浜松市天竜協働センター」へ変更してからは、住民の活動拠点として地域コミュニティの発展を意識した事業をより多角的に展開してきた。 中でも、地域児童が対象の「子ども講座」では、地域にある新聞社の職場見学を行い、ものづくりの仕組みや企業努力の方策等を体験学習する機会を提供するなど、地域資源を活用しつつ、子どもたちの豊かな人間感覚の醸成にも資するような取組みを実施している。他にも、地域住民の様々なライフスタイルに応じた事業を行い、積極的に地域の活性化及び生涯学習の推進に努めている。
40	愛知県	おおくちちゅうちゅうおうこうみんかん 大口町中央公民館	大口町中央公民館は、昭和53年に総合福祉会館として老人福祉センター、図書館を含む複合施設として開館した。集会室を始め、調理室や小体育室など貸館対応の部屋が8室ある施設となっている。 地域の仲間や居場所を得て、より多くの町民が生きがいをもって過ごすことができるように、公民館講座や家庭教育講座等の開催、各種文化団体・個人グループやスポーツ団体等の活動などの生涯学習活動を行っている。地域住民の学習・交流・情報交換活動の場、あわせて地域の文化活動の拠点として幅広く利用されており、年間延べ52,000人程度が来館している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
41	愛知県	へきなんしりつちゅうぶこうみんかん 碧南市立中部公民館	<p>中部公民館は、昭和61年4月に発足した碧南市の新しい行政区である中央地区に時を同じくして誕生した社会教育(生涯学習)の拠点施設である。</p> <p>中部公民館では、当館で活動しているグループや個人の1年間の成果を発表する場として、開館当初より「広めようふれあい 地域の輪」をスローガンに「中部公民館まつり」を継続して実施しており、平成27年度に記念の第30回目を迎えた。</p> <p>中部公民館の特徴的な活動として、中央学区の幼稚園、保育園及び小中学校や中央地区町内会と連携した青少年健全育成運動が挙げられる。これは活動の場を公民館のみならず、学校や地域にまで広げ、地区住民総ぐるみで運動を展開する、実践的な活動となっている。</p>
42	滋賀県	ひのちょうりつみなみひづさこうみんかん 日野町立南比都佐公民館	<p>南比都佐地区は町の南東部に位置する農村地域で、近年では社会情勢や雇用状況の急激な変化により地域の少子高齢化が大きく進んでいる。</p> <p>そのような中、南比都佐公民館では、世代や性別を超え、地域住民相互の絆を深められる生涯学習の場となるよう「未来につながる、ふるさと、ふれあい、まなびあい」を合言葉に公民館活動に取り組んでいる。特に学社連携の取り組みでは「子ども塾」と称した学習教室を開催し、その成果を地域の方に披露することで子どもたちの自信を高める取り組みや地域住民との交流型の通学合宿にさらに防災の取り組みを加えるなど、地域の課題を地域住民自らが知恵を出し合い、解決するための活動が公民館を中心に実施されており、当町が誇る先進的な公民館活動が実施されている。</p>
43	京都府	きょうたんごしあみのちいきこうみんかん 京丹後市網野地域公民館	<p>網野地域公民館は、公民館施設を持たず網野体育センター内に事務局を設置し、網野体育センターをはじめ様々な施設を積極的に活用して網野町ウィークエンド事業「ユッタコ仲間」や「京丹後市歴史探訪講座」、京丹後市高齢者大学「網野学園」など、周辺の施設や自然を活用しながら、住民ニーズを反映させた各種事業を展開している。</p> <p>また、網野町公民館連絡協議会の事務局として、旧来から、広範な町域にある地区公民館の活動を充実させるべく、地区公民館12館の間の連携を図り、地域のつながりを意識した公民館活動の活性化に努めている。</p>
44	兵庫県	かがわしりつひがしかがわこうみんかん 加古川市立東加古川公民館	<p>当館では、子どもの学習支援及び居場所づくりに重点を置いた「東かまなBee」や「夏休み子ども体験教室」を開講している。これらは、公民館登録団体や高齢者大学生等の公民館利用者がボランティアとして参画し、子どもたちの学習支援の場としてだけではなく、講師となるボランティアが、公民館活動等を通して得た知識や技能の学習成果を活用して子どもたちに伝える「学びの循環」の場としても機能している。</p> <p>また、高齢者大学では、生きがいを創造し、自助・互助の心を養うだけでなく、4年間の学習の成果をボランティア活動や地域づくり等で発揮できるよう計画している。年間24回のカリキュラムを組み、生活に役立つ講座等も充実している。</p> <p>これらの取組を通してさらに学びを深めていく生涯学習を推進し、学びと実践の一体化を図っており、地域の社会教育の場として大きく寄与している。</p>
45	奈良県	ならしりつとみおこうみんかん 奈良市立富雄公民館	<p>当該公民館は、公益財団法人奈良市生涯学習財団が指定管理者として管理・運営を行っている施設である。同財団は、職員の持つ社会教育・生涯学習に関する専門的な知識・経験(社会教育主事等)を活かし、市内の生涯学習センターと23公民館の指定管理者として多彩な事業を実施している。</p> <p>富雄公民館は、大阪へ電車で30分という奈良市西部に位置し、緑豊かで静かな住宅地の中に設立されている。公民館の管轄地域は広く、古くからの住宅地では住民の高齢化が進む。一方、宅地開発により新しく集合住宅が立ち並び、子育て世代の増加も著しい。そんな中、子育てに関する情報交換の機会提供が求められることに着目し、精神的負担を軽減することを目指した「とみお カンガルーくらぶ」を4年前より実施し、音楽や体操など様々な体験を通して親子が一緒に楽しみ、子どもたちの成長を共に喜び、学び合う場を提供している。</p> <p>また自治会会議への出席や地域の行事に積極的に出向くなどして地域の現状や学習ニーズを把握し、小学校や社会福祉協議会、近隣の大学との連携・協働した体制づくりに努めている。</p>
46	鳥取県	とっとりしりつせいいきちくこうみんかん 鳥取市立成器地区公民館 【優秀館】	<p>公民館が中心となって地区内の多くの団体と連携を取り、過疎化と高齢化の進む地域の活性化に真摯に取り組んでいる。平成23年度に完成した殿ダム及び因幡万葉湖を地域の賑わいの拠点として、地域の魅力発信に取り組んでおり、特色ある取組である「殿ダム因幡万葉湖ウォーキング大会」は、公民館を中心に地元住民及び団体による実行委員会を組織して実施し、参加者は年々増加、地域間・世代間交流と地域の活性化に繋がっている。加えて、殿ダム関連の食や歴史、音楽などに関する他の企画と合わせて、さらに地域内外の住民を呼び込む取組として今後の発展が期待できる。また、この大会をきっかけに結成した地元特産品の展示・販売を通して地元の食文化を発信する「成器おもてなし隊」は、世代間交流を促進するとともに、地元の人的ネットワークの広がりに繋がっている。公民館の文化部や体育部等の各部会において事業評価を実施し、公民館運営委員会の承認を得て次年度事業に繋げている。</p>
47	鳥取県	よなごしかすがこうみんかん 米子市春日公民館	<p>地域資源のホタルの復活に焦点を当て、原風景を取り戻す活動を通して子どもたちの健全育成と地域住民の交流を図ろうと、公民館の呼びかけで立ち上げたホタルネット春日の活動は、地域の団体や人材がまとまる契機となった。活動開始以来、ホタルの飼育やホタルの育つ環境整備から、小・中学校の授業をはじめとする子どもたちの学習活動の充実まで活動が広がっている。また、子どもたちが一年間をとおして活動に取り組むことで、大人たちを巻き込んでいく仕掛けにもなっている点で他の公民館の参考となる。子どもと大人と一緒に活動に取り組むことで、大人の学ぶ意欲の向上のみならず、子どもたちのふるさとを愛する心の育成にもつながっている。年間40回程度の企画会議を行い、子どもたちとの関わり方やホタルの育成などについて協議することで活動を深化・拡大させながら継続に繋げている。</p>



No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
48	島根県	まつえしまねこうみんかん 松江市島根公民館	<p>近隣市街地や県外等への若い世代を中心とした人口流失が進む中、若者や地域の大人の地域への愛着や誇りを育む活動を通して、地域へ住み続けるまたは地域を離れたとしても地域へ息いをはせる人であってほしいと願い取組をしている。その1つとして、地元の漁師が語り継いできた「大漁節」を復活させ、公民館が核となり、島根町大漁節保存会、小中学校をつなぎ、大人と子どもを対象とした地域伝統芸能教室（大漁節教室等）を開催し、後継者育成を行っている。また、教室で学んだ大人が児童生徒へ、中学生が小学生へと次世代の指導者の育成にもつながっている。</p> <p>「大漁節」を学んだ小中学生、大人は、学習発表会や地域行事等で積極的に発表をしている。小中学生は保存会の指導の下、発表等に創意工夫を凝らして地域活性化の一翼を担っている。</p>
49	岡山県	やかげちょうなかがわこうみんかん 矢掛町中川公民館	<p>中川公民館は、幼児から高齢者までの幅広い年齢層が公民館に集い、絆を深めるよう多種多様な事業に積極的に取り組み、地域に開かれた公民館として、地域づくりの拠点となっている。幅広い年齢層を対象とした事業や交流行事として、Kidsわいわい塾（小学生）・ときめき楽習（三世代）・男の台所（男性）・なかがわこころのふれあい交流会（高齢者と世代間交流）等の年齢層に応じた事業や、運動会・盆踊り大会・公民館祭等の多世代が交流できる行事を切れ目なく実施し、公民館が地域住民の絆を深める場として機能している。</p> <p>また、夏・冬休み期間中、小学生に対する学習支援や自然体験学習活動を行う「めだかの楽校」を中高生の公民館活動ボランティアTEGO隊とともに企画・運営し、小学生の居場所や中高生の活躍の場の創出に大いに貢献している。</p>
50	岡山県	おかやましりつさいだいいこうみんかん 岡山市立西大寺公民館	<p>西大寺公民館は、ESDの視点を取り入れた主催・共催講座を通して、地域住民が主体的に学び、持続的な地域づくりに関わる取組を積極的に展開している。公民館講座を通じた地域の賑わいの創出として、「うどん作り講座」の受講修了生と連携し、地域住民にうどんをふるまい、交流の場を提供する「うどん亭のつどい」を毎月1回公民館で開催するとともに、地域の福祉施設等にも積極的に出向き開催し、地域の賑わいづくりに大きな役割を果たしている。</p> <p>また、夏休み期間中、NPO法人と共催で実施している、「夏休みフリー塾」では、大人だけでなく、地元の中高生がボランティアとして、学習支援をはじめダンス・料理・国際交流・生け花・琴・和太鼓等多方面の体験活動を行っており、子どもたちの居場所づくりを通して、世代間が交流する場を提供する役割も果たしている。</p>
51	広島県	ひろしましうしたこうみんかん 広島市牛田公民館	<p>平成元年に開館し27年が経過する牛田公民館の所在する地域は、市街地に隣接した住宅地であり、交通の便が良く、また、スポーツセンターと併設していることから集客に恵まれている。広島市内の公民館の中で常に上位の稼働率で、多くの地域住民・市民に利用され、親しまれる施設となっている。</p> <p>「ビカドンたけやぶ音楽祭」は、公民館の活動グループや地域の子供たちが、原爆が落とされた際に多くの人々が避難したといわれる地元の「竹やぶ」を題材に創作された絵本「ビカドン竹やぶ」を主題とした合唱や音楽劇等を発表し、地域から平和への願いを発信する事業である。平成17年から継続して実施され、子供から高齢者まで多世代の地域住民が世代間交流を図る中で、被爆体験の継承や平和の大切さを伝え合う機会となっている。参加者、ボランティア、観客数は回を重ねる毎に増加しており、「平和」というキーワードを軸に、地域が一体となった住民主体のまちづくり活動につながっている。</p>
52	広島県	たけはらしりつただのうみひがしこうみんかん 竹原市立忠海東公民館	<p>竹原市の東部に位置する忠海東公民館は、平成3年1月に開設され、忠海小学校区内の東部エリアで地域住民の「学びの場」だけでなく、「交流の場」、「地域活動の場」として、地域とともに歩んできた施設である。忠海小学校をはじめ、自治会、地区社会福祉協議会、女性会、子供会など、各種団体と連携・協力のもと、公衆衛生活動、高齢者福祉活動、子育て支援活動、青少年育成活動等を行うなど、生涯学習の成果を生かし、人づくり・地域づくりに積極的に取り組んでいる。</p> <p>「世代間交流（地域交流）“忍者でふたまたご探検”」は、公民館、小学校、子供会、地域ボランティア、保護者等の多くの地域住民が連携・協力し、子供たちの「忍者」になるという夢をかなえ、大人と子供が非日常の体験を共有することで、子供の人間関係形成能力や郷土愛を育む事業である。学校統廃合といった地域の背景を踏まえ、地域の子供を地域みんなで育てることを通じて、地域住民間の「絆」を深め、地域連帯意識の醸成につなげている。</p>
53	広島県	しょうばらしさいじょうちしんこうせんたー 庄原市西城自治振興センター	<p>庄原市西城自治振興センターは、地域課題を解決し地域活性化を図ることを目的として、「もてなし（都市部との交流とローカルビジネス開発の推進）」、「さとやま（地域の環境整備と里山の管理・保全）」、「やすらぎ（高齢者の生活支援や生きがいづくりの推進）」、「まなびとふれあい（地域住民の親睦と人材育成）」の4つのプロジェクトに精力的に取り組んでいる。</p> <p>「やすらぎプロジェクト」は、高齢化率が50%近くある地域の特性を踏まえ、75歳以上の高齢者200世帯を訪問、聞き取り調査を行い、そこで明らかとなった地域や個人が抱える課題解決を図る事業である。おでかけツアー、出前講座、野菜のインターネット販売、農家民泊等の各種取組は、高齢者の生活支援や生きがいづくりに効果をあげ、地域の活性化に大きく貢献している。また、地域課題解決に向けた学びや活動を通じて、若い世代から高齢者まで多くの住民の地域に対する愛着や誇りを醸成し、地域づくりを担う新しい人材育成の取組が進んでいる。</p>

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
54	山口県	いわくにしちゅうおうこうみんかんつづぶんかん 岩国市中央公民館通津分館	「地域の子どもは地域で育てる」「子どもたちに地域に対する愛着心を育む」という視点から、通津分館では、10年以上前から公民館の社会教育指導員が、通津小・中学校へ赴き、公民館事業への理解と協力を求めてきた。 また、山口県では、コミュニティ・スクールが核となり本県独自の取組である「地域協育ネット」の仕組みを生かして、学校・家庭・地域が連携・協働することにより、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」を進めている。 こうした中、通津分館では、公民館を中心とした地域と学校の連絡・協力体制が構築され、家庭教育学級講演会や体験講座、乳幼児家庭教育学級等の公民館活動を学校施設を活用して開催している。
55	山口県	さんようおのだしこうようこうみんかん 山陽小野田市厚陽公民館	平成26年度からの市の正規職員配置に伴い、本県独自の取組である「地域協育ネット」の事務局を学校から厚陽公民館に移し、そのネットワークを活用することとした。こうしたことにより、公民館職員が中心となって手厚くよきめ細かい学校と地域の連携ができるようになるとともに、学校・地域連携のコーディネーターを公民館職員が支援することができるようになった。 現在、厚陽公民館では、これまで以上に地域が学校を支援し、また協働の取組を行うことで、地域総がかりで子どもを見守り、まち全体が活性化する仕掛けづくりを行うことにより、学校・家庭・地域の連携の促進、学社融合を見据えた学校支援の仕組みづくりを推進している。 その他にも、誰もが自由に記事を持ち寄れる協育ネット情報誌「厚陽っ子だより」を定期的に発行することで、具体的な取組の様子を地域に幅広く知らせ、情報の共有化を図っている。
56	山口県	うべしかみうべふれあいせんたー 宇部市上宇部ふれあいセンター	地域行事に参加する住民に偏りや、校区社会教育推進委員会の活動が活発でないなど、センターと自治会活動との連携が取れていなかったが、センターの取組を見直し上宇部校区全体を学びの場とした住民参加の取組を推進している。 センターの学習講座である「まなびーや」をセンターのほか小学校や中学校を会場として開催するなど、多世代が共に高め合う生涯学習の場の提供を図り、それまで関心の薄かった住民の参加のきっかけをつくり、地域を元気にしていく取組をしている。センター職員を核とした地域と学校の連携・協働の体制ができていく。 その他にも、「かみうべまちの駅」では、住民や中学生が参加してまちづくりの方策を共に議論し、アイデアを出し合い、活動へとつなげている。
57	徳島県	あなんしりつとみおかこうみんかん 阿南市立富岡公民館	阿南市立富岡公民館は、地域における社会教育の拠点として、住民、各種団体や幼稚園、小学校と協力しながら、世代間交流を行い、地域の活性化に取り組んでいる。 特に、こども伝統文化体験事業に力を注いでおり、茶道や箏等の伝統文化を子どもたちに体験・修得させることで、次世代に継承し普及させている。また、伝統文化体験を通じて、日常生活における礼儀作法の習得や感謝の心の醸成にもつなげている。さらに、異年齢の子ども同士の交流を通して、社会性や協調性、主体性を養成している。 また、恒例行事となっているイベント等を通じて、地元ボランティア、幼稚園、小学校、PTA、セニアクラブ、婦人会など世代を超えた交流事業を企画し、地域のつながり、地域力の向上に大きな成果を挙げている。
58	愛媛県	せいよしゆすかわこうみんかん 西予市遊子川公民館 【最優秀館】	遊子川地区は、四国山地に位置し、近年著しい少子高齢化・過疎化の影響に悩まされているところであるが、西予市遊子川公民館は、地域住民にとって身近な公的教育的場、相互教育的場、自己教育の場の中心として、各種団体との連携により、地域に根差した活動を推進している。 地域住民自らが地域課題の把握と解決に向け、様々なテーマを設けて開催する学習会「夢かけるフォーラム遊子川」を27年間継続してきたことによって、地域住民が主体となって取り組む体制が構築され、世代や職種などを超えた住民の一体感の醸成につながっている。また、地域の伝統文化の保存・継承に努めて愛郷心を育てるとともに、地域の豊富な森林資源を活用して木工文化を導入したり、地域住民手作りの自主企画映画に挑戦したりするなど、地域のコミュニティ力の向上や持続可能な住民活動に大きな成果が上がっている。
59	高知県	なんこくしりつこくぶこうみんかん 南国市立国府公民館	国府地区は、741年に創建された国分寺を擁し、平安時代の国庁跡、戦国時代の出城跡など、貴重な史跡が数多く残されている。国府公民館では、国府史跡保存会との共催で歴史講座を開催したり、史跡を巡りながら環境美化活動を行う「ふれあい歩こう会」を開催したりするなど、史跡を活用した世代間交流を行っている。 また、かつて行われていた七夕行事を、平成24年度から公民館事業として復活させ、公民館を拠点に、地域で活動している組織・団体と連携して「国分川ふれあい七夕祭り」を開催している。子どもや若者から高齢者まで、幅広い世代が準備の段階から関わっている。 学校や保護者、地域と連携し、小学生を対象にした俳句教室を通して、児童の感性を養い、伝統文化の継承を図る取組など、他の地域のモデルとなる活動を行っている。1000年を超える歴史と伝統を、公民館活動により、地域全体をまき込んで未来につないでいく取組は、特別なものである。
60	福岡県	おおむたしみいけちくこうみんかん 大牟田市三池地区公民館	平成25年から、地域の特性を生かし、歴史と史跡をテーマとした「ふるさと大牟田講座」を開設している。三池地区炭鉱関連施設の世界遺産登録という機会を活かし、これまで以上に市民の故郷に対する愛着と誇りの醸成を図るため、身近な地域資源について学ぶ機会の提供に取り組んでいる。また、講座の構成の工夫、関係者と連携・協働した講座運営によって、受講生の新たな学びを生み出すとともに、成果物が小学校や地域で利用され、郷土に対する愛着と誇りを生み出すきっかけづくりとなっている。 さらに、各講座の反省点を館内において情報共有するとともに、社会教育委員で構成される公民館運営委員会において各事業の点検・評価を実施し、翌年の講座の企画、運営に活かしている。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
61	福岡県	かんだちょうりつきたこうみんかん 荻田町立北公民館	荻田町に多く居住している外国人に対する理解を深め、外国人の孤立化防止と共生可能な仕組みづくりを地域課題とし、「かんだ国際交流ひろば」として実施される本事業は、外国人を取り巻くコミュニティの拡大を生みだし、日本や日本人を身近に感じる「場」の提供につながっている。外国人とのつながりは、公民館を外国人やその家族にとつての相談窓口や情報提供の場として位置づけ、「生きづらさ」の解消にもつながっている。さらに「ひろば」への参加者が講師として講座を持ち、自国の文化を紹介するなど、自信を持って地域社会に参加する姿も見られる。事業運営に関し、公民館運営審議会の意見を反映させ、生涯学習の推進が図られている。
62	福岡県	むなかたしのうそんじょせいのおい 宗像市農村女性の家	「地域の子どもは地域で守り育てる」「巣立った子ども達が将来、吉武地区に戻ってきたいと思える地域をつくる」という明確な理念のもと、各種事業が推進されている。未来の人材育成を目指し、地域住民、学校、関係団体等が連携・協働した総合的な取組が推進されている。学習指導に加え、日常生活に関する躰、地域の伝統文化の保存継承、適切な遊び及び生活の場が提供され、月に1回広報誌において発信することによって、それぞれの立場での事業への関わりが価値付けられている。事業の点検・評価については、役員会、運営委員会、評価委員会、総会の場で行われている。特に寺子屋については、寺子屋学童運営委員会が実施されており次年度の事業運営に活かしている。
63	佐賀県	さがしりつたかぎせこうみんかん 佐賀市立高木瀬公民館	「子どもの声が聞こえる公民館」として、子どもを取り込んだ講座や事業を地域ぐるみで実践している。地域教材を活用した連帯感の醸成に積極的に取り組んでいる。 「探そう！高木瀬の『よか』（＝良い）ところ。～自治公民館めぐり～」では、小学校の5、6年次に、自治公民館をめぐり、地域の良さや魅力について地域の大人から学ぶ取組を平成20年度から実施している。教える大人も事前に調査と学習をすることで、地域の魅力や特色を広い世代が知り、地域の連帯感が高まっている。この取組により、地域に誇りと愛着を持つ小学生や地域の大人が増加している。また、本事業に参加し中学生や高校生となったOB、OGたちが、公民館の他の事業にも協力してくれるようになった。
64	長崎県	ごとうしさきやまちくこうみんかん 五島市崎山地区公民館	平成24年度から、公民館・PTA・学校、婦人会、若者会、老人会を中心に通学合宿を行ったり、地域の伝統である宮相撲(小・中学生相撲大会)を地区の方々から大会前に作法や取り組み方について指導したりするなど、地域と一体になって活動している。 五島特有のお盆の風物詩である念仏踊り「ちゃんこ」を継承すべく、公民館を舞台として地元中学生が地区青年団に指導を受け、市民運動会で成果を披露している。また、土曜学習「みたけっこ」のコーディネーターを公民館主事が担い、科学教室や正月しめ縄作りなど、様々な体験活動を行っている。新春には恒例の「新春子ども百人一首大会」を公民館運営審議委員や地域の方々協力いただき実施している。 このように崎山地区公民館は住民が集い、子供を育て地域も育つ場であり重要な拠点として存在している。
65	長崎県	しまばらしりつすぎたにこうみんかん 島原市立杉谷公民館	25年前の雲仙普賢岳噴火災害の影響により、当時の杉谷公民館は現在地に移転した。同様に島原市立第四小学校も移転となり、二つの施設は敷地を隣接する形でほぼ一体的に整備され、互いに顔の見える、連携する上でも好都合な立地条件となった。 地域に密着した公民館運営に努め、小学校と地域の合同運動会や、町内対抗ソフトボール大会の運営を行うなど地域スポーツ行事や、青少協と天神講書写展を実施するなど地域文化行事への支援を活発に行っている。 女性学級や家庭学級、高齢者学級における応急手当や子育て、健康等各種講座も充実させており、その中でも、地区の若手女性保護者を中心とした「Soyざい(そいざい)」は子どもたちの夏祭りの支援や公民館の事業等にも積極的に協力を行っている。また、従来の地域の社会教育関係団体をはじめ、学校と地域をつなぐコーディネーターとしての役割も担っている。
66	熊本県	なごみまちみかわこうみんかん 和水町三加和公民館	和水町内では、三加和公民館と和水中央公民館を設置。三加和公民館では昭和60年からお姑世代の方々を対象として、月に一度「コスモス学級」を開催している。交流だけでなく生涯学習としての学びの場を提供することで、心身共に健全な育成にも寄与している。さらに、町内の文化振興に寄与するだけでなく、修学旅行といった親睦をさらに深める企画も行われていることで、新たな交友関係を広げ、得意分野の講師をお互いが担い、生きがいの増進にもつながっている。なお、このコスモス学級だけでなく、隣接する和水中央公民館と隔月で「ふれあい大学」も開設している。
67	大分県	おおいたしおおいたなんぶこうみんかん 大分市大分南部公民館	「集う」「学ぶ」「つなぐ」という公民館の任務や役割を十分踏まえた公民館運営がなされており、地域の実情に応じた学びの提供や地域リーダーの育成の支援、各種団体の連携強化が構築され、地域の中核施設となっている。 また、地域の各団体や大学等との協働により企画運営する「体験・学習・すこやか講座『NANBUせせらぎスクール』」により、環境保全やふるさとの自然を見直す場、子どもたちが相互に理解しあう場となり、地域コミュニティの活性化につながり、地域の教育力の向上が図られている。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
68	大分県	ひたしひがしありたこうみんかん 日田市東有田公民館	公民館は市内を流れる三隈川(筑後川)の支流有田川沿いに開けた地にあり、全公民館(20館)共通項目の事業は行いつつ、地域に根ざした新たな事業を展開している。とりわけ、少子高齢化が急速に進む東有田地区(39.5%)にあって、地域を元気にさせた「日本全国難読山名サミット」や「人財バンク登録事業」の取組み、地域のふる里を見直す「郷土史調査研究講座」や「東有田ガイドマップ」の作成、更には、ホームステイをしながらの「国際交流」の推進、そして、地域の方々が公民館に愛着を持ってもらうための「東有田公民館ロゴマーク」の作成等 他の公民館にない特色のある公民館活動を行っている。
69	宮崎県	しんとみちょうちゅうおうこうみんかん 新富町中央公民館	中央公民館では、図書室(平成27年度末まで)を中心とした読書活動の推進や、公民館講座をはじめとする生きがいづくり及び文化活動の推進に取り組んでいる。また、地域の方々や自主的に活動している団体が積極的に活用し、交流の場ともなっている。 平成23年度からは、町民の日々の活動成果を発表する場として、「しんとみ生涯学習フェスタ」を開催している。さらには、社会教育関係団体と連携し、青少年の育成や、スポーツ活動の推進なども行っている。この他にも文化財保護啓発活動や、天然記念物の保護活動も行っている。上記の様々な取組を、公民館職員が地域住民と一体となって推進し、地域住民の学習活動に大きく貢献している。
70	鹿児島県	とくのしまちょうしょうがいがくしゅうせんたー 徳之島町生涯学習センター	徳之島町生涯学習センターは、住民の学習意欲を高める「生涯学習フェア」や方言の日の啓発を目的とした「島口・島唄の祭典」、遠隔地の住民の要望に応える「出前講座」などを開催している。 また、家庭教育を支援するため、家庭教育支援員との連携により、子育てに関する学習・相談の場として「家庭教育サロン”ママnavi”」を開催している。 さらに、公民館講座の日報をもとに点検・評価を行うとともに、事業実施後のアンケート調査により成果と課題を把握し、次の講座等の工夫・改善に生かしている。
71	鹿児島県	かごしましちゅうおうこうみんかん 鹿児島市中央公民館	鹿児島市中央公民館は、多様な利用者の参加促進を図るため、館内のバリアフリー化や託児サービスを設定した講座の開催など、学習環境の整備を図り、年間の来館者数が13万人を超える。 また、住民の学習ニーズに応えるため、近隣の各種施設や企業等と連携し、「中央子ども土曜塾」や「シルバー人生大学」、「知って得する金融講座」などを開催している。 さらに、独自に策定した「公民館事業の自己点検・自己評価の評価基準」をもとに、自己点検・自己評価の結果から課題を明確にし、事業等の工夫・改善を図っている。
72	鹿児島県	かのやしとかさちくがくしゅうせんたー 鹿屋市高須地区学習センター	鹿屋市高須地区学習センターは、立地条件を活用した「ヨット教室」、地域の魅力を発見する「まちあるき発見塾in高須・浜田」など、地域の実情に応じた特色ある講座を開催している。 また、市民講座や同好会の講師や会員は、地域ぐるみで学校を支援する「かのや学校応援団」の学校支援ボランティアとして活用が図られ、学習成果の還元に努めている。 さらに、事業の成果等について内部評価及び外部評価を行うとともに、利用者のアンケートにより、職員の接遇や館内外の環境整備等の点検・評価も行い、改善に努めている。
73	沖縄県	なはしおろくみなみこうみんかん 那覇市小禄南公民館	小禄南公民館は開館以来、地域のコーディネーターとしての役割を担ってきた。平成8年、うるく地域づくり連絡協議会の設立に合わせて、地域の青少年が心身ともにたくましく健やかに育ち、豊かで明るく住みよい地域づくりに重点をおいて活動している。 毎年11月に「小禄地区市民大運動会」を、また2月には公民館まつりの一環として「うるく村あしび」を開催し、地域の交流の活性化を図り、青少年が「ふるさと 小禄」の誇りと自覚を持てるような活動を行っている。公民館を拠点として協議会と連携を取りながら「健全育成」「地域づくり」に取り組んでいる。

## 第68回優良公民館表彰について

文部科学省では、公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められるものを優良公民館として表彰しております。このたび、第68回優良公民館表彰について決定しましたので、お知らせします。

1. 表彰館 占冠村公民館 外76館

2. 表彰式

(日時) 平成28年3月3日(木) 10時00分～14時40分

(場所) 文部科学省第2講堂

千代田区霞が関3-2-2

3. 選考の経過等

都道府県教育委員会から推薦のあった公民館や公民館と同等の社会教育活動を行う施設について、優良公民館審査委員会で審査の上、表彰館とそこから特に優れた活動を行った5館を「優秀館」として文部科学大臣が決定しました。

さらに、表彰式当日、「優秀館」5館の中から「最優秀館」1館を選定するために、会場でインターネットによる中継を行いながら5館が活動内容のプレゼンテーションを行い、インターネット視聴者・会場からの投票結果を踏まえた審査の上で、松江市玉湯公民館が「最優秀館」の栄誉に輝きました。

### 【最優秀館】

松江市玉湯公民館（島根県）

### 【優秀館】

占冠村公民館（北海道）

村山市戸沢地域市民センター（山形県）

蕨市立中央公民館（埼玉県）

佐倉市立中央公民館（千葉県）

第68回優良公民館表彰 表彰館一覧

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	No.	都道府県名	ふりがな 公民館名
1	北海道	しむかつぶむらこうみんかん 占冠村公民館	40	岐阜県	くじょうしりつにしわらこうみんかん 郡上市立西和良公民館
2	北海道	とままえちようこうみんかん 苫前町公民館	41	静岡県	ふくろいしりつふくろいたこうみんかん 袋井市立袋井北公民館
3	北海道	りしりちようこうりゅうそくしんしせつどんと 利尻町交流促進施設”どんと”	42	静岡県	しまだしわかねちくせんたー 島田市川根地区センター
4	青森県	むつしちゅうおうこうみんかん むつ市中央公民館	43	静岡県	はままつしかみきょうどうせんたー 浜松市可美協働センター
5	青森県	あおもりしなみおかのざわこうみんかん 青森市浪岡野沢公民館	44	愛知県	はんだしりつすみよしこうみんかん 半田市立住吉公民館
6	岩手県	もりおかしみるまえちくこうみんかん 盛岡市見前地区公民館	45	愛知県	とよかわしとよかわこうみんかん 豊川市豊川公民館
7	岩手県	くじりつやまねこうみんかん 久慈市立山根公民館	46	滋賀県	ひこねしなかつこうみんかん 彦根市巾地区公民館
8	岩手県	きたかみししょうがいがくしゅうせんたー 北上市生涯学習センター	47	京都府	みやづよしづちくこうみんかん 宮津市吉津地区公民館
9	秋田県	ゆりほんじょうしにせこうみんかん 由利本荘市西目公民館	48	京都府	やわたしりつしょうがいがくしゅうせんたー 八幡市立生涯学習センター
10	秋田県	みさとちようこうみんかん 美郷町公民館	49	京都府	まいづるしじょうなんかいかん 舞鶴市城南会館
11	山形県	しょうないまちあまるめだいにこうみんかん 庄内町余目第二公民館	50	兵庫県	かさいしほくぶこうみんかん 加西市北部公民館
12	山形県	むらやましとざわちいきしみんせんたー 村山市戸沢地域市民センター	51	兵庫県	ささやましこうみんかん 篠山市公民館
13	福島県	しらかわしちゅうおうこうみんかん 白河市中央公民館	52	奈良県	ならしりつつきがせこうみんかん 奈良市立月ヶ瀬公民館
14	福島県	すかがわしにしぶくこうみんかん 須賀川市西袋公民館	53	和歌山県	はしもとしこうやくちくこうみんかん 橋本市高野口地区公民館
15	福島県	いなわしるまちたいけんこうりゅうかん(まなびいな) 猪苗代町体験交流館(学びいな)	54	鳥取県	ととりしりつとうごうちく(こうみんかん) 鳥取市立東郷地区公民館
16	茨城県	つくばしふれあいプラザ	55	鳥取県	くらよしさいごうこうみんかん 倉吉市西郷公民館
17	栃木県	とちぎしにしかたこうみんかん 栃木市西方公民館	56	島根県	まつえしたまゆこうみんかん 松江市玉湯公民館
18	群馬県	いたくらまちちゅうおうこうみんかん 板倉町中央公民館	57	岡山県	つやましじょうさいこうみんかん 津山市城西公民館
19	群馬県	たかやまむらこうみんかん 高山村公民館	58	岡山県	びぜんしりつりこうみんかん 備前市立伊里公民館
20	埼玉県	はんのうしかじひがしこうみんかん 飯能市加治東公民館	59	広島県	はつかいちしはらしみんせんたー 廿日市市原市民センター
21	埼玉県	ながとるまちちゅうおうこうみんかん 長瀬町中央公民館	60	広島県	じんせきこうげんちようしんせきこうみんかん 神石高原町神石公民館
22	埼玉県	わらびしりつちゅうおうこうみんかん 蕨市立中央公民館	61	広島県	くれしみやはらまちづくりせんたー 呉市宮原まちづくりセンター
23	千葉県	さくらしりつちゅうおうこうみんかん 佐倉市立中央公民館	62	山口県	しゅうなんしながおこうみんかん 周南市長穂公民館
24	千葉県	かしわしちゅうおうこうみんかん 柏市中央公民館	63	山口県	ほうふしまつさきこうみんかん 防府市松崎公民館
25	千葉県	よこしばかりまちちようみんかいかん 横芝光町町民会館	64	山口県	すおうおおしまちようとうわそうごうせんたー 周防大島町東和総合センター
26	神奈川県	あつぎしりつむつあいきたこうみんかん 厚木市立睦合北公民館	65	徳島県	あなんしりつおのこうみんかん 阿南市立大野公民館
27	神奈川県	さがみはらしりつせいしんこうみんかん 相模原市立清新公民館	66	愛媛県	やわたはましりつせんじょうちくこうみんかん 八幡浜市立千丈地区公民館
28	神奈川県	よこすかししょうがいがくしゅうせんたー 横須賀市生涯学習センター	67	佐賀県	たけおしたちばなこうみんかん 武雄市橋公民館
29	新潟県	むらかみしちゅうおうこうみんかん 村上市中央公民館	68	佐賀県	さがしりつこせこうみんかん 佐賀市立巨勢公民館
30	新潟県	かりむらこうみんかん 刈羽村公民館	69	長崎県	させぼしはいきちくこうみんかん 佐世保市早岐地区公民館
31	富山県	ひみしくほこうみんかん 氷見市窪公民館	70	長崎県	まつうらしりついまふくこうみんかん 松浦市立今福公民館
32	富山県	たてやまちようりつしんせとこうみんかん 立山町立新瀬戸公民館	71	熊本県	ひとよししなかはらこうみんかん 人吉市中原公民館
33	石川県	かがしりつかたやまづこうみんかん 加賀市立片山津公民館	72	大分県	なかつしいまづこみにていーせんたー 中津市今津コミュニティーセンター
34	石川県	ななおしたかしなこうみんかん 七尾市高階公民館	73	宮崎県	ひゅうがしほそまこうみんかん 日向市細島公民館
35	福井県	ふくいしあこうみんかん 福井市安居公民館	74	鹿児島県	かごしましたけ・たがみこうみんかん 鹿児島市武・田上公民館
36	福井県	おおいちようりつなたしちようこうみんかん おおい町立名田庄公民館	75	鹿児島県	いぶすきしりつおみこくこうみんかん 指宿市立魚見校区公民館
37	福井県	いけだちようのうがくのさとぶんかこうりゅうかいかん 池田町能楽の里文化交流会館	76	鹿児島県	ひおきしみやまちくこうみんかん 日置市美山地区公民館
38	長野県	とうみしちゅうおうこうみんかん 東御市中央公民館	77	沖縄県	やえせちようちゅうおうこうみんかん 八重瀬町中央公民館
39	岐阜県	とくしりつつるさとこうみんかん 土岐市立鶴里公民館			

…公民館
  …公民館と同等の施設
  …最優秀館
  …優秀館

# 第68回優良公民館被表彰公民館一覧(平成27年度)

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
1	北海道	しむかっぶむらこうみんかん 占冠村公民館【優秀館】	恵まれた自然環境から育まれた農作物や林産資源をどう活かしていくかについて、地元産業への関心はあまりなく、教育現場においては、子どもは幼少期から限られた文化・スポーツしか経験できない中で生活しており、危惧する声もでている。 このような中、地域連携活性化事業などにより、大学や専門家の協力を得ながら、村や各団体と連携し、地域住民がこの村ならではの産業、教育、文化のあり方を考え、地域の特性を活かして元気のある村、子供が健やかに育つ村、次代へ引き継げる村作りを進めている。 各事業については、課題や指標を明確にし今後の事業展開に活かされている。 また、職員の研修については、道公民館大会をはじめ、他の研修などにも積極的に参加している。
2		とままえちようこうみんかん 苫前町公民館	町民が地元を誇りを持ち、健康で互いに助け合う明るいまちづくりを実現するため、地域の教育力の向上を目指し、社会教育事業や学校の授業を企画・実施する「苫前町学社融合事業」などの取組をすすめて、地域の「自然の活用」、「人材の活用」、「施設の活用」、「地域行事の活用」など地域に開かれた学校としての取組を推進している。 また、公益財団法人北海道生涯学習協会が行う道民カレッジ連携講座「ほっかいどう学」を遠隔通信により中継し、公民館講座として町内2カ所で開催している。 各事業については、内部評価や外部評価を実施し、議会に報告するとともに、地域住民への公表を行い、今後の事業展開等に活かしている。 職員研修については、道公民館大会に運営審議委員と例年参加するなど、他の研修についても積極的に参加している。
3		りしりちようこうりゅうそくしんしせつどんと 利尻町交流促進施設“どんと”	人口減少や少子高齢化の課題を克服し、活力ある地域社会の実現が求められる今、利尻町の次代を担う人材を育てるために、一人一人が主役となる「自分づくり」、「まちづくり」に視点をあて、町民自らが生活課題や地域課題などの解決を目指す学習活動を展開している。当該施設は、町民の学習活動の拠点として、また、公民館と連携しながら、各種多様な学習機会の提供に取り組んでいる。 各事業については、社会教育委員の会議において事業内容の報告、調査、評価シートを基に内容、成果と課題、改善等について協議し、次年度の事業実施に活かしている。
4	青森県	むつしちゅうおうこうみんかん むつ市中央公民館	むつ市中央公民館は、受講生が講座の課題設定や講師の選定など自主的に行う市民参加型の「むつ市民大学」、専門的知識や技術の習得を図りながら指導者育成や自主学習グループ育成を目指す「ゼミナール」、女性の視点から地域の生活課題を考え、課題解決のために必要な知識・教養・技術の習得を目指す「婦人学級」等、「自ら学び、自ら運営する」を目標とした事業を継続して実践している。 また、平成26年度から、消防署と連携し、災害時の備えを目的に、避難場所での生活体験や防災について学ぶ「子ども防災キャンプ」を実施している。 以上のように、生涯学習の拠点として地域住民の学習活動に大きく貢献している。
5		あおもりしなみおかのざわこうみんかん 青森市浪岡野沢公民館	青森市浪岡野沢公民館は、旧浪岡町地区に6館ある公民館の一つで、公民館の対象人口が2,703人と、少子高齢化の影響を受けながらも、浪岡野沢小学校との共催事業等による地域活性化に取り組み、年間総来館者数は5,000人を超えている。 郷土芸能をはじめ、各種楽器演奏、一輪車、作品づくりなど、これらのサークル活動はどれも地域住民のニーズによるものであり、公民館職員と住民の協働体制によって支えられている。また、事業連携団体には、サークル以外に小学校、児童館、地元企業、障害者施設、大学等があり、公民館を中心とした社会教育活動及び地域活性化の推進力となっている。 以上のように、生涯学習の拠点として地域住民の学びに大きく貢献している。
6	岩手県	もりおかしみるまえちくこうみんかん 盛岡市見前地区公民館	盛岡市見前地区公民館は、昭和30年に旧都南村の第一公民館として設置される。その後、平成4年に盛岡市と都南村が合併、盛岡市見前地区公民館と改称される。平成9年に盛岡市津志田に新築移転し、現在に至っている。旧都南村時代から地域との密着度が高く、地域に開かれた公民館として、地域住民のニーズや現代社会の課題に対応した事業を展開してきた。とりわけ、生涯学習関連施設、福祉関連施設、大学等の高等機関や地区内の小中学校及び地域内自治公民館など関係団体と連携した事業（「青少年健全育成シンポジウム」、「中学生地域活動ボランティア学習会」など）に積極的に取り組み、地域の教育力の向上と住みよい地域づくりの支援に努めている。
7		くじりつやまねこうみんかん 久慈市立山根公民館	久慈市山根町は人口357人、世帯数175、平成25年度に山根小中学校が閉校となるなど高齢化と過疎が進んでいる小規模の地域であり、山根公民館は地域住民が集い、学び合うことができる唯一の場となっている。 公民館主催事業の他にも、地域団体と連携しての活動が多く、小規模地域の特性を生かした活動を展開している。中でも町民文化祭は、公民館講座の参加者や公民館と連携して活動している地域団体が一堂に会し発表する場であり、地域住民の半数以上が参加する地域最大のイベントとして定着している。同時に年1回の地域住民全体の交流の場にもなっている。 また、平成26年度に県北地区教育振興運動推進研修会、平成27年度に第2回岩手県公民館大会で活動実践を発表し、他市町村公民館の事業推進に寄与している。
8		きたかみししょうがいがくしゅうせんたー 北上市生涯学習センター	北上市生涯学習センターは市民の学習意欲に応え、多方面から支援している。 環境、国際、医療、経済などの現代的課題について、理解を深める機会として、市民で構成する運営委員会が企画段階から参画する北上市民大学を開講している。 経済や法律などの専門分野に係る、最新の研究成果に触れる場として、地元の大学教授を講師とした富士大学北上市民セミナーを開催している。 グループ、企業及び団体等の自主的な生涯学習を促進するため、出前講座を実施している。 広報やホームページなどを通じて市民を対象として生涯学習情報を提供している。 また、サークルや団体と連携し、生涯学習市民の集い「遊・YOU学園祭」を開催している。市民の学びの成果を発表するとともに、その輪を市全体に広げる活動を行っている。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
9	秋田県	ゆりほんじょうしにしめこうみんかん 由利本荘市西目公民館	高齢者の単身世帯が増えてきた現状に対し、傾聴ボランティア養成講座を実施した。講座には地元高校生が世代の違う一般参加者と共に受講し、幅広い年代が「傾聴」というボランティア活動を通して、住民の交流機会の創出と地域人材の育成に取り組んでいる。 地域住民が利用しやすいように、他地区より開設時間を延長するなどの工夫もみられ、登録活動団体数や利用者数も多い。
10		みさとちょうこうみんかん 美郷町公民館	ボランティアを派遣する住民活動センター「みさぼーと」と連携したり、子どもを対象とした体験活動を企画運営する地域人材「みさと世話好きマイスター」の活躍の場を設定したりして、地域ぐるみで子どもを育む体制づくりに努めている。 公民館の四つの学習講座の修了者のうち、三つの自主活動サークルができたように、グループ立ち上げや活動への支援も行われている。学びのきっかけづくりと成果の還元により、「知の循環型社会の構築」に取り組んでいる。
11	山形県	しょうないまちあまるめだいにこうみんかん 庄内町余目第二公民館	庄内町余目第二公民館は、陶芸を中心とした創作活動や展示・発表のできる「創造の館」としての特色を持ち、平成6年に三地区の統合館として開館した。以来、陶芸作品を創るだけでなく互いの作品を鑑賞したり、家庭で使用して楽しむことも目的として多くのサークルにより主体的な創作活動が継続的に行われており、庄内町余目第二公民館は町の芸術・文化振興の役割を担うとともに、地域住民の学び・交流の場として親しまれ、広く活用されている。現在は、地域・学校・団体等からなる「第二学区地域づくり会議」が公民館事業の主体的運営の役割を担い、住民のニーズと主体性を生かした事業に取り組み、住民の生きがいづくりを視野に据えた生涯学習の推進と活力ある地域づくりを目指している。
12		むらやましとざわちいきしみんせんたー 村山市戸沢地域市民センター【優秀館】	戸沢地域市民センター(旧戸沢地区公民館)は、平成15年に「戸沢まちづくり協議会」を組織し、生涯学習部会が中心となり、地域の将来像となる「地域計画」を策定した。また、地域単位としては極めて珍しい「生涯学習地域宣言」を行うなど、文化・スポーツ活動推進をはじめとした先駆的な公民館・生涯学習活動を数多く実践している。特に、「戸沢地域学講座」、「東北の戸沢めぐり」、「戸沢五輪(オリンピック)」、地域の食文化「ひっぱりうどん研究所」の設立などは独創的であり、さらに「戸沢の歴史人物伝」、「戸沢の石碑石仏」の編集発行、地元小学校と連携し作成した「未来に伝えたい方言番付70+」、「地域の名所名品番付100選」等は、特筆すべき実績といえる。
13	福島県	しらかわしちゅうおうこうみんかん 白河市中央公民館	住民のニーズや時代のトレンドをいち早く察知し、市民が学びたいと思うような講座を取りそろえ、毎年多様な講座を開講し、住民の生涯学習の拠点となっている。 また、講座を修了した受講生たちが、その後自主的に活動し学びが継続するよう、「クラブ」の設立を積極的に支援してきた。 設立や運営を支援してきた各クラブの代表者による「クラブ会長会」が、会員相互の親睦を目的に始めた「公民館盆踊り大会」は、旧市内で途絶えていた盆踊り大会を復活させ、地域の伝統行事の保存継承、また、多世代の交流や中心市街地活性化という地域課題を解決する糸口にまでつながった点、他に類を見ない取組である。
14		すかがわしにしふくろこうみんかん 須賀川市西袋公民館	学社連携の事業として、4つの事業を行い、小・中学校との連携を進め、伝統文化の継承や世代間交流を図り、地域の活性化に結びつけている。 特に、「ジュニアボランティア養成講座」は、中学校との連携を図りながら、公民館事業や市内で開催する事業に中学生がボランティアとして関わり、体験活動や地域の人との交流の中から、人間性・社会性を育成し、故郷を愛する思いや奉仕の心を培う場を提供している。 また、企業や他部局と連携しながら効果的に講座開設、運営をしている点や公民館報も毎月発行し、地域住民に情報の発信を行っている。
15		いなわしろまちたいけんこうりゅうかん(まなびいな) 猪苗代町体験交流館(学びいな)	幼児から高齢者までを対象とする各種講座は、町民のニーズ、地域課題等を的確に把握しながら町民に学ぶ楽しさ、生きる喜びを促し、大きな成果を収めている。 また、猪苗代町体験交流館の運営ビジョンと行動目標を明確に設定し、体験交流協会の意見を踏まえて、PDCAサイクルによる事業評価・事業改善を行いながら、各種講座・教室を計画、実行している。 特色ある事業である「学びいな夏・秋祭り」は、各学習者がその成果を発表する機会として位置づけるとともに町民全体が体験や鑑賞を通して生涯学習や文化に対する意識を高め、さらに学ぶとする意欲の高揚に大きな成果をあげている。
16	茨城県	つくばしふれあいプラザ つくば市ふれあいプラザ	つくば市ふれあいプラザは、平成17年の開館以来生涯にわたる学習活動を総合的に支援してきた。その中で、希薄化する世代間交流・地域コミュニティの活性化が地域的な課題となり、この課題解決のため、平成22年から子ども・親・祖父母といった三世代が参加し、地元の偉人である「間宮林蔵」を題材とする演劇を実施することにした。この事業は、専門家や地域の学習グループなどの参加を年々得て、好評を得ている。平成28年2月には、つくば市、つくばみらい市、茨城県県南生涯学習センターと連携し、2日間にわたり地域活性化フォーラムを実施した。 また、各種講座・事業等も受講者の意見を取り入れ、自己点検に努め、講座案内を工夫するなど意欲的な事業を展開している。



No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
17	栃木県	とちぎしにしかたこうみんかん 栃木市西方公民館	栃木市においては、学校・家庭・地域の連携協力を組織的に発展させ、より効果的に「学校支援」や「地域の絆づくり」を図る「とちぎ未来アシストネット」(以下「アシストネット」という。)を推進している。西方地域では、このアシストネットを推進するため、当公民館に西方地域本部(西方地域教育協議会)を置き、学校教育関係者と地域社会教育団体代表者が意見交換会や共同で研修会を開催したり広報活動を行っている。特に、地域からの学校支援ボランティア活動のみならず、中学生が地域内の小学校の運動会や地域行事である子ども夏まつりなどに積極的にボランティア活動に参加するなど、大人から子どもまで当公民館が拠点施設となり、地域コミュニティの絆を強くするため学校・家庭・地域・公民館が一体となったまちづくりを推進している。
18	群馬県	いたくらまちちゅうおうこうみんかん 板倉町中央公民館	板倉町中央公民館は、町の中心部に位置しており、図書館、ホール等の役割を兼ね備えた文化会館的な役割を担っている。 地域の方々や公民館利用者、学生などの協力により、子どもたちの学校外での居場所作りや体験活動及び自主的な学習の場として公民館を活用している。このことにより、郷土愛や次世代を担う子どもたちの「生きる力」を育成するとともに、地域住民の連帯感や安心安全なまちづくりに寄与している。 町の地域コミュニティの中心的な存在として、子どもからお年寄りまでいきいきと集える憩いの場として、生涯学習の向上に大きく貢献している。
19		たかやまむらこうみんかん 高山村公民館	高山村公民館は、住民の生涯学習や交流活動の拠点として誰でも気軽に利用できる公民館運営とともに、青少年の健全育成を強く推進している。これまで読書推進には力をそそぎ、図書相談員や読み聞かせボランティア等の活動により公民館図書室と小中学校図書室の密な連携による充実した活動が行われている。 さらには、小中学生の英語教育を支援するため公民館を会場に、小学生は土曜学習で、中学生は月曜放課後教室としてALTや地域の指導者の協力も得て英会話学習を行っている。 地域の実情や住民ニーズに即し、13ある地区公民館や関係機関と連携協力して魅力ある地域づくり・人づくりに大きく貢献している。
20	埼玉県	はんのうしかじひがしこうみんかん 飯能市加治東公民館	入間川を挟んで保育所から大学までが近接する文教地域であるとともに、近年開発が進み、新旧住民が混在する地域に立地している。コミュニティが希薄になりつつある地域の課題を解決するために、自然環境を生かしながら、関係団体との連携のもと特色ある事業を積極的に実施している。 地域に残る豊かな自然環境を題材とした小学生対象の「自然観察会」をもとに、中学生から高齢者までのボランティア等の地域人材の活用や関係団体との連携を行い、世代間交流を図りながら、地域コミュニティの発展を図っている。
21		ながとろまちちゅうおうこうみんかん 長瀬町中央公民館	住みよいまちづくり、生きがいづくり、生涯学習の拠点としての「公民館」、働く青少年の福祉増進と余暇活動の場としての「勤労青少年ホーム」、住民の憩いと交流の場としての「コミュニティセンター」の三つの機能を持つ複合施設として、特色ある事業を実施している。 全国平均を上回る地域の高齢化率に対応するため、高齢者を対象とした曲に合わせた体操や、指先を使った工作、「脳トレ」などの体・指・頭を使う三拍子揃った「健康体操教室」を継続的に実施することで、高齢者の健康づくり、介護予防事業に積極的に取り組んでいる。
22		わらびしりつちゅうおうこうみんかん 蕨市立中央公民館 【優秀館】	蕨市教育委員会が埼玉県で初めて開講した「日本語ボランティア養成講座」を、平成11年度からは中央公民館が中心となって継続的に実施している。 蕨市は在住外国人の割合が高く、日本語や日本文化を学びたいという需要も大きい。こうした需要に応えるために、中央公民館ではボランティアサークルと共催で日本語ボランティア養成講座を開催しており、この講座を修了したボランティアによる日本語教室が市内各公民館で開設されている。 なお、日本語教室は、在住外国人が日本語を学ぶ場としてだけでなく、子育て・医療等の生活関連情報の交換の場としても機能し、また地域住民との交流を通じた多文化共生のまちづくりに大きな役割を果たしている。
23	千葉県	さくらしりつちゅうおうこうみんかん 佐倉市立中央公民館 【優秀館】	昭和22年に旧佐倉町が設置した佐倉町公民館を前身とし、市内6公民館の中心館として、佐倉市のまちづくり活動を担ってきた。現在、登録されているサークルは475団体、活動回数は4,080回、延べ参加者数は93,377人となっており、様々な活動を展開している。 平成4年に、「実践を通して生涯学習のできる場」となることを目的に、四年制高齢者大学の「佐倉市民カレッジ」が開設された。前半の2年間は、「であい課程」として、主に一般教養を学び、後半の2年間は、「専攻課程」として、講義と実践を通して卒業後も地域で活動することを目標にして学ぶ。市民カレッジからは、これまでに20期、約1,800人が卒業しており、多くの方が市民活動団体を組織し、福祉施設や学校及び公民館等で、様々なボランティア活動を実践している。
24		かしわしちゅうおうこうみんかん 柏市中央公民館	昭和56年に開館以来、地域住民が自ら考え行動できる地域社会の形成のために、人と人をつなぎ、学びや交流を通して市民の力を高め、豊かなまちづくり、人づくりに資する「まちづくりの拠点」を担っている。現在、幼児から高齢者まで、幅広い層の世代が参加できる、83講座を立案し、多様な学習環境を整備している。 平成14年に実施したITリーダー養成講座の受講者が、ボランティアとして企画・運営・講師までを行う「パソコン講座」は、「市民の学習成果の発表の場」や「市民の学習を支援する人材育成の場」になっている。中でも、まちづくりをテーマにした「企画講座」では、多くの団体が参加し、ITをツールとした「まちづくり活動」に資する魅力ある講座が展開された。また、公民館の現代課題講座として平成26年度に実施した「社会教育委員企画講座」は、社会教育委員にとっても、地域住民の学習ニーズ等について多角的な理解を深める機会となった。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
25	千葉県	よこしばひかりまちちょうみんかいかん 横芝光町町民会館	昭和59年に開館以来、地域課題の解決及び人づくり・まちづくり活動のために地域と共に歩み、幼児から高齢者を対象とした様々な魅力ある講座を実施し、現在、約2万5千人の市民を対象にして、多様な学習機会を提供している。 「親子講座」では、未就学児親子と一緒にダンスや調理体験等を行うことで、親子の絆を一層深めることや保護者同士が子育ての悩み等を共有する機会になっている。また、地元の農家や大学及び研究機関と連携を密にとりながら、果実の収穫等の農業体験やハロウィンパーティでの留学生との交流及びペットボトルロケット製作等の科学実験を行うことで、地産地消といった食育や国際理解教育、科学体験を行う貴重な機会にもなっている。
26		あつぎしりつむつあいきたこうみんかん 厚木市立睦合北公民館	睦合北公民館は、地域住民の要望を的確に把握しながら、現代的な課題を踏まえた事業を展開している一方で、自然に恵まれた地域環境を活かした事業を行っている。 また、事業を展開するに当たっては、近隣の高等学校や小・中学校をはじめ、ジュニアリーダーズクラブや地域の諸団体などと協働することによって、相互の絆をより強くすることに取り組み、地域の重要な交流拠点としての役割を果たしている。 特に、毎年3月に実施している青少年スポーツ教室では、学校教育と社会教育の連携を深めることで地域の教育力の向上を図り、地域の未来を担う青少年に豊かな体験活動の機会を提供し、人づくり、地域づくりに努めている。
27	神奈川県	さがみはらしりつせいしんこうみんかん 相模原市立清新公民館	清新公民館は、昭和33年に清新小学校内に事務所を置いて発足。小学校教諭が公民館主事を兼任し、地域住民と一緒にあって、事業を実施していたが、昭和57年に現公民館建物が完成し、専任の市職員を配置して活動を開始した。設立当初から、社会教育の場としてだけでなく、自治会や社会福祉協議会等の地域団体との連携による事業展開など、まちづくりの拠点としての活動も盛んに行っている。 当公民館では、地域住民で組織する専門部員を中心に事業評価を行い、常にリニュー アルしながら事業を実施している。新規事業の「おとなの遊び場」は、公民館を取り巻く社会状況の変化や、地域住民のニーズの多様化に対応するため、孤立しがちな高齢者男性を呼び込む事業内容となっている。
28		よこすかししょうがいぐくしゅうせんたー 横須賀市生涯学習センター	横須賀市の生涯学習推進拠点施設として、社会教育主事任用資格を有する職員を中心に事業の拡充に努め、学習の場の提供、市民大学講座をはじめとする多様な社会教育・生涯学習振興のための学習機会の提供、情報収集提供と学習相談の充実に努めている。さらに、まなび情報の登録講師の地域デビューと地域活動支援、地域活動サポーターの養成と自主活動への支援など、学習成果地域活用事業に取り組み、社会教育と学びによる人づくり、地域づくりを行っている。 また、行政、学校、各種団体、事業者等が構成する地域の中心機関である逸見地域運営協議会に参加し、地域の活性化を図る按針フェスタ等の事業に協賛し、協働で開催している。さらに利用者や地域団体とのまなびかんまつりの協働開催など地域づくりに貢献している。
29	新潟県	むらかみしちゅうおうこうみんかん 村上市中央公民館	村上市は、新潟県の最北端に位置し、平成20年4月1日に旧5市町村が合併し新「村上市」となった。当該公民館は、生涯学習推進センター内に設置され、「ひとづくり・地域づくり・まちづくり」の拠点として、あらゆる世代の人に学習情報を提供し、自発的な生涯学習活動を促すことを目的として各事業に取り組んでいる。 「市民協働のまちづくり」を進める中で、市民の企画を取り入れた現代・地域課題について学習する機会を積極的に取り入れている。「むらかみ市民講座」を新設し、企画提案型事業としている。特に、近年の課題となっている「環境」と「防災」について、積極的に学習の機会を提供している。フィールドワークを取り入れ、講義での学びと実際の状況を比較し学びを深められるよう工夫している。
30		かりわむらこうみんかん 刈羽村公民館	刈羽村は、人口約4,700人の農村地帯である。当該公民館は、生涯学習センター内に設置されている。農村地帯であるが、核家族化が進み、地域のつながりが希薄化してきているという現状を踏まえ、世代間交流や住民同士の交流による地域の活性化を図れるよう、事業に取り組んでいる。 地域の伝統文化の良さを体験・発見してもらえるよう「もちつき大会」、「昔遊び体験」、「かるた選手権(地域資源を題材としたかるたを使用)」の特色ある事業を実施している。また、地域への愛着を深めるために、地元のもち米を使用するなど工夫している。地元団体との連携も密である。当該公民館が、村民のニーズに対応した講座を提供し、広報活動を積極的に行っている成果として、公民館の年間利用者が多い。
31	富山県	ひみしくぼこうみんかん 氷見市窪公民館	多年にわたり、公民館活動を積極的に展開し、地域活性化の中核施設として、学校・社会教育施設・地域住民と連携しながら、地域の紐帯の役割を担っている。 ここ近年は、ふるさとを学び知る事業として、歴史や文化の再発見に力を入れている。平成22年度から氷見市教育委員会と連携して3ヶ年継続して事業を実施したり、旧窪村のあゆみや校区の方言を調査した「窪校区の成り立ちと方言」を村内全戸に配布したりと意欲的に事業を実施した。平成25年度以降は、ふるさとを学び知る事業を発展させ、身近にある豊かな自然に視点を当て、ホテル観賞会や日の出ウォーキングなど数多くの事業を実施している。また、毎年恒例の大運動会や公民館祭りなどを継続実施するなど、地区住民にとってなくてはならない存在の公民館となっている。
32		たてやまちょうりつしんせとこうみんかん 立山町立新瀬戸公民館	地域に継承されている伝統文化や伝統行事、そして豊かな自然を活かした様々な学習活動を、各種団体と連携しながらふるさと学習として推進しており、地域や家庭の教育力向上を図っている。 特に、県委託事業「公民館親子で高志の国探検事業」では、親子で体験する身近なふるさと学習や自然体験学習を積極的に推進している。 公民館親子で高志の国探検事業の3つの活動(親子で自然とのふれあい体験、池田浄瑠璃に挑戦、紙芝居づくりに挑戦)に143名が参加し、地域に伝わる池田浄瑠璃の伝承活動や自然体験を通して、子供たちの豊かな心を育み、地域への愛着を深めるなど、子供たちと地域を結ぶ拠点として、大きな役割を果たしている。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
33	石川県	かがしりつかたやまづこうみんかん 加賀市立片山津公民館	地域の特性を生かした事業に積極的に取り組み、子どもと高齢者、住民同士が触れあえるように工夫している。制作した「片山津かるた」は、地域の歴史や特徴を捉えたかるたであり、小学校の授業で活用し、かるた大会を老人会、子ども会、女性協議会等で実施している。また、広報誌にもかるたの句を掲載しており、住民は楽しみながら地域の歴史を学び、郷土愛を育てている。 特に、環境問題については、地域全体で柴山潟の清掃活動に取り組み、小学生や幼稚園児が絶滅危惧種に指定されている水生植物を育成、植栽するなど、継続的に取り組んでいる。
34		ななおしたかしのこうみんかん 七尾市高階公民館	少子高齢化・過疎化が進行する中、地域の特性を生かして、子どもと住民同士の触れあいを通じ、地域コミュニティの絆を強めている。また、例年、ジャンボかぼちゃを栽培し、収穫体験や重量当てクイズを子どもから大人まで地域全体で行っている。 特に、「菜の花の里づくり事業」では、七尾市のシンボル花である菜の花を生かした事業を実施している。子どもたちが地域住民の支援を受け、菜の花栽培や菜の花を肥料とした稲作を行うほか、菜種油で調理実習等の体験活動を通して、子どもは地域との関わり合いや食育について学び、ふるさとへの愛着を深めている。
35	福井県	ふくいしあごこうみんかん 福井市安居公民館	安居公民館は、子どもから高齢者まで幅広い世代の地域住民と積極的に連携・協働して事業を運営している。特に、人と自然が織りなす地域づくりに向けて、子どもたちの学びを支え、自らも学習する成人対象の「安居の里を守る会」事業の実践においては、小学生対象の「A GOで遊ぼう！」の活動を指導・支援する事業、成人だけで実施する事業、また学校や団体・関係機関と連携した事業を実施している。いずれも末更毛川(みさらげがわ)に生息するホタルを地域資源ととらえ、15年以上にわたって「企画シート」「ふりかえりシート」などを活用したPDCAサイクルによる改善を積み重ねてきたことで、着実な発展が認められる事業である。公民館主催事業から始まった環境講座が、市民団体(安居の里を守る会)活動へと発展し、指導助言に大学教授を迎えるなど、環境学習と郷土学習を融合した教育事業として展開している。
36		おおいちょうりつなたしょうこうみんかん おおい町立名田庄公民館	名田庄公民館は、平成23年10月1日に設立した複合施設「おおい町里山文化交流センター」に事務所を移し、地域住民のニーズに合わせた多種多様な活動を展開している。公民館に生涯学習推進委員会を立上げ、委員による住民の立場での講座を発案・企画する生涯学習推進事業を開催している。「名田庄多聞の会」は、10年間で開催回数が30回を数えるなど地域において定着した事業となっている。時代に応じて常に新たな講座内容を企画したり、講師を発掘したりと、地域住民による豊かな発想や活動力を活かし、地域に根差した活動を継続して行ってきた。また、推進委員としての企画・運営の経験を活かして委員独自に事業を開催するという展開を見せている。平成23年12月の里山文化交流センター開館記念では、住民の自主事業として委員経験者が開催した「コンサート」では600名が来場した。
37		いけだちょうのうがくのさとぶんかこうりゅうかいかん 池田町能楽の里文化交流会館	池田町は古くから受け継がれている国指定重要文化財「水海道楽能舞(みずうみでんがくのうまい)」をはじめ、町内各地に41面の古面が残されているなど能にかかわる文化が根付いている。能楽の里文化交流会館では平成9年度より「能楽の里 池田」から全国へ能を発信しようと、全国に先駆けて新作能面公募展を行っている。平成26年度まで延4,641名、6,437点の能狂言面が応募されている。平成26年度13回公募展においては208名、402点の応募があった。また、現在においても30名前後の新規出品者がみられる。規模において全国随一である。教育委員会、図書館、公民館の社会教育複合施設である会館大ホールは、特設能舞台を組むことが可能で、能面公募展、能公演を開催できる施設として事業を展開しており、全国に「能楽の里 池田」を発信するとともに、面を打つ方々の交流と研鑽の場となっている。
38	長野県	とうみしちゅうおうこうみんかん 東御市中央公民館	東御市は、長野県の東部に位置し、小県郡東部町と北佐久郡北御牧村の2町村が合併して、平成16年4月1日に誕生した。東御市中央公民館では、公民館講座を計画する上で、日ごろの利用者や各学級・講座の受講生・講師との会話から興味や内容への要望を知り、新しい内容の掘り起こしや内容の向上につながる配慮をしている。 「青少年を対象とした講座」は、子どもたちに学校以外の様々な人々との交流や社会活動、体験活動の機会を提供し、日常生活への充足感や自ら学び考える力を養うことを目的としている。学校との連携をとりつつ、地域に根ざした子どもたちの将来を見据えた企画・運営を行なっている。
39	岐阜県	ときしりつつのさとこうみんかん 土岐市立鶴里公民館	少子高齢化が進む人口1500人の鶴里町で、「多くの人が集うことのできる地域づくり・子どもたちがたくさん地域の人と触れ合いながら成長することができる地域づくり・みんなで声を掛けあって日々を健康に過ごすことのできる地域づくり」の中核となっている。 特色ある事業として「自然と郷土を愛するまちづくり」を目標として、ホタルの里づくりの会を中心に住民が主体的にホタルの里づくりに取り組み、集大成として6月に「ホタルまつり」を開催している。学習活動の成果を協働による地域づくりの実践に発展させ、大人にとっても子どもにとっても地域に愛着と誇りの持てる事業となっている。 地域づくり、郷土を愛するまちづくりの一環として、講座に取り組み、地域の人々による行事にまで広めたことは大きな成果であり、年間のホタル育成計画が綿密で、地域の特色として自然環境保護活動を継続している。
40		くじょうしりつにしわらこうみんかん 郡上市立西和良公民館	対象人口が約600人であり、少子高齢化の地区であるが、保育園や中学校が閉校となる中で唯一残っている小学校と強く連携し、郡上市を代表する伝統芸能である「郡上おどり」のおはやしジュニア学級や書初め会、地域全体で防災に取り組み「防災キャンプ」など公民館における小学校の活動を大切に行っている。また地域住民と小学校の交流事業や、小学校行事と公民館行事を合同で実施するなど、地域住民みんなで地域の子どもの育み、地域が一体となって公民館を核として強い絆を培っている。 地域社会に根差して公民館活動が行われ、多くの世代の方々が活動に参加し、絆を深め、地域の活性化を目指して計画的な実践がなされており、公民館と各種団体、各種団体と他の団体とのつながりを密にすることで各種地域行事の開催を公民館活動と一体化し推進している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
41	静岡県	ふくろいしりつふくろいきたこうみんかん 袋井市立袋井北公民館	袋井北公民館区域は、市の中心部に位置し、近年宅地化が進み、地区外からの転入者を中心に住民数の増加が著しい地域となり、住民意識が多様化し、地域社会のつながりの希薄化も目立ち始めている。 そこで、地区内関連団体と連携し、「明るい笑顔と楽しい会話がはずむ」を合い言葉に、地域住民が集うイベントとして「北ふれあいまつり」「ふれあい体育祭」「芸能発表会」「新春作品展」などを開催し、地域コミュニティ活動の中心として積極的に取り組んでいる。また、公民館を拠点とした「北公民館どろんこ教室」では、小学校児童を対象に野外活動や自然体験等の様々な活動を通じて、親子や地域の大人とのふれあいを深めるとともに、郷土の自然と文化に親しみ、生活や地域との関わりを見つめ直すことにより、豊かな感性を持った青少年の育成を地域ぐるみで目指し、実践している。
42	静岡県	しまだしかわねちくせんたー 島田市川根地区センター	川根地区センターは島田市家山地区にある施設で、隣接施設には島田市立川根小学校、島田市役所川根支所がある。川根地区の中心部といえる場所に位置し、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の方が集い、学び、交流する生涯学習の拠点施設となっている。 川根地区の豊富な自然を活かし、里山ウォーキングを実施している。月1回程度開催している事業で、登録者は80人を超える。地元の自然を実際に見て・触れることで、普段は意識することのない地域の資源や課題を発見でき、地元住民の意識向上へとつながっている。また、参加者には仕事を退職した年齢層も多く、他の講座では少ない男性の参加者もいる。ウォーキングを通し、心身ともにリフレッシュできる場、仲間づくりの場として受講生から大変需要の高い事業である。
43		はままつしかみきょうどうせんたー 浜松市可美協働センター	可美地区は、浜松市の南西部に位置し、自動車メーカーを中心に工業が発達した地域であり、多くの関連会社や各種の事業所が存在している。また比較的市の中心に近いことで、集合住宅も増え住宅地域として広がりをみせている地域である。 可美協働センターは、「地域に根ざした活動」「青少年健全育成事業の充実」「新たな利用者の拡大や同好会づくり」を運営の重点目標として、生涯学習の推進に取り組んでいる。 協働センターの特色として、子供たちの健全育成を目指し、地域で活動している団体との共催で様々な催しを行っている。回数を重ねることにより地域に密着し、共通の目的をもって活動することで地域のまとまりが強くなり、地域コミュニティの育成に貢献している。
44	愛知県	はんだしりつ すみよしこうみんかん 半田市立住吉公民館	住吉公民館は、地域のニーズを捉え活動に反映できるように地域から推薦された住民を市教育委員会が職員として委嘱し、館の管理運営を委任している地区公民館の一つである。14ある地区公民館のなかでも、住吉公民館は、市の中心部である商業地区として発展している地域を対象地区とし、地域の絆づくりと地域力の向上を目的に多世代の住民の交流を積極的に進めている。区域が広いこともあって、住民同士の連携が取りづらいという課題解決を図ろうと、ウォーキングを市外で開催するなど独自の企画運営に努めている。また、高齢者が家にこもらないよう声かけ運動を進め、女性一人でも気軽に参加できる学習講座を開催したり、受講後も学びを継続できるようサークルの発足をサポートしたりしている。
45		とよかわし とよかわこうみんかん 豊川市豊川公民館	豊川公民館は、東部中学校区のコミュニティ拠点として置かれる社会教育施設であり、市民の学習と交流の場として開館し、今年で38年目を迎えた。市内に置かれる公民館の中で最も来館者数が多く、幼児から高齢まで幅広い年齢層に利用され親しまれている。地域住民が講師となる「放課後子ども教室」ならびに「地域生涯学習講座」を始めとした講座や、様々なサークル活動の場として、事業の見直しを行いながら、豊かな文化的教養を身につける機会を提供し続けている。また、地元を当てる歴史講座では、多くの住民の協力を得て、好評であったほか、公民館まつりでは毎年多くの来場者を迎えているなど、生涯学習活動の推進ばかりではなく、地域の活性化に大きな貢献・成果があった施設である。
46	滋賀県	ひこねしなちくこうみんかん 彦根市中地区公民館	中地区公民館は平成20年度から指定管理者制度を導入、地域の施設は地域で管理運営するという考えのもと、中地区公民館エリア内自治会、利用者、地域に関心のある方による「中地区交流の館運営協議会」を組織し、地域密着型の活動を展開している。地域住民が住んでよかったと実感できる活動、よりよい地域をつくる活動等を行っている。地域づくりの中核としての位置づけ、地域情報の発信センターとしての役割をもつ。特に青少年の健全育成と高齢者のくらしやすい環境づくりに役立つ活動に重点を置いている。子育て支援やまちづくりの講座・相談等の事業にも取り組んでおり、住民目線で、現場主義、地域に密着した運営管理を行うことで、より質の高いサービスを提供し、地域文化活動・社会活動の拠点、また、自治活動の補完施設として、その役割を十分発揮している。
47	京都府	みやづしよしづちくこうみんかん 宮津市吉津地区公民館	地域住民の生涯学習の拠点として、誰もが健康で楽しく豊かに生活できるよう積極的に学習機会、場の提供を進め活動している。「親子ドッジボール大会」「グラウンドゴルフ＆ウォーキング」など、2世代・3世代交流活動に力を入れ、子ども達の健全育成を目指した取組を実施している。 特に平成26年度は、地域の「吉津げんき会」と共催で、子ども達に地域(須津)の歴史・文化を見直し、郷土愛を育むため「須津の民話(全15話)」をまとめ、冊子にする取組を実施している。 また、地域住民の健康増進普及のため、「認知症予防トレーニング」、「座ってできる健康体操」などを開催する他、市で行っている健康広場事業とタイアップし、住民の健康寿命の延伸を目指して、毎月1回インターバル速歩を取り入れたサンデーウォーキングを開催し、活力ある地域づくりの推進に大きく貢献している。
48		やわたしりつしょうがいがいしゅうせんたー 八幡市立生涯学習センター	市民に対する学習情報の提供と相談機能を充実し、様々な分野にわたる学習活動の推進に努めている。また、市民の自発的な学習活動やボランティア活動の促進に努めるとともに、公民館等社会教育施設や大学等との連携を進め、現代的課題に関する学習活動の推進を図っている。 子どもから高齢者まで、すべての市民を対象として幅広く事業を実施している。また、親子や子どもを対象とした事業を数多く開催するなど、家庭教育支援や子どもの居場所づくりにつながる取組にも力を注いでいる。 多くの市民に学習の機会を提供できるよう、広報誌を年6回発行し全戸配布するなど、積極的に情報発信している。また、「生涯学習開講式」や「生涯学習フェスティバル」では、記念講演の講師の選定を工夫するなど、市民の学ぶ意欲を高めている。 市内にある公民館とコミュニティセンターの取組を総括し、相互連携・協調を図りながら、特色ある事業を行えるよう支援に努めている。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
49	京都府	まいづるしじょうなんかいかん 舞鶴市城南会館	開設される前年度から、公募市民と行政による「運営方法を考えるワークショップ」が開催され、住民主導の運営が行われるよう、運営委員会やボランティア会の設置などが提案された。閉館後は、この提案に基づき、城南会館運営委員会(平成26年度より「運営会議」と名称変更)が設置され、地域や学校等と密着した事業が切れ目なく活発に実施されており、幅広い層に対する学習機会の充実、並びに様々な主体との連携を含む地域コミュニティの発展・充実に努めている。 また、「城南キャンプ」では、地域の人々や他地域・学校の仲間とも交流しながら、自然体験活動を通して共同作業、野外活動を経験する場を提供し、参加児童・生徒の自尊感情の向上に貢献している。 また、定期的に運営会議を持ち、地域からの意見や要望の把握に努めている他に、会館だよりを年4回発行し、広く市民に向けて広報している。
50	兵庫県	かさいしほくぶこうみんかん 加西市北部公民館	加西市北部公民館では、障害の種類や程度による参加制限を設けない「障がい者教室(みんなで遊ぼう)」や、在宅で介護をされている方の勉強会「楽・笑・介」を開催している。これらは地域住民からの要望を受けて開催した講座で、参加者やボランティア間に新たな交流が生まれるなど、地域の課題解決並びに福祉の向上に大きく寄与している。
51		ささやましこうみんかん 篠山市公民館	「中央図書館」や「子育てふれあいセンター」などと連携しながら、事業実施をするなど、横のつながりを意識した公民館運営がされている。講座生自らがサポーター役となり、「丹波ささやまおもしろセミナー」の講師を担うなど、学んだ知識を地域のために広げたり、風呂用の「桶」を利用したニュースポーツ「桶ッぽ(おけっぽ)卓球」を考案し、地域の温泉施設とともに特色を活かした活動を行うなど、市民に多様な学びや活動の機会を提供している。
52	奈良県	ならしりつつきがせこうみんかん 奈良市立月ヶ瀬公民館	当該公民館は、公益財団法人奈良市生涯学習財団が指定管理者として管理・運営を行っている施設である。同財団は、職員の持つ社会教育・生涯学習に関する専門的な知識・経験を活かし、市内の生涯学習センターと23公民館の指定管理者として多彩な事業を実施している。 月ヶ瀬地域は、若者が地域を出るなど毎年少しずつ人口が減少し、また少子高齢化が進み人口の約40%が高齢者となっている他、独り暮らしの家や空き家が増えている。一方で名勝月ヶ瀬梅林があり、観光産業にも力を入れており、梅林の歴史と共に梅加工の歴史も古く、豊富な種類の梅製品を生産していることに加え、農作物を作る技術も優れている。発展性のある豊かな土壌をもっているが、こうした現状において、公民館では、地域資源を活用し住民の力で地域を活性化していくことが喫緊の課題であり、そのためには住人が元気で生きがいを持って生活することが大切であると考え、地域を巻き込んで「プチ田舎暮らし・月ヶ瀬」に取り組んだ。この事業を通して、講師を務めた地域住民と講座の参加者に交流が生まれ、月ヶ瀬の魅力の発信や月ヶ瀬を訪れる人も増加し、地域の活性化につながっている。
53	和歌山県	はしもとしこうやくちくこうみんかん 橋本市高野口地区公民館	橋本市の教育方針の中に「持続可能な社会の担い手を育む教育(ESD)の推進」「人が育ち合う、共育のまちづくりプラン」というものがあり、高野口地区公民館においても、「ESDの視点に立った公民館活動」を実施している。例えば、ゴミ問題や老人福祉問題など、地域課題の解決策をみんなで話し合う「高野口を語ろう!」という生涯学習シンポジウムや、外国人居住者や海外での生活体験のある日本人から現代外国事情を聞き、他国の文化を理解するとともに、「多文化共生」をめざす「高野口インターナショナルフェスタ」などを開催し、公民館を拠点として住民自らが積極的に「住みよいまちづくり」に参画している。
54	鳥取県	とっとりしりつとうごうちくこうみんかん 鳥取市立東郷地区公民館	小学校や保育所への支援活動をしたり、地域住民をも巻き込んだ交流活動を演出したりする公民館活動は、学校と地域の連携を強くする取組となっている。 地域の特徴・課題を十分に把握し、小地域ならではの取り組みを各種民間団体等とうまく連携し、参加住民が楽しめる仕掛け作りをして地域全体が盛り上がるように心がけている。活発に活動する保護者等を地域の各種組織・団体が支えており、世代を超えた取組となっている。人口が少ないことを逆手に取り、地域の将来を見据えた、自然・防災・つながりをキーワードにした事業を実施している。 地区住民、特に若い保護者層を中心に縦横のネットワークをつくり、ふるさとの誇りづくりに貢献している。さらに関係性が深まり、継続的な取組となるよう努めている。
55		くらししさいごうこうみんかん 倉吉市西郷公民館	「アイラブ西郷」を合言葉に、住民の学習要求や社会の変化に応じた生涯学習の充実をめざし、連帯意識のある明るく住みよい地域づくりに取り組んでいる。地域課題解決に3年計画で取り組む倉吉市研究指定事業を活用し、「防災」をテーマに高い専門性と計画性のある研修事業を推進している。 様々な研修、マップ作りを通して地区住民への防災意識を高め、各自治公民館のリーダーを育成するとともに様々な団体、組織と連携して地域の課題を共有し、支えあう人づくりに取り組んでいる。 地域住民にとって必要な防災対策のソフト面でのアプローチであり、有意義な取組であるとともに、防災マップを作成したり、防災訓練をするなど具体的な活動につながっている。
56	島根県	まつえしたまゆこうみんかん 松江市玉湯公民館 【最優秀館】	地域代表者29名による公民館運営協議会を設置し、公民館活動を企画・運営する6の部門が設けられている。事業実施後のアンケートや住民による公民館評価を分析し、活動に活かしている。 地域の行事に若者の姿がほとんど見られなかった玉湯地区で、平成18年の文化祭に中学3年生が参加したことをきっかけに、中・高校生グループ「たまゆンパースくらぶ(通称:たまめん)」が結成され、以後9年間継続し、会員数も136名と大きな広がりを見せている。親子を対象にした「星空観察会」や小中学生を対象にした「夏休み勉強会」などの事業を主催したり、公民館や子ども会の活動を積極的に支援したりしている。 「公民館便り」や「たまめんNEWS」による活動周知、青少年育成協議会・子ども会連合会が中心の「たまめんサポーターズ」の結成、「たまめん合宿」開催によるメンバー同士のつながり強化の場の設定など、公民館を中心とする後方支援が「たまめん」の継続や広がり大きな効果を発揮している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
57	岡山県	つやましじょうさいこうみんかん 津山市城西公民館	城西公民館は、公民館を核としたまちづくり、子育て支援、高齢者支援等の様々な事業を進めており、人々が集い、学び、仲間とつながる地域の拠点施設となっている。また、まちづくり協議会等の各種団体の事務局として様々な情報の集積と発信を行っており、地域課題の解決やまちづくりを進めるコーディネーターの役割を果たしている。 特色あるすぐれた取組として、誇りのもてるまちづくり、地域住民同士のつながりづくりのために「城西まるごと博物館フェア」を城西公民館が中心となって開催している。また、高齢者が歩いて買い物に行ける店が近くに無くなり、高齢者が自分で手押し車を押して買い物に行ける場所を提供したいという地域住民の要望を受け、まちづくり協議会に所属するNPO法人と協力して、毎月1回「野菜と魚の市」を開催している。
58		びぜんしりついでりこうみんかん 備前市立伊里公民館	伊里公民館は、少子高齢化に伴う地域の活力低下という地域課題の解決のため、種々の活動に取り組んでいる。地域の人々をつなぐ活動としては、地域の各主体に働きかけ、様々な事業を共催し、地域の人々の交流だけでなく、高齢者や子どもを活動に取り込むことで、多様な世代の活躍の場を提供している。その一例として、公民館が事務局である地区体育振興会が開催する地区マラソン大会や駅伝競走大会では、公民館が中学校に働きかけ、大会を学校行事に位置付けてもらい、生徒全員が選手やボランティアとして参加するといった仕掛けを行っている。また、過去に地域で子どもの荒れが顕著であったことを端緒に始まった、20年近く取り組むJR駅でのあいさつ運動や登下校で児童、生徒を見守る「青少年健全パトロール」事業等、子どもたちの健全育成活動にも積極的に取り組んでいる。このように地域の人々を有機的に結び付ける、地域の「ハブ」として機能している伊里公民館は、他の公民館の範となっている。
59	広島県	はつかいちしはらしみんせんたー 廿日市市原市民センター	昭和60年に開館(平成27年「原公民館」から名称等変更。)した地域における生涯学習とまちづくりの拠点施設である。少子高齢化が進むなかで、「原を想う」「原に住みたい」と思い、将来のまちづくりの担い手となる子供を地域全体で育てることが地域の喫緊の課題であると捉え、豊かな地域資源(自然や人)を活用し、地域ぐるみで、乳幼児期から学齢期までの子供の健全な育みを応援する環境をつくり、まちづくりや地域・家庭の教育力向上の取組を推進している。 親子サポート事業「はらきっず&ママカレッジ」では、幼児を対象とした自然体験学習等を通じ、未就園児の学習と親同士の関係を広げる場をつくり、子育てを応援する取組を行っている。住民から活動場所である田や畑を借りたり、活動のサポートをしてもらったりするなど、地域人材を積極的に活用し、地域との連携による地域の魅力を発信する事業づくりを進めている。
60		じんせきこうげんちょうじんせきこうみんかん 神石高原町神石公民館	本公民館は、神石高原町の北西部の高齢化率50%を超える地区に位置し、地域と密着した地道な公民館活動を行っている。地区の自治振興会や各種団体、学校等と連携を図り、通学路の防犯パトロール、あいさつ運動、放課後子供教室の実施等、地域ぐるみで子供を育む取組を行うほか、地域の宝を探す「じんせき高原学びネットふれあいJ-OX」講座、食育や食文化に関する教室等、多数の事業を開催し、地域の文化や歴史を次世代に伝える取組を推進している。 いきいきふれあい教室では、若者の都市部への流出や少子高齢化が進み、伝統的な生活様式の継承が困難になる中、最も身近で大切な「食文化」に着目し、郷土食や伝統食の掘り起こしとそのレシピ化等、食の伝統・文化を伝承する事業を実施。活動の成果は、「神石高原町残しておきたいおふくろの味」として発刊され、学校給食メニューへの導入や地産地消活動等、幅広く活用されている。この事業を通じ、参加者や地域住民の意識が変わり、地域の生きがいづくりやまちづくりへとつながった。現在は、後継者の育成や次の冊子発刊を目指し、新たな取組を進めている。
61		くれしみやはらまちづくりせんたー 呉市宮原まちづくりセンター	昭和43年に「宮原公民館」として開館し、平成26年に「同まちづくりセンター」へ移行した、市民協働のまちづくりと生涯学習を推進する地域の拠点施設である。まちづくり推進委員会を中心に、「宮原ホタルの里」の整備や「宮原ホタル祭り」に取り組むほか、地域住民の交流の場であるお茶の間サロン「さらく亭」の開設等の高齢者への支援や、若年層の利用促進を目指した子供や若者対象の事業に力を入れるなど、世代間の交流等を通して地域課題解決の取組を推進している。 地区内の学校と緊密に連携し、市教育委員会のキャリア教育事業(中学生の職場体験)を活用して、地域の小学生を対象とした講座(夏休み宿題ラストスパーク教室)を中学生自身が企画・運営・指導する事業に結び付けて、「夏休み宿題ラストスパーク教室」「科学研究やりとげ講座」等を行い、次世代の地域リーダー育成の取組を進めている。
62	山口県	しゅうなんしながおこうみんかん 周南市長穂公民館	人口減少や高齢化による地域課題に向けて、「共助」による地域の維持・活性化を図る取組を支援し、安心して暮らせる地域づくりを進めている。 具体的には、「住みよい長穂をつくる協議会」の活動を中山間地域振興担当課と連携しながら支援し、長穂地区独自の地域活性化計画である「長穂地区夢プラン」の実現に向けて事業を推進している。主な事業としては、「地域内外との交流促進」や、「名物野菜や料理の開発」「広報活動の推進」などの取組が挙げられる。 また、公民館主催の「真夏の学校」と地域主催の「星空観望会」を合同開催することで、世代間の交流の機会を創出し、地区の子ども達と大人の交流を深めている。
63		ほうふしまつざきこうみんかん 防府市松崎公民館	地区の生涯学習推進協議会の活動に合わせ、「挨拶標語コンクール」を実施し、親子がともに標語作成に関わり、学校と地域が一体となった活動を行うことで、気運の醸成を図った。入選作品は公民館報への掲載や、地区のふれあい祭りでの表彰、幟旗でのPRを行い、地域の「明るいまちづくり」に貢献している。 また、毎月、女性学級や家庭教育学級、高齢者教室を開催し、受講者にアンケートを実施し、住民の多様なニーズに対応できるような内容で実施した。 運営審議会等で、次年度へ向けた改善計画を作成するなど、PDCAサイクルによる事業の見直しを行い、小中学生と講座生・サークル生との交流の場を設けることや、高齢者を狙った詐欺など喫緊の事案への対応を図ることなどが計画され、実施されている。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
64	山口県	すおうおおしまちょうとうわそうごうせんたー 周防大島町東和総合センター	<p>少子高齢化などにより、周防大島町の基幹産業である農業従事者が減り、子どもたちの農業体験も減っている。そこで、豊かな自然を生かし、地域住民や文化施設の協力を得て、放課後子ども教室に農業体験を取り入れ、力を入れて活動した。地域住民を講師として招いたり、一緒に農作業を行ったり、ものづくりを体験したりすることで、世代間交流を図るだけでなく、周防大島の魅力の再発見につなげている。また、子どもたちだけでなく、高齢者にとっても、ボランティア等で活躍することで、地域の絆づくりや健康増進に役立っている。また、活動後にはアンケート実施し活動を見直すとともに、活動報告書や通信を作成し、広く広報活動も行っている。</p> <p>また、かがやき塾を実施し、高齢者を中心に受講生が集まり、地域の絆づくりに効果を上げている。</p>
65	徳島県	あなんしりつおおのこうみんかん 阿南市立大野公民館	<p>阿南市立大野公民館は、地域における社会教育の拠点として、住民、各種団体や幼稚園、小学校と協力しながら、伝統行事や世代間交流を行い、地域の活性化に取り組んでいる。</p> <p>地域活性化の取組として、各事業への参加者、各種団体、小学校、地域住民からの意見・要望を取りまとめ、参加者数、経費等を基に評価を行うと共に、他公民館や他市町村でおこなっている事業内容も参考に、住民のニーズに応じた事業実施に努めている。</p> <p>特に、「阿南西部公園七夕まつり」は、大野地域の恒例行事として、地元ボランティア会、幼稚園、小学校、特別支援学校、PTA、セニヤクラブ、民生児童委員会、婦人会、消防団等、世代を超えた、大野町民全体での交流事業となっており、地域のつながり、地域力の向上に大きな成果を挙げている。</p>
66	愛媛県	やわたはましりつせんじょうちくこうみんかん 八幡浜市立千丈地区公民館	<p>千丈地区公民館では、地域住民が「自分たちの地域は自分たちでつくる」という意識で、地域活動、ボランティア活動等を運営・展開している。特に地域が一体となって実施する、公民館まつり、球技大会、地域文化祭、敬老会等は参加者が多く、心豊かなふるさとづくりに成果をあげている。</p> <p>また、青少年の健全育成を目指し、学校との連携を深めて、地域全体で「地域の子どもは地域で守る」体制づくりに取り組んでおり、登校時のあいさつ運動、下校の見守り、3世代交流事業等を熱心に行っており、地域の大人が地域の子どもを守り育てるという意識が地域に根付いている。</p> <p>毎年恒例行事として実施している「七草粥会」は、「伝統の新春行事を子どもたちに受け継いでもらいたい」という強い思いから始まり、長年続いている。保育園児から高齢者まで集まる地域交流事業であり、地域活性化を図る取組の一つである。</p>
67	佐賀県	たけおしたちばなこうみんかん 武雄市橋公民館	<p>橋町は、少子高齢化・人口減少が進んでおり、地域コミュニティの衰退が大きな課題である。地域が常襲水害地であることから、東日本大震災以降、自助、共助の取組みの必要性や地域防災を目指すうえで地域コミュニティの重要性を認識してきた。</p> <p>たちばな防災講座では、「防災」という地域課題をテーマに、県立生涯学習センター、市、市教育委員会、国土交通省武雄河川事務所を巻き込んで、防災について住民が学ぶ講座を開催した。その成果を受けて、本年度から、市、市教育委員会、河川事務所と連携した、有効に機能する自主防災組織づくりのための講座を継続して展開している。</p>
68		さがしりつこせこうみんかん 佐賀市立巨勢公民館	<p>巨勢校区は、道路拡張、商業施設の設立、宅地造成などここ10数年で大きく変化したため地域関係の希薄さが目に付くようになった。そこで子どもを中心に据えたまちづくりを地域に呼びかけ、地域ボランティアの育成や各種団体の連携強化をはかることに力を入れている。</p> <p>巨勢っ子を育む豊かな地域づくり事業では、巨勢っ子のためにと各種団体と協力しながら活動(ラジオ体操会、ハイキング、工場見学、子どもの現状啓発活動、子どもワークショップなど)をしていることで、公民館と各種団体、又団体間の連携が密になり、地域講師の充実や地域から子ども講座へのアイデアが出るなど支援が充実している。</p>
69	長崎県	させばしはいきちくこうみんかん 佐世保市早岐地区公民館	<p>早岐地区公民館が対象とする地域は佐世保市の東部に位置し、区域の面積は8km<sup>2</sup>。人口は約22,000人9,500世帯で、東部地区の中心的役割を担っており、早岐の町を中心に団地が周辺部に広がっている。</p> <p>早岐地区公民館は26年度、98団体が定期的に利用し、年間110,000人、1日当たり300人が利用した。主催講座についても6つの講座を計57回実施し、総数1,656人が参加した。</p> <p>若いお母さん方が参加できるようよう託児を行い、作品作りや、料理を通して世代間交流をはかっている。</p> <p>25年度からの「夏休み体験教室」は、日ごろ公民館で活動している生花、絵画教室、ダンスなどのサークルに地域の小学生が参加し、サークルと小学生の交流、礼儀やマナーなどを学ぶ体験講座を開催している。</p>
70		まつうらしりついまぶくこうみんかん 松浦市立今福公民館	<p>人口減少と高齢化が進む中、今福公民館では商工青年部、婦人会、老人会、社会福祉協議会など地域の各種団体と協力しながら地域の活性化に取り組んでいる。</p> <p>特に地区社会福祉協議会と連携した今福町民文化祭の開催、老人会などと連携した世代間交流事業の実施、学校・保育園と連携した英語教室の開催など、地域における社会教育の拠点として住民が楽しく参加し、学び、交流を深める事業の展開に努めている。</p>
71	熊本県	ひとよししなかはらこうみんかん 人吉市中原公民館	<p>中原公民館は、非常勤職員2人の小さな公民館であるが、高齢化社会の対応を模索しながら、たくさんの方が参加できるような独自の講座を開講している。特に、多様なジャンルを網羅した「雑学笑科(見とこ 聞いとこ 知つとこ)」は、募集人員を超える希望があるなど人気である。</p> <p>また、高齢化が進む中、地域住民が生き生きと健康に暮らしていける地域づくりに取り組み、地域課題の解決に積極的に貢献している。中でも男女共同参画の観点から、男性の料理教室への参加者が増えるよう、薫製教室を開講している。ここでは、釜づくりから取り組み、美味しい薫製ができるようにすべての工程を参加者が体験できるよう工夫している。</p> <p>この他にも、蒟蒻作りや玉葱植え、いんげん収穫等の食に関する講座や3B体操や社交ダンス、大人のラジオ体操等のスポーツに関する講座、子どもダンスや子ども折り紙等の子ども向け講座等も実施している。</p>

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
72	大分県	なかつしいまづこみゆにゆーていーせんたー 中津市今津コミュニティーセンター	<p>今津コミュニティーセンターは、市の公民館条例に位置づけられた社会教育施設である。センターには、住民自主組織の運営委員会があり、「わが町の公民館」として日常の学習活動や環境整備など自治的な管理運営がされている。</p> <p>特色のある事業として、「今津校区ふれあいわいわい祭り」は、それぞれ別々に実施していた祭りを公民館が主導して学校、老人会、公民館の祭りが統合され、現在は校区の一大イベントとなっており、毎年約800人が参加し、校区の地区間、三世代間の交流の場となっている。</p> <p>さらに、地域づくりにおいては、住民主導型の「いきいき今津まちづくり協議会」が平成26年7月に設立され、6つの部会を組織して地域課題の解決にあっている。センターはこの事務局として、協議会活動の広報、部会員の募集等により、協議会を支えている。</p>
73	宮崎県	ひゅうがしほそしまこうみんかん 日向市細島公民館	<p>市内の公立公民館(7館)の一つとして、市民を対象に各種主催講座を実施している。講座の実施に当たっては、幅広い年代に対し学習の機会を提供できるよう配慮しており、また、子ども達と高齢者の交流を図るなど、世代間交流の促進も図っている。</p> <p>また、管轄する細島地区のまちづくり活動を支援するため、地域で組織する「HOSOSHIMAまちづくり協議会」に事務局として参加し直接的、間接的に支援している。協議会が実施する地域おこしのための様々な行事に公民館職員が参加し、地域に密着した活動を実施しており、細島公民館が細島地区にとって、なくてはならない中核となる施設となっている。</p>
74		かごしましたけ・たがみこうみんかん 鹿児島市武・田上公民館	<p>昭和55年5月に開館以来、武・田上地域の生涯学習拠点施設として地域住民を中心に多くの市民に愛されており、「笑顔とあいさつ 共に輝く 出合いの館 武・田上」をキャッチフレーズに、市民が利用しやすい館の運営に努めている。</p> <p>特色ある公民館経営として、武・田上地域の自然や文化等を生かしたり、社会教育施設や学校、関係機関等との連携を図ったりした少年講座や親子講座を実施している。また、地域総合文化祭においては、地域の小中学生(6小、4中)が実行委員となり、企画・運営するユースドリームフェスティバルを開催する等、青少年の健全育成及び家庭教育の充実に貢献している。</p>
75	鹿児島県	いぶすきしりつうおみこうこうみんかん 指宿市立魚見校区公民館	<p>地域に密着した条例公民館として、「魚見はつらつカラオケ講座」等の校区民のニーズにあった公民館講座を実施し、生涯学習の場として多くの住民に活用されている。</p> <p>特に、地域の自治公民館や学校、校区内各種団体等と濃密な連携をとり、「魚見わくわく学習塾」や「あいさつ・声かけ運動街頭指導」など、青少年の健全育成を目的とした活動も幅広く展開しており、放課後や土曜日などに、子どもたちが遊び場として立ち寄りなど大変親しまれている公民館である。また、市の公共図書館の配本を活用し、子どもの読書活動推進にも力を入れており、子どもたちの図書室利用も多い。</p>
76		ひおきしみやましくこうみんかん 日置市美山地区公民館	<p>美山地区公民館では、異世代間の交流事業を通して、高齢者の社会参加や地域福祉等の推進に取り組んでおり、地域住民による寿学級(高齢者学級)、成人学級、女性学級等の自主的・自発的な活動を展開している。</p> <p>公民館が地域住民の学習と交流の場として、地域の保育園、小学校、児童養護施設、その他の関係団体との連携を図り、地域社会の連帯感を培う役割を担うなど、地域住民参画による地域課題の解決に向けた取組を推進し、明るい地域づくりに貢献している。また、最近では、竹の垣根づくりや空家の改修によるコミュニティサロンの開設にも着手している。</p>
77	沖縄県	やえせちやうちゅうおうこうみんかん 八重瀬町中央公民館	<p>八重瀬町中央公民館には、平成26年度は35のサークルが登録し、八重瀬町公民館利用団体連絡協議会が中心となり活動しており、各サークルのみならず自治公民館との連携・交流が図れるようにしている。中央公民館と自治公民館との連携に、中央公民館サークル所属者が中心となって自治公民館で活動したり、年に1回開催される「公民館まつり」では、サークル会員だけでなく、各自治公民館館長や地域で活動する老人クラブ会員で構成される愛好会の参加もあり、地域との連携がとれるようにしている。また、中央公民館の子ども向け講座を自治公民館で実施し、地域の子も達が参加しやすくしている。サークル活動を通じた地域との連携が図られており、生涯学習の振興に寄与しているといえる。以上、学習環境の整備に積極的に取り組み、地域住民の学習活動の支援や地域の課題解決に資する活動を継続的に行っている。</p>



## 第67回優良公民館表彰について

文部科学省では、公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められるものを優良公民館として表彰しております。このたび、第67回優良公民館表彰について決定しましたので、お知らせします。

1. 表彰館                      羅臼町公民館 外76館

2. 表彰式

(日時) 平成27年3月4日(水) 10時00分～14時40分

(場所) 文部科学省第2講堂

千代田区霞が関3-2-2

3. 選考の経過等

都道府県教育委員会から推薦のあった公民館や公民館と同等の社会教育活動を行う施設について、優良公民館審査委員会で審査の上、表彰館とそこから特に優れた活動を行った5館を「優秀館」として文部科学大臣が決定しました。

さらに、表彰式当日、「優秀館」5館の中から「最優秀館」1館を選定するために、会場でインターネットによる中継を行いながら5館が活動内容のプレゼンテーションを行い、インターネット視聴者・会場からの投票結果を踏まえた審査の上で、大竹市立玖波公民館が「最優秀館」の栄誉に輝きました。

### 【最優秀館】

大竹市立玖波公民館（広島県）

### 【優秀館】

羅臼町公民館（北海道）

杉並区立社会教育センター（東京都）

中川村公民館（長野県）

佐賀市立神野公民館（佐賀県）

第67回優良公民館表彰 表彰館一覧

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	No.	都道府県名	ふりがな 公民館名
1	北海道	らうすちょうこうみんかん 羅臼町公民館【優秀館】	40	静岡県	しまだりつかなやこうみんかん 島田市立金谷公民館
2		てしかがちょうこうみんかん 弟子屈町公民館	41		はままつしとみつがきょうどうせんたー 浜松市富塚協働センター
3		ちとせりつちとせこうみんかん 千歳市立千歳公民館	42	愛知県	にしおしきらちょうこうみんかん 西尾市吉良町公民館
4	おおわにまちちゅうおうこうみんかん 大鰐町中央公民館	43	あましじもくじこうみんかん あま市甚目寺公民館		
5	岩手県	もりおかしまつそのちくこうみんかん 盛岡市松園地区公民館	44	京都府	むこうしちゅうおうこうみんかん 向日市中央公民館
6		かねがさきしょうほくちくこうみんかん 金ヶ崎町北部地区公民館	45		きょうたんごしたんごちいきこうみんかん 京丹後市丹後地域公民館
7		はなまきししょうがいぐえんとしかいかん 花巻市生涯学園都市会館	46		うじししょうがいぐくしゅうせんたー 宇治市生涯学習センター
8	秋田県	みたねちょうやまもとこうみんかん 三種町山本公民館	47	大阪府	たかいしりつちゅうおうこうみんかん 高石市立中央公民館
9		すかがわしおしおえこうみんかん 須賀川市小塩江公民館	48		きしわだりつちやまだいちくこうみんかん 岸和田市立山直地区公民館
10	福島県	ふくしまあづまがくしゅうせんたー 福島市吾妻学習センター	49		くまとりこうりゅうせんたー 熊取交流センター
11		みなみそうましたかひらしょうがいぐくしゅうせんたー 南相馬市高平生涯学習センター	50	兵庫県	こうべりつたまつみなみこうみんかん 神戸市立玉津南公民館
12	かみすしちゅうおうこうみんかん 神栖市中央公民館	51	にしのみやしりつちゅうおうこうみんかん 西宮市立中央公民館		
13	栃木県	とちぎしいわふねこうみんかん 栃木市岩舟公民館	52	奈良県	ならしりつとみおみなみこうみんかん 奈良市立富雄南公民館
14		まえばししきよさとこうみんかん 前橋市清里公民館	53		はしもとすだちくこうみんかん 橋本市隅田地区公民館
15	群馬県	たかさきしやなかこうみんかん 高崎市矢中公民館	54	鳥取県	くらはししなだてこうみんかん 倉吉市灘手公民館
16		みさとまちちゅうおうこうみんかん 美里町中央公民館	55		だいせんちょうなわこうみんかん 大山町名和公民館
17	埼玉県	わらびしりつみなみこうみんかん 蕨市立南公民館	56	島根県	まつえしやくこうみんかん 松江市八雲公民館
18		はにゅうしむらきみこうみんかん 羽生市村君公民館	57		岡山県
19	千葉県	うらやすしほりえこうみんかん 浦安市堀江公民館	58	たかはしりつたかはしこうみんかん 高梁市立高梁公民館	
20		しずいまちちゅうおうこうみんかん 酒々井町中央公民館	59	広島県	おおたけしりつこうみんかん 大竹市立玖波公民館【最優秀館】
21	東京都	すぎなみくりつしゃいきょういっくせんたー 杉並区立社会教育センター【優秀館】	60		たけはしりつひがしのこうみんかん 竹原市立東野公民館
22		ちょうふしせいびこうみんかん 調布市西部公民館	61	ひろしましゆきにしこうみんかん 広島市湯来西公民館	
23	神奈川県	あつぎしりつあいうこうみんかん 厚木市立愛甲公民館	62	山口県	ながとしちゅうおうこうみんかん 長門市中央公民館
24		さがみはらしりつほしがおかこうみんかん 相模原市立星が丘公民館	63		しゅうなんしきさんこうみんかん 周南市岐山公民館
25	新潟県	ながあかしきこうりゅうせんたー 長岡市地域交流センターまちなかキャンパス長岡	64	やまぐちしゆだちいきこうりゅうせんたー 山口市湯田地域交流センター	
26		なめりかわしななかづみち(こうみんかん) 滑川市巾着地区公民館	65	徳島県	あなんしりつなげいけこうみんかん 阿南市立長生公民館
27	富山県	たかあかしりつせいびこうみんかん 高岡市立成美公民館	66		かんおんじいちのたにこうみんかん 観音寺市一ノ谷公民館
28		かなざわしひがしあさかわこうみんかん 金沢市東浅川公民館	67	愛媛県	にいほましりつわかみやこうみんかん 新居浜市立若宮公民館
29	石川県	わじましりつこうのすこうみんかん 輪島市立鶴巣公民館	68		高知県
30		おばましいとみこうみんかん 小浜市今富公民館	69	福岡県	
31	福井県	えちぜんしききょうこうみんかん 越前市花筐公民館	70		ちくごしちゅうおうこうみんかん 筑後市中央公民館
32		おおのしまなびのさと「めいりん」 大野市学びの里「めいりん」	71	佐賀県	さがしりつこうのこうみんかん 佐賀市立神野公民館【優秀館】
33	山梨県	やまなししりつごやしきこうみんかん 山梨市立後屋敷公民館	72		熊本県
34		いしいやましこうみんかん 飯山市民館	73	大分県	
35	長野県	なかがわむらこうみんかん 中川村公民館【優秀館】	74		かごしましたにやましみんかいかん 鹿児島市谷山市民会館
36		みずなみしいなつこうみんかん 瑞浪市稲津公民館	75	鹿児島県	あいらしかもうこうみんかん 始良市蒲生公民館
37	岐阜県	みたけちょうりつみたけこうみんかん 御嵩町立御嵩公民館	76		かのやしきたさきちくぐくしゅうせんたー 鹿屋市田崎地区学習センター
38		たじみしがくしゅうかん 多治見市学習館	77	沖縄県	なはしまきしえきまえほしぞらこうみんかん 那覇市牧志駅前ほしぞら公民館
39	静岡県	ふじのみやしりつふじねきたこうみんかん 富士宮市立富士根北公民館			

□ …公民館 □ …公民館と同等の社会教育活動を行う施設

## 第67回優良公民館表彰 表彰館一覧

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
1	北海道	らうすちようこうみんかん 羅臼町公民館 【優秀館】	子どもたちが、知床世界自然遺産を有する羅臼町の自然、産業などを楽しみながら体験することにより、ふるさとを愛する心を育成することを目的に環境省、知床財団など関係機関と連携を図りながら、ふるさと体験教室「知床Kids」を実施している。また、高齢者を対象とした事業「こまくさ学級」や「ふれあいコンサート」では、積極的に異世代の交流を図るなどしている。各事業については、評価を実施し、課題や指標を明確にし今後の事業展開に活かされている。
2		てしかがちょうこうみんかん 弟子屈町公民館	「6次弟子屈町社会教育中間計画」に基づき、「共に学び、健やかに、明るく楽しい人生づくり」を柱に、多様化・高度化する学習ニーズに対応する学習機会の確保や学習情報の積極的な提供などを行っている。特に、「弟子屈町民大」を核に、地元弟子屈高校との連携講座や地元の郷土史や伝統文化などテーマに「ふるさと講座」など学習機会の充実を図っている。また、町民の学習の場として、身近に利用される施設として、職員の資質向上や施設整備など、町民ニーズに的確に応えるよう努めている。
3		ちとせりつちとせこうみんかん 千歳市立千歳公民館	公民館の目標として、市民の文化・学習・趣味などの向上と健康の増進を図り、地域における生涯学習の機能充実のため学習機会を提供し、さらに地域づくり活動や市民の自主的・主体的な活動を推進するなど、学習のニーズや高齢者・少子化など社会変化に対応した一層の充実を図っている。平成18年度から「指定管理者制度」を導入し、市の仕様書に基づき「公民館教室事業」、「公民館短期教室」など様々な年齢層を対象とした学習内容を提供し、世代間の交流ができる事業を実施するとともに、自主事業として、「公民館まつり」など実施している。道内の指定管理者制度を導入している公民館として、直営の公民館と遜色なく、先駆的な役割を担っている。
4	青森県	おおわにまちちゅうおうこうみんかん 大鰐町中央公民館	同館には、学校教育と社会教育を一体化した学務生涯学習課が入居している。公民館との連携も円滑に行われ、町の教育の中核施設となっている。 地域の実態に即した「俳句大会」、「成人講座」、「ふるさと子ども教室」、「家庭教育支援講座」等の取組や、学校と連携した「出前俳句教室」の取組等、多様な学習機会を提供している。また、婦人団体や子ども会育成団体、各種サークル等の自発的な学習活動を支援するとともに地域の人材育成に努めている。その他にも、他課との協働による講座、各種研究大会の開催や、スキーマックとしてスキー大会の運営に関わるなど、町の振興にも寄与している。 以上のように、生涯学習の拠点として、地域住民の学習活動に大きく貢献している。
5	岩手県	もりおかしまつぞのちくこうみんかん 盛岡市松園地区公民館	盛岡市松園地区公民館は地域人口18,000余の住宅団地内の地区公民館として平成20年6月に盛岡市立東松園小学校の敷地内に開設されている。また、平成24年12月には余裕教室を活用するため同小学校の一部を改築し、学校教育と社会教育を融合させた学社融合事業を実践する公民館として別館を設置している。 とりわけ別館においては、平成25年4月から児童健全育成事業として東松園小学校の児童を対象とした児童センター機能を備えたプレールームを設置し、学校・家庭・地域を結ぶ公民館施設としてその役割を発揮している。
6		かねがさきちょうほくぶちくこうみんかん 金ケ崎町北部地区公民館	金ケ崎町は「生涯教育の町宣言」から35周年となる。「まちづくりは人づくり」の基本理念のもと、各地区公民館がまちづくりの中核となり、地域資源を活かした様々な学習機会や学習情報を提供している。特に、北部地区公民館は、地域への愛着を図り伝統文化を大切に学習機会を設定し、郷土愛の育成、多世代間の交流促進を図るなど地域の活性化に大きく貢献している。地域住民が一体となって活動を積極的に展開することで、地域のつながりを深いものにしていく。また、学校や地域団体等と連携を図りながら、活力ある地域づくりの推進に大きく寄与している。
7		はなまきしょうがいぐえんとしかいかん 花巻市生涯学園都市会館	花巻市の生涯学園都市会館では、シニア大学(高齢者学級)・市民講座の受講生が企画・実施・評価の各過程に関わる仕組みが構築されており、地域貢献、地域課題解決、震災からの復興に関する学習などへの学びの広がりも推進されている。また、地域の大学との共催によるセミナーや若者を対象とした講座なども開設されている。 市内の生涯学習施設・振興センター(27施設)の拠点施設の位置づけからも、館のノウハウを他施設へ還元・波及させるとともに、学習資源検索システム「はなまきまなびガイド」の運用及び出前講座、家庭教育講座を通じた学校・地域への学習支援等にも取り組んでいる。
8	秋田県	みたねちょうやまもところみんかん 三種町山本公民館	公民館利用者が自主的・自発的な活動をしていることと、公民館活動を通じて、地域の人材育成を進めていることが特長である。 平成24年1月に利用者代表者が実行委員会を立ち上げ、山本公民館まつりを27年ぶりに復活させた。学習成果を発表する場として今年度で4回目を迎えている。実行委員会のメンバーは、住民のニーズをくみ上げ、公民館まつりの改善を図っている。 公民館図書室を拠点に活動している読書ボランティアグループが、読みきかせ活動や、読み聞かせフェスタを開催するなど、学校と連携し、子ども達の読書活動の推進に携わるまで成長した。また、公民館講座から独立した自主学習グループが、地域の文化祭等に積極的に参加し、他市町村の社会教育団体とも交流するなど、住民の学習活動が深まっている。
9	福島県	すかがわしおしおえこうみんかん 須賀川市小塩江公民館	家庭教育の充実を図るための講座として、前年度までの講座修了生をサポートした子育て支援教室「きらりんこたいむ」を開設している。さらに参加した家族の絆を深めるための「家族体験・育児は育自」も併せて開設するなど、家庭や地域の教育力の向上に努めている。 また、地域の一体感を共有することを目的とした事業「宇津峰祭」や「松明つり」などは、地元中学生をはじめ地域住民が参加する事業で、地域コミュニティの活性化や文化振興に大きく貢献している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
10	福島県	ふくしましあづまがくしゅうせんたー 福島市吾妻学習センター	5学級の高齢者学級のうち4学級は、同地区の学級生で編成され毎月開催されている。残りの1学級では地区の枠を越えた「熟年パワースクール」を月2回実施している。 また、地域の良さを再認識するための地元学を始め、認知症予防のための体操教室、料理教室、医療・介護の問題対応など、ニーズに合わせた幅広い学びの場を提供している。 これらの学級開設により、高齢者相互のコミュニケーションが図られ、引きこもりなどの孤立化の解消、居場所づくりや健康づくり、ひいては、元気な地域づくりに大きく貢献している。
11		みなみそうましたかひらしょうがいがくしゅうせんたー 南相馬市高平生涯学習センター	東日本大震災により、一時休止状態となっていたが、住民生活の復興のために震災半年後から業務を開始し、市内においていち早く放射線に対する学習会を開催するなど、復興の拠点としての役割を果たしている。 震災後、多くの市民が市外へ避難している中、子育て中の親同士の交流の場を設定したり、遊びながら楽しく子育てをする方法を学習させたりと家庭教育講座の充実を図り、地域コミュニティの活性化に貢献している。
12	茨城県	かみすしちゅうおうこうみんかん 神栖市中央公民館	公民館の目的の一つに市民の交流の場や情報の提供がある。現在、公民館利用者は子育てを終えた人や退職された人が中心となっているが、様々な年代の市民が利用できるように、「市民協働」の公民館運営に取り組んでいる。その一環として「いろんなものをみんなで創ろう!」という運営方針を設定し、「親子でクリスマススイーツを作る」や「親子で恵方巻き作り」等の講座を開催した。特に、最近流行の「カフェごはん作り」や、みどりのカーテンで収穫したゴーヤを使った「沖縄料理作り」は、とても好評を得た。また、公民館の事業についても利用者の意見を取り入れ、市民のニーズに応じた事業の改善に努めている。館内ではガーデンパラスを設置しカフェのような居場所を作り、展示スペースでは、市民による展示や公民館主催の企画展等を開催した。
13	栃木県	とちぎしいわふねこうみんかん 栃木市岩舟公民館	開館以来、町民のニーズやライフサイクルに沿った学習機会を提供し、講座終了後は自主活動や地域還元活動へと支援してきた。現在、多くのボランティアが中央公民館と連携しながら自ら行動し、地域、学校、行政の場において活躍している。中でも青少年教育については、11年前、中央公民館の呼びかけに賛同した住民約30名が、1年間の検討の末に青少年育成町民会議を立ち上げてから、多くの町民を会員とした活動を10年間継続している。平成24年には、中央公民館と町民会議が共同で、江戸しぐさから学ぶ子育てのワークショップを開催した。その後、岩舟町のしぐさを研究し推進する「いわふねしぐさ実行委員会」を立ち上げ、子育てについての情報提供を行い「協働のまちづくり」のため活動している。
14	群馬県	まえばししきよさとこうみんかん 前橋市清里公民館	前橋市の西部に位置する清里地区は市内で最も人口の少ない地区であるが、それゆえに地区のまとまりが強く、地域ぐるみでの活動が活発に行われている。清里まちづくり協議会による「清里ふるさと祭」、「収穫祭」、清里地区青少年健全育成会による「清里地区道祖神祭」、「少年の日フェスティバル」などは地区の特徴的な行事であり、これらを通して伝統文化の継承や世代間交流の促進、さらには地域の良さを再発見する機会にもなっているが、公民館は清里地区自治会連合会を始め各種団体と連携を図り、事業実施をサポートしている。 公民館講座についても、清里人材バンク「生涯学習指導員」や清里まちづくり協議会役員等の地区内の人材を講師として、地域に密着した講座を開催するなど、地域活力を活かした講座作りにも努めている。
15		たかさきしやなかこうみんかん 高崎市矢中公民館	矢中公民館は矢中地区のほぼ中央に位置しており、地域住民が集まりやすい場所にある。 「地域とともに歩む公民館」を基本方針として、地域の機関等(学校、病院、各種団体)と連携し、地域の人材を活用して講座や活動を実施している。 社会課題として取組んだ「健康づくり講座」では、地域の病院の健康運動指導士を招いて講座を実施し、好評を博している。又、住民主体の地域づくり活動では、企画・広報・運営の全般にわたって、住民中心の取組みが定着してきている。 地域と一体となって住民の学習意欲の向上と生きがいづくりの増進を図り、明るく豊かな地域づくりに努めている。
16	埼玉県	みさとまちちゅうおうこうみんかん 美里町中央公民館	高齢化が進む現在、町民自らが「生きがい」を求め、健康で活力に満ちた学習活動が展開できるよう、様々な事業を実施している。 特色ある事業として、保健センターとの合同事業で、「健康とときめき学習会」を実施。町の健診で高血圧・糖尿病予備軍と診断された住民と一般応募者を対象に、身体測定会や調理実習、運動教室等半年間のプログラムにより、体の変化を知り、日々の健康づくりにつながる意識の向上やコミュニケーションづくりを図り、住民が健康で自立した生活を送ることができるよう支援している。
17		わらびりつみなみこうみんかん 蕨市立南公民館	昭和30年6月、地域住民自ら資金を出し合い、気軽に使うことのできる「寄り合いの場」として「蕨町立三和町公民館」を設立。その後、昭和34年4月に「蕨市立南公民館」となり、昭和49年8月にはコミュニティセンターが併設された。市民文化の向上に努めており、文化展の開催や生涯学習フェスティバルなど、地域住民との連携・協働を意識した事業に力を入れて取り組んでいる。 特色ある事業として、平成7年度から、生涯学習活動の成果発表の場、地域の交流の場として、住民と協働で「桜のまち 南町文化展」を開催。市にゆかりのある作家や音楽家の協力を得て、優れた芸術文化にふれる機会とするとともに、「誰でも参加できる」「手作り温かみのある」美術展として、市民の文化活動を応援している。
18		はにゅうしむらきみこうみんかん 羽生市村君公民館	人口減少や少子高齢化等、地域が直面している課題に対応するため、当館を事務局とし、地域の各団体(自治会、子ども会、商工会、小学校、PTA、老人クラブ等)の長による「村君地区活性化対策協議会」を設立。協議会を通じて、地域のニーズを把握し、情報の提供や各団体が連携するための「つなぎ役」を担い、各団体と協働で事業を企画・実施している。 特色ある事業として、住民が英語に親しみ、国際理解を深めながら地域の活性化を図るため、上記協議会会長や小・中学校長、PTAの役員等による「英語村推進委員会」を発足。毎月第3土曜日、小学校の常駐ALTを講師とする英会話教室「英語村 友・遊・ブラサ」を企画し、「英語でUDON打ち!」等の講座を通じて、住民と住民とを結び取組を展開している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
19	千葉県	うらやすしほりえこうみんかん 浦安市堀江公民館	昭和57年の開館以来、地域住民が自ら考え行動できる地域社会の形成のために、人と人をつなぎ、学びや交流を通して市民の力を高め、豊かなまちづくり、人づくりに資する「まちづくり拠点」を担っている。幼児から高齢者まで、幅広い層の世代が参加できる60講座を立案し、多様な学習環境を整備している。 昭和59年から実施している「きぼう青年学級」は、就労する知的障がい者の余暇支援、地域交流事業の実施支援、社会的自立支援等を目的として、ボランティアスタッフや公民館サークル、地域団体の協力のもと地域に根差した事業として実施している。また、「きぼう青年学級」の取組がきっかけとなり「きぼうよさこいクラブ」が誕生し、障がいの有無を超えた交流の場となっている。事業に関わる方々にも、大きな学びと気づきをもたらしている。
20		しすいまちゅうおうこうみんかん 酒々井町中央公民館	昭和55年に開館した、町内唯一の公民館であり登録利用団体は145団体(約4000名)、主催事業も毎週のように実施しているため、常に館内は賑わっている。未就学児や小学生などの定期利用があり幅広い年代が利用している。 「カレッジコース」では多くの公益住民団体と、地域で活躍する人材を輩出しており、さらに「カレッジコース」から移行した「しすい青樹堂・青樹堂師範塾」では、「まちづくり実践者・まちづくり指導者」の育成を目指し、意欲的に取り組んでいる。また、NPO法人全国生涯学習まちづくり協会と連携して事業の見直しを行い、まちづくりのための資格取得ができるような講座を盛り込み、多岐にわたる魅力ある内容を展開した。
21	東京都	すぎなみくりつしゃかいきょういっせんたー 杉並区立社会教育センター 【優秀館】	杉並区立社会教育センターは、区民の生涯にわたる学習の機会と場を提供し、教育・文化活動の充実を図ることを目的とする区内の社会教育活動の拠点として設立された。 昭和63年度に閉館した杉並区立公民館の機能を発展的に継承しつつ、成人学習支援、社会参加支援、芸術・文化活動、団体育成等を柱に多岐にわたる事業を展開している。また、それら事業のほとんどは、社会教育関係団体である杉並ユネスコ協会、区内大学等の高等教育機関や社会教育事業推進委員(愛称「車座委員」)あるいは区民ボランティア等の参画と連携により運営している。 特に、平成17年度から実施の「すぎなみ大人塾」では、キャッチフレーズを「自分をふりかえり、社会とのつながりを見つける大人の放課後」として、成人の学びを支援する方法・手法を積極的に考案し、単なる学級・講座の実施という形ではなく区民と共に地域の中で実践し、学びと活動の循環を意識的に展開している。今後は、10年の成果をもとにアウトリーチを試み、「参加、対話、協働」による社会教育を、コミュニティ施設等区内全域の施設活用を含めて推進していくための「要」としていくところである。
22		ちょうふしせいぶこうみんかん 調布市西部公民館	調布市西部公民館は、昭和58年に児童館と併設された施設として開館した。近隣には小・中学校や図書館などの公共施設や多摩川などの自然環境に恵まれた場所にあり、近年大型マンションなどの建設により若い世代も集う立地にある。 昨年、開館30年を迎えており、この間において地域文化祭を始めとする事業での地域の交流拠点として、また市民の多様なニーズや性別・年齢層に合わせた各種講座を実施するなど学習機会の提供、日々の利用者のサポートなどにより地域社会に貢献してきた経過がある。 特色ある代表的な事業としては、例年、若い母親を対象にした子育てセミナーを全15回、約半年にわたって実施し、そこから複数の自主グループが誕生し新たな学習や活動が展開されている。自らの子育てや生き方を見つめ直した参加者たちが、テーマを持った学習のほかに、音楽やフラダンス、書道のサークルを立ち上げ、自分たちだけでなく子育て中の母親たちが地域のなかでつながりを持って、いきいきと生活できるよう支援する多様な網の目を編みつつある。さらに日本で子育てをしている外国人女性との交流をはかったり、先輩女性の話や他国の子育てサークルと共同で開催したり、他のグループの企画した平和イベントを応援したり、その網の目が次第に広がりつつある。 その他、青少年の健全育成を目的とした体験型の教室を実施するなど、地域課題に応じた事業を展開している。 昨年は30周年を契機として、もう一度公民館を考えるための講演会や記念コンサートの開催に合わせて、利用者と協力して公民館川柳を展示するなど工夫、公民館の活動について広く市民に周知を行った。
23	神奈川県	あつぎしりつあいこうこうみんかん 厚木市立愛甲公民館	愛甲公民館は愛甲小学校との複合施設であり、立地的、物理的に小学校との連携が容易な環境にある。「どろんこバレー大会」「つかみどり大会」など地域行事への児童・生徒の参加率を高めているほか、市内大学の学生らが大会の企画運営に参加するなど地域と学校との連携を深めている。 特に平成25年度は、郷土ゆかりの歴史上の人物・愛甲三郎没後800年記念として愛甲三郎に関する様々なキャンペーンを展開したほか、かつて産地として名を馳せた愛甲にんじんの栽培に挑戦した「地域の味」再生プロジェクトなど、地域の歴史と文化を見直し、郷土愛を育むユニークな事業を展開しながら、公民館だよりやパブリシティを活用した効果的な情報発信は特筆に値する。
24		さがみはらしつぽしがあこうみんかん 相模原市立星が丘公民館	星が丘公民館は、開設当時は組織公民館として星が丘小学校の講堂を拠点として発足、昭和57年に現公民館建物が完成し、独立公民館として活動を開始した。館区内には学校は星が丘小学校だけという環境の下、学校との連携を図り、社会教育の場としてだけでなく、地域活動の場、まちづくりの拠点としての活動も盛んに行っている。 また、公民館事業に固定化せず、平成25年度からは家庭教育支援講座「子育て 新たな一歩」を実行委員会形式で開始するなど、常に公民館を取り巻く社会状況の変化、地域住民のニーズの多様化にも柔軟に対応した事業展開を行っている。 特に、地域のサークル・団体・個人の方が講師となる「夏休み体験教室」、「親子ふれあい事業」等、子ども向けの事業については定評がある。
25	新潟県	ながおかしちいきこうりゅうせんたー まちなかキャンパスながおか 長岡市地域交流センター まちなかキャンパス長岡	長岡市は、伝統的に学びを重んじる気風があり、市内には3大学1高専の高等教育機関が立地するなどの恵まれた環境にある。これらの機関と長岡市が協働で「学び」をプロデュースし、多彩な講座を開催している。この学びを通じて、まちなかに新たな「交流」を生んでいる。 まちなかキャンパス長岡事業では、学びの入口として気楽な雰囲気を受講できる単発講座「まちなかカフェ」、関心のある分野をじっくり学ぶ連続講座「まちなか大学」、まちなか大学をさらに深め、自らテーマを持ち主体的に学ぶ「まちなか大学院」と、ステップアップする講座体系を基幹として、学びのステージに合わせた場を提供している。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
26		なめりかわしななかづみちこうみんかん 滑川市中加積地区公民館	滑川市中加積地区公民館は、地域の諸活動の中核施設として、学校・各種団体・地域住民と連携しながら、活力ある地域づくりのための取り組みを推進している。公民館を中核とした実行委員会を立ち上げ、地区の各組織との連携を図り異世代交流事業を実施し、地区住民の絆を強め活力ある地域づくりに貢献している。また、家族ぐるみでの参加、異世代の人々とのふれあいを通じ、地域で子どもたちを見守り育てる環境づくり、また、住民の地域への誇りと愛着の醸成に積極的に取り組んでいる。
27	富山県	たかおかしりつせいびこうみんかん 高岡市立成美公民館	高岡市立成美公民館は、住民や地域のまとまりづくりの核となっている連合自治会、各種団体と緊密に連携し、大人も子どもも生き生きと輝き笑顔あふれる地域づくりを目指して、様々な活動を継続しており、市内の公民館(コミュニティ併設館除く)では、最も利用率が高い公民館である。各活動の集大成である「公民館まつり」は、地域が一体となって盛大に行われている。また、当該地区では、年々地域ぐるみで子どもを見守り、健やかに育てようとする意識が高まっていることから、公民館でも、子どもの利用を増やすために、社会見学や地域にまつわるものづくり体験などを取り入れるとともに、PDC Aサイクルを機能させながら、事業の見直しや広報紙に工夫を重ね、利用の増に努めているところである。今後とも地域の核として、家族や地域の大人、同年齢・異年齢の子どもとの絆を深めるための支援や自主事業の展開が期待される。
28		かなざわしひがしあさかわこうみんかん 金沢市東浅川公民館	世帯数が少ない地区であるが、公民館が行う運動会や文化祭を小学校との共催とし、子どもから高齢者まですべての住民が参加できるよう工夫した内容で行い、地域一体となった生涯学習活動を展開している。 特に、「夏まつり」では、地区の育友会、子ども会、婦人会、長寿会などの各種団体が企画・運営に携わるほか、地域にある高校・大学も舞台発表に参加しており、地域全体で行事を作り上げ、地域の活性化に寄与している。また、舞台発表において、地域の伝統芸能(鉦子太鼓・兵四郎節踊り)を発表し、次世代への伝統文化の継承も図っている。
29	石川県	わじましりつこうのすこうみんかん 輪島市立鶴巣公民館	少子高齢化・過疎化が進行する中、地域の特性を生かして、地域ぐるみで子どもを育む事業に積極的に取り組み、子どもとのふれあいを通して地域コミュニティの絆を強めている。また、多くの地域住民が集えるよう住民のニーズに対応した多様な学級・講座・行事を開催し、地域の連帯・活性化も図っている。 特に、「公民館体験合宿 地域お宅訪問」では、子ども達が地域の家を訪れ、大人から地域に関する話を聞くなど、様々なコミュニケーションを行うことで、世代間交流や地域の絆づくり、子どもたちの社会性の育成などに努めている。
30		おばましいまとみこうみんかん 小浜市今富公民館	対象の幅広い講座を開講し、多くの住民に学習機会を提供している。特徴として、地域のボランティアが参画した講座や体験学習を行っており、今富地区のコミュニティの中心となり、講座を通して人と人を繋ぎ、伝統を継承している。サークル活動や社会教育団体の活動も盛んであり、地域の中で活躍できるようアドバイスをを行っている。近年では、まちづくり活動を活発に行っており、まちづくり委員会と協力して、さまざまなイベントを行い、地域を活気づけ、まとめる役割を果たしている。地域に密着し、コミュニティをまとめ、伝統や歴史を繋いでいく、これらの取り組みは他の公民館活動の模範となっている。
31	福井県	えちぜんしかきょうこうみんかん 越前市花筐公民館	花筐地区は、天然記念物の薄墨桜と美しい紅葉の名所で知られる花筐公園があり、住民は、地域のシンボルとして自然豊かな風致公園を大切に、未来に引き継いでいくために、保全活動にも力を入れている。 そのような中、子ども会活動のない地区で、子どもたちが身近な自然や歴史に触れる体験活動を行う事業を公民館が主体となって立ち上げた。立ち上げに際して地区の自治振興会青少年育成部と協力したり、体験活動で越前市のジュニアリーダーとシニアリーダー、青年グループ「はっぴー」と地元PR隊の「はながたみ娘」を指導者としていたりするなど、地元の人材を生かした企画運営を行っている。ジュニアリーダーやシニアリーダー、地元の青年を中心に子ども主体の活動を行うことで、次世代のリーダーを育てていくという公民館のねらいが、事業後に保護者や地区の大人たちに伝わり、平成26年度も継続して事業が行われている。
32		おおのしまなびのさと「めいりん」 大野市学びの里「めいりん」	学校教育施設(有終西小学校)と社会教育施設(生涯学習センター・大野公民館)からなる複合施設で、学校と生涯施設の連携により、高品質の学習環境を提供している。また、学校が使用しない時間に生涯学習センターや公民館を利用するという時間差共用により、多くの市民が利用でき、中心市街地への求心的役割を担っている。事業としては、「第3土曜日(はなびの日)」と銘打ち、「めいりん講座」を開催している。この「めいりん講座」の講師は、主に本市の「人材活用登録者指導者」が担当し、学びの成果の発表の場ともなっている。この事業が年々定着してきており、使いやすい施設も相まって、生涯学習の機運を醸成している。
33	山梨県	やまなししりつごやしきこうみんかん 山梨市立後屋敷公民館	山梨市後屋敷地区に位置する後屋敷公民館は、地域の生涯学習活動の拠点として「地域住民相互の出会い、ふれあい、助け合い」をスローガンに事業を実施している。特に、地域住民にとって一大イベントとなっている「ふるさと祭」は、昭和54年から続く伝統ある行事で、体育・文化・芸能の発表活動と福祉バザーを通して地域住民の交流や親睦を深め、地域の健全育成と地域コミュニティの醸成に大きく寄与している。 近年ではフィールドミュージアム推進に力を入れており、地域住民に呼びかけて地域や身の回りのお宝、文化財の資料収集を行い、文化財冊子「ごやしき」を作成した。この冊子「ごやしき」を活用して文化財めぐりや健康ウォーク、ボランティア活動(文化財の清掃)などの事業を展開しており、山梨市の生涯学習の推進に大きく貢献している。
34	長野県	いいやましこうみんかん 飯山市公民館	飯山市は長野県の北に位置し、冬は雪深い地域である。飯山市には、旧1町9村からなる10地区公民館が存在し、地区公民館のもとに集落や字町の集落公民館が組織されている。各地区館の活動は、一部、市からの助成があるものの、主要な活動費は各地区住民が拠出して賄われている。そして、市公民館と連携を図りつつ、地区館独自に工夫され、地域課題に取り組んでいる。 「ドウロクジンの復活継承」は、飯山・雪の風物詩である伝統行事、ドウロクジン(道祖神火祭)の復活継承である。子どもの健全成長と地域の安泰を願う火祭りである。豪雪の中での暮らしに潤いを持たすとともに地域の子どもの育成に大きく寄与している。また、北陸新幹線延伸に伴った地域開発という地域課題に対して、地域振興につながる事業の工夫もしている。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
35	長野県	なががわむらこうみんかん 中川村公民館 【優秀館】	中川村は長野県の南に位置し、天竜川と南アルプスに挟まれた、自然豊かな地域である。中川村公民館では、公民館事業の参加者にアンケートをとるなどし、参加者の要望を次の活動へ反映させる学習の工夫が行われている。また、地域の人の絆づくりが地域づくりにつながるとして、受講生同士の交流を深めることも大切にされている。 人形芝居「切竹紋次人形」は、昭和初期まであった村の伝統文化を復活させる活動を「中川人形保存会」と共催で行っている。地域の伝統芸能への理解と次世代への伝承の大切さの再認識につながっている。また、受講者が小学校の「中川人形クラブ」の指導にあたるなど、学びの成果を生かした取組になっている。活動の中で東京都世田谷区との交流などを生み、地域づくりや地域振興にも貢献している。
36	岐阜県	みずなみしいなつこうみんかん 瑞浪市稲津公民館	稲津地区の各種団体によって結成されたNPO法人「明日の稲津を築くまちづくり協議会」が指定管理者として管理・運営に当たっている。こうした状況を踏まえ、各種の「短期講座」等の学習・教育系の事業については、これまでのように「公民館運営委員会」が計画の立案に当たりながらも、多数の地区住民の参加が期待されるイベント的色彩の濃い「主要事業」については指定管理者である「まちづくり協議会」が総力をあげてその実施に当たるといった体制を築き上げ、地域社会に根ざしたまちづくり・地域づくりに寄与する新たな公民館事業の実施体制を作り上げている。
37		みたけちょうりつみたけこうみんかん 御嵩町立御嵩公民館	限られた人員による運営体制の中で、地区の小学校の連携のもと学校外活動の機会を積極的に提供し、夏季休暇中の子ども教室を開催するなど、活発に事業を行っている。 特に、種もみ蒔きから収穫した米の調理・試食までを体験する「田んぼの学校」は、単発的でなく環境学習や命を大切に学習など、系統的な学習を積み重ねている。その成果として、リピーターの増加やほとんどが親子参加となり、家庭教育支援にも寄与している。
38		たじみしがくしゅうかん 多治見市学習館	公益財団法人多治見市文化事業団が指定管理者として管理・運営を行っている施設。同財団が市内の公民館をはじめとする多くの生涯学習・社会教育施設の指定管理でもあることのメリットを最大限に生かし、多治見市の生涯学習・社会教育推進のための中核施設として多彩な事業を実施している。まず参加費無料・申込不要の「ウェルカム1」で学びの場へと誘い、さまざまな講座が体験できる「たじみオープンキャンパス」で学習の定着を図り、さらに深く意欲的に学ぶことができる「まなびの森」へと促す。とりわけ「市民が教え、市民が学ぶ」をコンセプトとした「たじみオープンキャンパス」事業は、市民の学習の成果が地域に還元されていく生涯学習社会の形成に資するものとなっていて、当館の特筆すべき事業の一つになっている。これらの事業の実施にあたっては、市民のライフステージを考慮するとともに、段階的にステップアップできるような学習過程への配慮が、当館の魅力の一つとなっている。
39	静岡県	ふじのみやしりつふじねきたこうみんかん 富士宮市立富士根北公民館	富士根北公民館は、昭和60年に開設され、地域と密着した地道な公民館活動を続けている。昨年度は、富士山が世界文化遺産に登録されたが、富士根北地区には構成遺産の一つである村山浅間神社があり、地域住民は富士山を拠り所とした生活を長きにわたって営んできた。 平成19年に地元区長の発案で始まった菊づくり(クッションマムづくり)は、その後公民館講座、サークル活動へと発展し、現在は全市においてその活動が広がっている。「菊づくりの輪を地域に」を合言葉に、地域・家庭・学校が連携しながら、地域が一体となった特色ある事業を行うことは有意義なことであり、地域の環境美化・環境保護や自然に親しむ生活づくりに寄与している。
40		しまだしりつかなやこうみんかん 島田市立金谷公民館	大井川右岸の金谷地区にある金谷公民館は、旧金谷町において図書館との複合施設として平成17年3月に開館した。同年5月に島田市と合併したことにより、金谷地区の歴史と文化を継承するとともに、地域活性化の拠点として、地域性を活かしたイベントや講座等を企画している。 特色のある事業として、60歳以上の男性を対象にした「おやじの農園」や「おやじの井戸端講座」では会社人間から(地域)社会人間への切り替えを目指している。また、「かなや未来塾」では金谷の歴史学習として現地視察も行った。旧金谷町から継続している「げんきキッズわくわくクラブ」では、地元の人材がボランティアで各種の学習活動を展開したりしている。
41		はままつしとみつかきょうどうせんたー 浜松市富塚協働センター	富塚地区は、佐鳴湖北側に位置し、中心部を新川や段子川が流れ、西部には浜松市指定特別緑地保全地区である「椎ノ木谷特別緑地」が広がり、市街地にありながら森や清流などの自然あふれる豊かなところである。富塚協働センターは、地域の生涯学習の拠点、住民のふれあいの場として重要な役割を担い、各自治会・活動団体・ボランティアグループ等に支えられ、浜松ヒューマンセミナー事業、地域学習事業など多くの事業や講座を積極的に実施している。 特色ある事業として、青少年健全育成会、体育振興会、自治会、小中学校、子ども会等の協力による「富塚おもしろウルトラウォーキング」は、富塚地区の恒例のイベントとなっており、行政と地域住民の協働で実施している。
42	愛知県	にしおしきらちょうこうみんかん 西尾市吉良町公民館	吉良町公民館は、昭和49年に開館し、講座や講演会、サークル活動などの延べ参加者数から算出すると、一人当たりの年間利用回数が5.9回を数え、多くの住民が集う、地域の社会教育の活動拠点となっている。 様々なライフステージでの学習機会の充実に向けて、近隣の他の公民館にはない特色ある生涯学習講座を実施している。例えば、子育て世代に配慮した託児付きの講座には、吉良町公民館の管内以外の地域からの受講者も多い。また、地元のボランティアグループとの協働により地域の歴史講座を実施し、ふるさとに愛着を持てる取組を積極的に展開している。専門的知識や教養の習得をめざした県内の大学との連携によるオープンカレッジも継続されている。
43		あましじもくじこうみんかん あま市甚目寺公民館	あま市甚目寺公民館は、昭和59年に開館し、800人収容の大ホールを始め、貸館対応の部屋が13室ある施設となっている。年間11の公民館講座を開講し、海部地区人権教育講演会を開催している。年間延べ約5,400団体、17万人の利用があるなど、地域住民の学習・交流・情報交換活動の場、あわせて地域の文化活動の拠点として幅広く利用されている。 とりわけ、海部地区人権教育講演会においては、あま市小中学校人権教育研究会との共催により、あま市に勤務する教職員の人権意識の高揚を図ると同時に、海部地区の小中学校教職員、あま市民・海部地区の住民にも広く参加を呼びかけ、人権教育の啓発に努めている。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
44	京都府	むこうしちゅうおうこうみんかん 向日市中央公民館	向日市の社会教育施設の中核として、多くの市民に様々な学習機会を提供できるよう国際理解教育、学社連携、地域振興や伝統文化継承活動等、幅広く講座を設定し、誰もが参加できる環境づくりに取り組んできた。また、府立医科大学による市民健康講座など関係諸機関や地元企業と連携した講座を積極的に開設したり、参加者の評価をもとに事業の工夫・改善を図ったりするなど地域に根ざした公民館として活動している。 特に、地元の小学校に通う児童を対象にした「子どもふれあい講座」（「再生可能エネルギーによる発電と蓄電実験、など）は、小学生の好奇心や探究心を刺激するものとして、年間通して開催されており、児童の理科への興味・関心を高める場として貢献している。
45		きょうたんごしたんごちいきこうみんかん 京丹後市丹後地域公民館	京丹後市・丹後町域の社会教育の中核施設として、少子高齢化と過疎化が進むなか住民のニーズに即したきめ細やかな公民館活動を実施している。家庭教育支援や環境教育など地域課題の解決に向けた講座を実施し、地域の特色を生かした学習機会の提供を行っている。また、地元の学校や地域住民と積極的に連携を進めることで、誰もが安心して暮らしていける地域となるよう「人づくり」を重要な柱として活動している。 特に、「子育て交流会」では、気軽に話し合える場を提供し、子育てに不安や悩みを抱えていても近くに相談相手がいらない保護者にとって、新たに人間関係ができた、不安を解消する場として貢献している。
46		うじししょうがいがくしゅうせんたー 宇治市生涯学習センター	宇治市の生涯学習施設として、市民に学習の機会並びに自主活動の場所を提供するとともに、生涯学習を実践する拠点としての機能を果たしている。また、環境問題や防災等、現代的課題解決に向けた講座とともに、保護者を対象とした講座や子育てを支援するサポーター等と共催で講座を開催するなど、家庭の教育力向上に関する講座の充実を力を入れている。 特に、「うじ市民活動サポート事業」は、市民が自らの学びや活動の成果を豊かな暮らしの創造や新しい地域づくりに生かすことができるように、様々な事業を企画運営する市民団体を支援している。
47	大阪府	たかいしりつちゅうおうこうみんかん 高石市立中央公民館	高石市では市域が狭い中6館の公民館があることを活かし、公民館毎に事業を実施するのではなく、6館を1つの公民館として中央公民館が運営を行っている。中央公民館がそれぞれの館の特徴を考慮したうえで企画・調整を行い、地域住民と密着した事業展開と広報活動を行っている。 同館は、市民から企画委員の公募を行い、市民が公民館事業の企画・運営に深く参画することで、市民が必要としている事業の実施に努めるとともに、市役所を始めとする他の団体と連携・協働し事業を行っている。また、同市郷土資料室の展示と連携し、「天下の台所『大阪』 考古学からみた魚食文化」と題した講演を開催するなど、幅広い識者と協力しつつ地域に根ざした事業を行い、地域の伝統文化、歴史の継承に努めている。
48		きしわだしりつちゅうおうこうみんかん 岸和田市立山直地区公民館	山直地区公民館は、市民センター内にある公民館として平成5年6月に開館し、岸和田市総合計画に基づき、コミュニティ活動の拠点としての役割を担っている。定期・短期講座や家庭教育学級、女性学級、高齢者大学を開講し、幅広く地域の方々の学習ニーズに応えている。夏休み、冬休み、3月には市民センター内に併設されている図書館と共催で、子どもフェスティバルを開催、公民館クラブ（自立的な活動団体）や各種団体などの集いや学習の拠点としての役割を果たしている。 同公民館の特色ある事業である公民館まつりは、公民館クラブを中心とした実行委員会を結成し、町会や地域団体との協働により運営されており、地域の絆が求められている中で、ネットワーク形成の機能を十分に発揮させ自治能力の向上を図っている。
49		くまとりこうりゅうせんたー 熊取交流センター	熊取交流センターは、「交流」をコンセプトに住民が憩い、集い、住民同士がお互いに学べる生涯学習及び文化芸術の拠点施設として、平成17年11月3日に開館した。昭和初期に建築された綿布工場の煉瓦壁を保存しつつリノベーションした施設を活用し、住民主役のコンサートやアート展を実施し発表の機会を充実を図るほか、江戸末期に本町で行われていた藍染めを復活、体験ができる「染め工房」を設置し、住民と協働で管理・運営を行うなど、住民の教養や芸術・文化の発展、地域コミュニティの醸成に大きく寄与している。
50	兵庫県	こうべしりつたまつみなみこうみんかん 神戸市立玉津南公民館	当該公民館は、神戸市の南西端にあり、明石市と接している。各種講座の開催、登録グループ活動の支援、貸館事業を柱として事業を行っており、地元団体等の各種会議、行事打合せ等にも活用されている。 近年は、住民自身による小地域での防災に向けた取組やこれを基礎とした広域での取組、関係機関・団体、各種企業、NPO、ボランティア等の各種ネットワークの構築等、地域防災の事業を基礎とした地域人材の発掘や安全・安心なまちづくりに取り組んでいる。 また、地元中学生による東日本大震災被災地支援として、防潮・鎮魂・伝承のため、「東北に神戸の森をつくらう」プロジェクトによるチャリティコンサート等の活動を支援している。
51		にしのみやしりつちゅうおうこうみんかん 西宮市立中央公民館	当該公民館は、地区公民館（23館）を統括する拠点館として、周辺地域のみならず全市域の社会教育や生涯学習活動の振興と発展に尽力を注いでいる。中でも地域住民が自ら講座を企画運営する「公民館活動推進員会制度」（昭和52年発足）を今日まで継続・発展させ、名実ともに地域が参画した公民館運営を全公民館で実現させている点は特筆すべきところである。 また近年では、地域の教育力を子供たちの文化的体験学習に生かす「宮ジュニア事業」の取組のほか、市民の学習ニーズの多様化に対応できるよう積極的に使用基準を見直すなど、公民館の学習機能の強化にも努めている。更には、使用料の口座振替サービスの導入や時間外収納を実施するなど利便性の向上にも積極的に取り組んでいる。
52	奈良県	ならしりつとみおみなみこうみんかん 奈良市立富雄南公民館	富雄南公民館は奈良市西部に位置し、古墳に挟まれ近くには歴史の古い富雄川が流れるという歴史散策には魅力的な地域に設立されている。また、富雄南公民館職員は自治会や学校関係の会議に積極的に向き、地域との連携や地域課題の把握に努めるなど、良好な人間関係を築きながら地域に根ざした講座を展開している。 その中でも、公民館周辺で多く見られるウォーキングをする姿にヒントを得た健康講座「からだノート」を、奈良市健康増進課の協力により毎月1回開催している。申込不要で体調を見ながら自由に参加できる気軽さから、幅広い年齢層や家族での参加もあり、健康維持ばかりだけではなく世代間の交流や家族の絆を深めることに役立っている、特色ある事業を展開している。



No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
53	和歌山県	はしもとすだちこうみんかん 橋本市隅田地区公民館	橋本市の公民館は、子どもから高齢者まで心豊かに過ごしていくため、地域で学べる環境や場の形成を目指している。その中、隅田地区公民館では、「地域で一人ぼっちのお母さんを無くそう!」という声かけのもと、公民館で親子サークルが立ち上がり、その後、妊婦さんから赤ちゃんや小さい子どもを持つ親、小中高生を持つ親、そして地域の皆さんが公民館を拠点に繋がり、育ちあうことを目的として「乳幼児学級実行委員会」を立ち上げ活動。構成メンバーは隅田地区を拠点に活動する、子育てに関わる団体・OB・サポーター・公民館職員等。 その後、年月を経て、介護に関する学習活動を中心とした「介護教室実行委員会」の設立、と新たに発展している。公民館を拠点として人と人がつながりを持つこと、子育てだけでなく地域の共通の課題をテーマにすることで、地域は横のつながり縦のつながりだけでなく、斜めのつながりの構築の場として広がっている。事業の実施にあたっては、地域住民が主体的に関わり展開することで市民協働の地域づくりの場となっている。
54	鳥取県	くらししなだてこうみんかん 倉吉市灘手公民館	灘手地区は倉吉市の最西端にあり、人口約1,000人からなる市内で最も人口の少ない地区で、「こ～まい」(小さい)や「ち～とわて」(少しずつ)をキャッチフレーズに、地域住民が「ち～とわて」の精神で公民館の植木や草抜きをするなど、公民館に人が集い、一人ひとりの「ち～とわて」が地域を元気にする力になっている。「五六十(ごろくと)会～生涯現役・[福]を地域へ～」の事業は、地域でも特に元気な「ごろくと」(50、60代)の世代を中心に、楽しいことを企画して生きがいや仲間づくりに取り組むとともに、この地域でフクロウのことを「ごろくと」とも呼んでいることからフクロウの「フク」で地域に「福」を呼び込み、発信して地域の活性化につなげることを目指している。
55		だいせんちょうなわこうみんかん 大山町名和公民館	名和公民館は、館内に図書館を併設し、生涯学習の拠点施設として、教養活動をはじめ、健康活動、人権学習、サークル活動に取り組み、豊かな人間性の向上に努めている。子ども支援事業(子どもカルチャー教室、なわ通学合宿)では、地域の資源や人材を活用した、自然観察会、ものづくり体験、調理実習、スキー教室など、地域学習や体験学習を取り入れ、多くの地域住民が関わっている。子どもたちは、住み暮らす地域のことを知り、地域に誇りを持つとともに、地域も活性化するという相乗効果により、「地域の絆」は徐々に深まりつつある。
56	島根県	まつえしやくもこうみんかん 松江市八雲公民館	八雲公民館では、地域代表者29名による公民館運営協議会を設置し、公民館活動を企画・運営する7の部門が設けられている。事業参加者アンケート等による評価を活用した公民館事業の立案や予算、決算の内容審議が行われている。また、利用者の利便性を考え365日開館したり、学校や各種団体、地域の社会教育施設と連絡・協力し事業を実施したりしている。 ベッドタウンとして開発された地域であり、新しく転入してきた住民が多いため、住民同士や家庭間のつながりの希薄化が地域課題となっている。そこで、毎月第2土曜日に公民館が主体となって幼児から中学生までの子どもや親子が交流する「のびのびやくも子供体験教室」を開催している。そこでは、そば打ちなど参加者同士の関わりが促進されるような多彩な体験活動を行うことで、世代を超えた交流を促進している。この活動は、11年間で139回に及んでいる。
57	岡山県	おかやましりつこうざいこうみんかん 岡山市立岡西公民館	高齢者支援、子育て支援、環境教育、防災教育等、様々な主催事業やクラブ講座がESDの視点に立って展開されている。 特に、高齢化が進み地域の結び付きが弱まる中で、日常生活で困っている地域の高齢者の手助けする「地域のみんなでつながり隊」は、困っている人のニーズを満たし、住民同士の交流を深めるESDの取組として、住民が支え合う活動となっている。
58		たかはしりつたかはしこうみんかん 高梁市立高梁公民館	世代別の公民館講座を実施するなど多岐にわたって継続的な活動が行われている。中でも青少年分野において、学校支援にも積極的に取り組んでおり「学校支援地域本部事業」や「高梁子ども学習サポート教室(土曜日学級)」などの取組にも参画している。 また、「子ども高梁学」では、町の文化・歴史・自然を学ぶことにより郷土への愛着を高める取組を行っており、さらに地域の人材等を積極的に活用することで子どもたちと地域の人々との交流を深めるなど、公民館がESDの推進の拠点となっている。
59	広島県	おおたけしりつくばこうみんかん 大竹市立玖波公民館 【最優秀館】	本公民館は、昭和49年に開館し、40周年を迎える。大竹市東部に位置し、長年、自治会活動、地区社会福祉活動、公衆衛生活動などの拠点となっている。公民館講座から発展したグループが多く、約40団体が活発に活動している。 本公民館では、3年前から参加交流型学習を取り入れた「学びのカフェ」を毎月開催し、地域住民同士のつながりを構築させ、3年目にはさらに地域課題を住民と共に学び考え、その解決に向けた事業「地域ジン学びのカフェ」に発展させた。地域住民がまちを元気にすることに意欲的となり、地元商店街の活性化を目的に「見知らぬガイドマップづくり」を行い、さらに活用のためスタンプラリー大会を開催した。そして「地域ジンまちカフェプロジェクト」が立ち上がり、町をあげての大イベント「まちカフェ」を開催した。
60		たけはらしりつひがしのこうみんかん 竹原市立東野公民館	本公民館は、昭和28年に開設し、東野小学校区住民の「学びの場」、「地域活動の場」等として、地域とともに歩んでいる。東野小学校をはじめ、各種団体と連携し、子育て支援活動などを行うとともに、各種団体をつなぐネットワーク組織と結びつき、人づくり・地域づくりに積極的に取り組んでいる。 本公民館で実施した事業「世代間交流子育て支援事業『ひがしのキッズ』」では、「毎月第3土曜日は公民館へ行こう!」を合言葉に、公民館、地域ボランティア、保護者が協力し、地域住民とふれあう活動(クッキングスクール等)や地域への愛着につながる活動(東野探検、城山ハイキング等)の実施を通して、子供たちは「交流による楽しさ」を学んだ。また、地域住民や保護者は「協力・連携のすばらしさ」や「地域の子供を地域みんなで育てること」を学び、地域住民の「絆」を深めた。
61		ひろしましゆきにしこうみんかん 広島市湯来西公民館	本公民館は昭和57年4月に開館、平成17年4月に湯来町と広島市が合併し広島市湯来西公民館となった。広島市の西北部に位置し、豊かな自然に囲まれた山間の温泉地であり、高齢化率が48%を超える地域である。 本公民館で実施している事業「公民館出前講座」では、中山間地域で公共交通機関等の利便性が低く高齢者の公民館事業への参加が難しい状況にあることから、地域の集会所等に向かい講座等を企画し参加しやすい環境を提供した。その中で、高齢者自らが生きがいを持ち、安心して暮らせる地域づくりや活動に積極的に参加できる仕組みづくりを行っている。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
62	山口県	ながとしちゅうおうこうみんかん 長門市中央公民館	地域課題でもある、少子高齢化や後継者問題等に向けた取組や、山口県が推進している地域ぐるみで子どもを育む「地域協育ネット」を活用した取組を通して、地域の活性化や住民のつながりづくり尽力している。この取組は他の公民館の模範となっている。「牛農家さんのお見合い料理教室」を実施し、地元の産業従事者の出会いの場を提供したり、「わくわく土曜塾」を開講し、子どもの体験活動の充実に向けた取組をしたりしている。また、地域の歴史や食文化を学ぶ「長明塾(長門の明日を考える会)」を夜間に開講し、昼間に勤務のある世代の人が、参加しやすくする工夫もしている。
63		しゅうなんしきさんこうみんかん 周南市岐山公民館	公民館運営の課題に対して、運営方法を検討し、解決方法を話し合い、公民館利用団体の運営への参画意識の醸成に努めている。運営には、PDCAサイクルを機能させ、改善に向け努力している。「みんなで盛り上げよう!岐山公民館文化祭」では、公民館利用団体を中心に、文化祭実行委員会を立ち上げ、さまざまな工夫によって、参加団体主導の文化祭を作りあげた。「放課後子ども教室」では、ものづくりや囲碁・将棋など数多くの体験活動を実施している。夜間に男性料理教室や陶芸教室などを開講し、昼間働いている人の生涯学習も可能にしている。
64		やまぐちしゆだちいきこうりゅうせんたー 山口市湯田地域交流センター	社会教育講座企画委員を公募し、決定した企画委員によって、講座の企画や講師の依頼、講座の運営を行うことで、利用者や住民のニーズに応えた学習の場の提供につなげている。また、フェイスブックを用いて、情報の発信や収集にも努めている。さらに、講座に「託児」を設け、子育て中の人が、講座等に参加しやすいうように工夫している。多様な利用者の参加促進について、大いに評価できる。公募した委員による講座の開講や地域防災教育、三世代交流事業、地域の公園を利用した里山づくりなど地域課題解決のために、多くの講座やイベントを行っている。
65	徳島県	あなんしりつながいけこうみんかん 阿南市立長生公民館	阿南市立長生公民館は、地域における社会教育の拠点として、住民、各種団体や学校と協力しながら伝統行事や地域資源を題材としたふるさと教育を行い、地域の活性化に取り組んでいる。平成5年に老人会が中心となり、50年ぶりに「いのこ祭」や「実盛さんの虫おくり」を復活させるなど、地元文化を子供たちへ伝承する取組に力を入れている。特に「いのこ祭」や「実盛さんの虫おくり」は、長生地域の伝統行事であり、保育所、小学校、老人会、民生児童委員、PTA、婦人会、消防団等の世代間の交流及び地域の輪づくりを広げ、地域の絆づくりに大きな成果を挙げている。
66	香川県	かんおんじしいちのたにこうみんかん 観音寺市一ノ谷公民館	観音寺市では、人口が減少しているにもかかわらず一ノ谷地区は若い世代の転入等により人口が増加傾向にある。一方で高齢者の一人世帯や家族構成の変化などにより、地域の連帯感やつながりが希薄になりつつある中で、子供たちと協働で地域防災プロジェクトを立ち上げるなど地域づくり活動の積極的に行っている。また、地域のニーズに応じて交流や情報の場として公民館活動を幅広く積極的に展開しており、地区住民に大きく期待されているとともに、地域への貢献度には多大なものがある。
67	愛媛県	にいはいましりつわかみやこうみんかん 新居浜市立若宮公民館	若宮公民館では、地域社会の活性化と教育力の向上を目指して、地域活動の拠点として、地域住民が一体となれる事業を数多く実施している。特に地域防災に熱心に取り組んでおり、学校をはじめ多くの団体と協力しながら地域あげでの防災・避難訓練を行っている。 また、学校と家庭が連携して地域ぐるみで子どもを育てようとする公民館が中心となり、子どもの居場所づくりに努めている。特に放課後子ども教室「わかっこクラブ」では、毎週水曜日にネイチャーゲームや音遊びなどの野外での活動やそろばん、手話などの室内での活動などを実施し、体験活動とおして子育てを支援する取組を行っている。水曜日以外も公民館を開放し、子どもたちの居場所づくりに力を注いでいる。 更に、高齢者の集いを毎月実施し、高齢者の交流の場となっている。脳トレ体操、軽体操、転倒予防・介護予防学習、落語、大正琴の演奏会等を行い、年齢を重ねても元気に自立して生活できるように支援している。
68	高知県	なんこくしりついなぶこうみんかん 南国市立稲生公民館	稲生公民館は、地域住民(C:コミュニティ)がPTAに参加するPTCA活動を核として、学校と連携した取組を積極的に行っている。また、公民館運営審議委員会を基盤として、地域住民が主体的に学校運営に関わり、子どもの見守り・読み聞かせ・体験学習・防災訓練等の様々な活動を通じて、世代間交流や地域の教育力の再生にもつなげている。 近年は、「学校支援から、地域支援へ」をテーマに、学校支援活動で蓄積された学びの推進力を地域に還元するために、公民館を中心に地域の特産品の加工・商品化を通じて地域振興を図っている。
69	福岡県	いとしましりつみななかぜこうみんかん 糸島市立南風公民館	糸島市南風小学校区の3つの課題(校区住民全体の融合、全住民の相互交流と連帯感の育成、地域のアイデンティティの醸成)に対して、公民館を核とした地域・学校・公民館の3者連携により、解決を図ってきている。子どもをキーワードとした地域づくりの観点をもち、南風小学校児童の地域活動への参加意識及び地域や社会の出来事への関心度を高めている。また、小学校区児童の情緒が安定するなど、学校教育活動への貢献も顕著である。公民館運営審議会以外に、地域住民、学校、他団体等と定期的な情報交換を行い、常に新たな企画の発掘や環境整備等を行っている。
70		ちくごしちゅうおうこうみんかん 筑後市中央公民館	筑後市は中央公民館以外は自治公民館であるため、市内3つの自治公民館に中央公民館出張所を開設し、市内全域で市民誰もが平等に生涯学習を行える環境整備を行っている。講座を受講した住民がその成果を生かす場として、小学校の授業等にボランティアで参加できるようにしており、あらゆるジャンルの講師として人材バンクを活用している。事業実施後に実施したアンケートをもとに評価を行い、社会教育委員会、公民館連絡協議会理事会において報告と評価を行っている。また、登録団体・サークル等の活動回数が5千回を超えるなど、多くの住民が集い学ぶ拠点となっている。
71	佐賀県	さがしりつこうのこうみんかん 佐賀市立神野公民館 【優秀館】	神野地区は、小学校のほか中学、高校、各種学校など文教施設が充実した地域であり、家庭、学校、地域・公民館、企業等が連携して「子どもへのまなざし運動」を取り組み、すべての住民が子どもはくぐりに関心を持つ地域を目指している。 高校生Teacher講座は、「さまざまな体験をすることで、子どもたちは変わる。」をテーマに、夏季休業中に高校生が先生となり、部活動で得た技術等を小学生に指導している。この講座は、昨年度で10回目であり、小学生として講座に参加した子どもが、高校生となり指導する立場として参加する事例も見られる。また、校区夏祭り等の地域行事にもボランティア参加するなど高校生が地域で活躍する場が増えたことで、地域住民が高校生を評価する機運が出てきた。

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	公民館の概要
72	熊本県	やまとちょうちゅうおうこうみんかん 山都町中央公民館	地域課題の解決方法として、地域の資源を活用した地域活性化を目指している。 地域人材を育成するための「いきいき大学」における案内ボランティアの育成及び資質の向上に取り組んでおり、また、毎年度の課題を翌年度に解決しようとする取組ができています。 地域人材の育成及び地域資源の活用に向けた公民館の存在感が大きく、県内の同様の課題を抱えた他の地域の公民館と比べて優れている。
73	大分県	うすきたのちくこうみんかん 臼杵市田野地区公民館	田野地区公民館は平成7年4月より開設し今年で19年目となる。 月1回の広報発行や、年1回の「ふるさとふれあい祭り」開催など、地区の拠点施設としての役割を担っている。 特徴ある事業は、田野地区と大分大学の交流事業が挙げられる。これは、田野地区公民館を拠点として同大学と協働しながら、若者定住など地域課題解決のための提言、農産物直販所の販売促進、地区の子どもたちの学習指導、祭りの運営など、地域住民との交流を通じた地域の発展を共に考える取り組みである。
74	鹿児島県	かごしましたにやましみんかいかん 鹿児島市谷山市民会館	昭和52年4月に開館以来、長年、谷山地域の生涯学習拠点施設として市民に愛され、利用されており、「元気会館谷山～学びを生かして輝く人生輝くまち～」をキャッチフレーズに、より多くの市民が集い、ふれあい、学ぶ会館の運営に努めている。 特色ある公民館経営として、地域の史跡を巡る歴史講座、親子植物採集など、谷山地域の自然や文化を生かした事業を展開している。また、地域総合文化祭の開催においては自主学習グループが企画・運営に参画するなど、学習の成果を生かす活動に積極的であり、地域活動の活性化に貢献している。
75		あいらしかもうこうみんかん 姪良市蒲生公民館	平成22年3月姪良市誕生以前から、蒲生町の中央公民館として生涯学習の場、情報発信の拠点等の役割を果たしてきた。合併後もその役割を維持しながら、生涯学習推進の場であるとともに地域住民集いの場として親しまれ、広く活用されている。 公民館講座では、地域の歴史や文化を学ぶ講座の実施とともに、住民のニーズに合わせて地域の特性を生かした「やさしい野菜づくり」の開設などで新規開拓を図ってきた結果、地域外からの受講者も増加するなどの成果を上げている。また、公民館講座受講終了後は、学習方法や講師、研修先の情報提供等のサービスをおして自主グループへの移行を図るなど、生涯学習の底辺拡充と学習者への継続的な支援が具体的に講じられている。
76		かのやしたさきちくがくしゅうせんたー 鹿屋市田崎地区学習センター	平成5年に開館以来、生涯学習講座や同好会の支援等、生涯学習の普及活動を推進し、地区住民の生きがいづくりや仲間づくり・健康づくりの機会を提供するとともに、潤いと活力ある地域づくりに寄与している。 地域ぐるみで学校を支援する学校応援団の事務局や生涯学習推進協議会の事務局も兼ねており、学校と地域をつなぐ役割も担っている。また、「地区全体を学び舎に おとな生き生き 子どもすくすく」を地区のスローガンに、「高め合い 支え合い 絆を広げる 学びの館」を館のキャッチフレーズに掲げ、市民の皆さんに親しみやすい(利用しやすい)施設運営をめざしており、昨年度の利用者は30,000人を超え、多くの地区住民に活用されている。
77	沖縄県	なはしまきしえきまえほしぞらこうみんかん 那覇市牧志駅前ほしぞら公民館	本公民館は、那覇市の中心部に位置し、モノレール駅に直結しているなど、交通の利便性が高く、利用者は那覇市全域をはじめ観光客等に及び、年間利用者は12万5千人余りである。 本公民館には、青少年の天文学習への活用や市民の自然科学的な思考力・洞察力をサポートすることを目的にプラネタリウムが併設されている。特色ある事業として、プラネタリウムを活用した「星空案内人養成講座」、「親子星空教室」等の事業を実施し、多くの観覧者から満足度の高い評価を得ている。 また、プラネタリウムに関連させた講座等を通して家庭教育支援も行っている。家庭の教育力を高めることを目的とし、科学を題材にした親子参加型の講座「宇宙の学校」は、家庭でもできる科学的な実験や工作を紹介し、家庭では親子で、公民館では専門機関から派遣された職員と大がかりな実験をするなど、工夫がなされている。